

第五十九回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速)第八回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和六年二月二十三日(月曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 長野 綱良君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

佐竹 庄七君 高橋壽太郎君

村上 國吉君 山内 亮君

高橋元四郎君 松田 正一君

田中 養達君 篠田 有德君

三田村甚三郎君 出井 兵吉君

片野 重脩君 東 武君

平井信四郎君 清家吉次郎君

石井 次郎君

同月二十一日委員宮澤胤男君及小村俊一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山内亮君及高橋元四郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ
同月二十三日委員小池仁郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ武知勇記君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 井上準之助君

農林大臣 町田 忠治君

拓務大臣 松田 源治君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省理財局長 富田勇太郎君

大藏書記官 川越 丈雄君

農林參與官 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

拓務政務次官 小坂 順造君

拓務省殖產局長 殖田 俊吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

○西村委員長 是ヨリ開會致シマス

東郷君

○東郷委員 米穀法ノ改正法律案竝ニ資金増額ニ關スルコト、之ニ付テ御尋致シタイト思ヒマスガ、從來ノ米穀法

ガ、色々ノ意味ニ於テドウモ效果ガ薄イ、故ニドウシテモ是ハ根本的ニ對策ヲ研究シテ行カナケレバナライ、斯

ウ云フ意味デ、五十六議會ニ於テ資金七千萬圓増額ノ案ガ提案ニナッタ時分

カラノ濃厚ナ空氣デアリマス、ソレハ先日町田農林大臣カラモ御話ガアリマ

シタ、アノ案ガ出タ時分ニ、町田安達兩氏ガ田中内閣ノ當局ヲ御訪問ニナッ

テ、御懇談ニナッタ意味モ其處ニアル、ソレカラアノ資金増額ノ案ガ貴族院ニ

於テ通過シタ時、附帶決議ガ付セラレテ居ル、其意味カラ見マシテモ、所謂

本資金ノ増加ハ新タニ設ケラルベキ調査委員會ニ於テ、米穀需給調節ニ關ス

ル根本方針ノ決定ニ至ルマデノ便法トシテ云々、斯ウ云フ決議ガ附帶決議ト

シテ貴族院ニ於テ議決サレテ居リマス、是カラ考ヘテモ今回ノ改正ハ、是

ハ根本的ノ改正デナケレバナラス、斯ウ考ヘルノデスガ、先ヅ此ノ點ダケ取

敢ズ御尋ネシマスガ、貴族院ノ其決議モ、亦農林大臣及ビ安達サンガアノ場

合ニ非公式ニ田中内閣ノ當局ヲ訪問サレテ御懇談ニナッタ御趣旨モ、何トカ根

本的ニ此問題ヲ解決シナケレバナラスト云フコトノ御希望デアッタト、斯ウ拜

承シテ宜ウゴザイマスガ、其點ヲ先ヅ御尋ネ致シマス

○町田國務大臣 大體左様デアリマス、唯、先頃カラ東郷君ノ御質問中ニ、

只今ノ御質問ノ意味モ幾分カ現ハレテ居リマスガ、或ハ東郷サンノ今ノ御尋

ネハ、是ハ根本的デナイデナイカト云フ意味モ先刻モ御漏ラシデアリマス

ガ、多分其意味デ御尋ネ下スッタと思ヒマスガ、色々研究ヲ致シマシタ、或ハ

米ノ專賣、或ハ高低價額ヲ如何ニスル

トカ、色々ノ研究ヲ致シマシタガ、之ヲ實地ニ行フ實行案トシテ考ヘテ見レバ、到底其處マデ參ラス事情ハ東郷サン能ク御承知ノ通りデアリマス、其事

情ヲ併セテ一言申添ヘマシテ、大體御質問ノ通りデアリマス

○東郷委員 只今農林大臣ノ御答辯ニ依テモ、其意味デアッタト云フ御話デア

リマシタガ、更ニ其結果トシテ、田中内閣ガ米穀調査會ヲ御設ケニナッタノ

デアリマセウガ、其際ニ於ケル所謂米穀調査會ノ第一回ノ總會ヲ昭和四年六

月十三日ニ御招集ニナッタ其時ノ田中總理大臣ノ御挨拶ノ要旨ヲ見テモ、詰

リ七十萬圓ノ資金ヲ増加シタト云フコトハ、是ハ應急ノ施設タルニ止ッテ居ル

カラ、米穀ノ需給及ビ價格調節ニ關スル根本方策ニ關シ改メテ慎重審議ヲ爲

シ、サウシテ刻下ノ事情ニ適切ナル政策ヲ樹立スル爲ニ、此調査會ヲ設置ス

ルニ至ッタ次第デアアル、斯ウ述ベテ居レマス、ソレカラ間モナク内閣ガ更迭

ニナッタ濱口内閣、現内閣ガ出來テ、サウシテ同ジク昭和四年九月十三日ニ、

此新内閣ガ總會カ御招集ニナッタ、其場合ノ濱口總理大臣ノ御挨拶ノ要旨ハ、

ヤハリ田中總理大臣ノ御述ニナッタコ

ト、大同小異デアリマス、即チ現内閣モ亦米穀問題ガ農家經濟及ビ一般國民生活ノ安定ニ離ルベカラザル關係ニアルニ鑑ミ、根本的調査ヲ遂ゲテ適切ナル米穀政策ヲ確立スルヲ以テ緊急缺クベカラザル國策ナリト信ズルカラ、前内閣ガ提出セル諮問案ニ付テ、各般ノ事情ヲ調査研究シテ、サウシテ適切ナル意見ヲ答申セラレタイ、斯ウ云フ意味ノ御挨拶ガアッタデアリマス、此田中、濱口兩總理大臣ノ米穀調査會ヲ御開キニナリ、サウシテ御諮問ニナッタ趣旨ガ其處ニアルコトモ先程農林大臣ノ御説明ト關聯シテ同様デアッテ、所謂根本的調査ヲヤッテ、根本的米穀ノ政策ヲ確立スル、ソレガ調査會ノ聲明デアッタ、斯ウ考ヘル譯デアリマス、先程農林大臣ハ根本的ニヤル積リデアッタガ、色々ナ事情デサウ云フ譯ニ行カナカッタ、斯ウ仰ツシタ、サウスレバ貴族院ノ附帶決議ハ或ハ衆議院ニ於テアノ七千萬圓ノ増額ニ民政黨ガ御賛成ニナッタ御趣旨、又ソレニ依テ政府ガ米穀調査會ヲ開イテ御諮問ニナッテ、研究調査シタト云フコトノ結果ガ、今度ノ改正ニ現レテ居ナイト云フコトデアレバ、出發ハ根本的の方策ヲ講ズル爲ニ調査會マデ設ケテ御研究ニナッタガ、結論トシテハソコマデ參ラナカッタ、色々ノ事情デ參ラナカッタト仰シヤルガ、其參ラナカッ

タ事情ハドウ云フ事情デアリマセウカ、又米穀調査會ノ答申案其モノデサヘ、總テノモノガ實現サレテ居ナイト云フ事情ハドウ云フ譯デアリマセウス、其點ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 私共ノ考ヲ簡單ニ申シマス、此度ノ基準ヲ設ケテヤルト云フノハ、根本的改正ノ一ツデアリマス、或ハ世ノ中デハ此米穀法ハ廢シテ仕舞ッテ——根本的ト云フ意味ニハ米穀法ヲ廢シテ仕舞ッテ、米穀ヲ國家ノ專賣トシテヤラウデハナイカ、或ハ公定價格ヲ定メテヤラウト云フヤウナ、此米穀法ヲ離レタ意味ノ根本的ト云フ見方モアリマス、ソレヲ申シタ、併シ今度ノ改正ハ大改正デアリマス、米穀法始マッテ十年以來、基準ヲ設ケテヤルト云フコトハ非常ナ大改正ト申シテ宜シイ、程度ノ多少ハアリマスガ、私ハ是

上ニ大影響ヲ及ボス所ノ米穀特別會計等ヲ眺メマシテ、サウシテ實行スベキ案トシテハ、私共ハ是ハ大改正ト思ヒマスルシ、一種ノ根本的改正ト思ヒマス、色々ナ事情ト云フヤウナ何カ改正スルコトノ他ノ原因ニ依ッテ斯様ナモノニナッタト云フ、事情ト云フ御言葉ヲ御使ヒニナリマスガ、私ノ申シタノハ、事情トハ、何カ他ノ原因ニ依ッテ生ズル所ノ事情ガ加ッテ改正ガ出來ナカッタト云フ意味デハアリマセヌ、米穀法ニ對シテハ、從來色々ナ意見ガアリマス、或ハ到底米穀法ナドデハ、米價ノ調節ハ出來ルモノデハナイカラ、寧ろ是ハ廢シテシマッテ、農民自體ノ責任ニ依リ、自覺ニ依ッテヤルガ宜シイト云フ議論ガアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、一方ニハ國家ノ權力ニ依ッテ、徹底的ニ之ヲ統制シヨウト云フ、根本的ナ意見モアルノデアリマス、何モ外ノ事情トカ云フコトニ依ッテ、是ガ出來タコトデナイコトバ、東郷君ガ調査會ニ始終御勉強下サツテ居ッテ、十分御承知ノコト、思ヒマス、尙ホ有ユル意見ガ調査會ニ出タコトモ御承知ノ通りデアリマス、遺憾ナガラ當時是レ以上ノ——

セラレマシタガ、甚ダ心外デアリマス、併シソレハ後ニ申述べマスガ、ソレデハ御尋ネ致シマス、米穀調査會ニ政府カラ御諮問ニナッタ諮問第一號、申上ゲルマデモナク「米穀ノ需給及價格ノ調節ニ關シ執ルベキ方策如何」是ハ此說明マデ此處デ申上ゲナケレバ、只今ノ農林大臣ノ私ニ對スル御批判ガ、甚ダ諒解ヲ戴ク上ニ於テ不便ト思ヒマスカラ、説明マデ私茲ニ讀上ゲマスガ、其諮問第一號ノ御提案ノ説明ニ斯ウ云フ調節ニ關シテハ大正十四年四月以來米穀法ヲ施行シ、爾來同法ノ運用ニ依リ、極力之ガ需給ノ圓滑ヲ圖リ、價格ヲ安定セシムルコトニ努メタルノ結果既ニ相當ノ效果ヲ擧ゲ得タルモ我國ノ米穀事情ハ今ヤ米穀法制定當時トハ著シク其趣ヲ異ニシ殊ニ人口ノ増加、朝鮮米、臺灣米ノ生産狀況等ニ於テ其變化ノ顯著ナルモノアリ之ガ爲、今後ニ於ケル米穀ノ調節政策ハ内地及朝鮮臺灣ヲ通ジテ之ヲ考慮スルヲ緊要ナリトスルニ至レリ、次ニ外國米ニ關シテモ、米穀法施行後、其事情ノ變遷ヲ來シ現行米穀法ノ範圍内ニ於テハ之ガ統制上遺憾ノ點尠カラズ、又米穀需給調節資金ノ制度ニ付テハ、第五十六帝國議會ニ於テ借入金ノ限度ヲ七千萬圓擴張セラレタルモ、右ハ臨時ノ應急的施設ニ止ル

ト、大同小異デアリマス、即チ現内閣モ亦米穀問題ガ農家經濟及ビ一般國民生活ノ安定ニ離ルベカラザル關係ニアルニ鑑ミ、根本的調査ヲ遂ゲテ適切ナル米穀政策ヲ確立スルヲ以テ緊急缺クベカラザル國策ナリト信ズルカラ、前内閣ガ提出セル諮問案ニ付テ、各般ノ事情ヲ調査研究シテ、サウシテ適切ナル意見ヲ答申セラレタイ、斯ウ云フ意味ノ御挨拶ガアッタデアリマス、此田中、濱口兩總理大臣ノ米穀調査會ヲ御開キニナリ、サウシテ御諮問ニナッタ趣旨ガ其處ニアルコトモ先程農林大臣ノ御説明ト關聯シテ同様デアッテ、所謂根本的調査ヲヤッテ、根本的米穀ノ政策ヲ確立スル、ソレガ調査會ノ聲明デアッタ、斯ウ考ヘル譯デアリマス、先程農林大臣ハ根本的ニヤル積リデアッタガ、色々ナ事情デサウ云フ譯ニ行カナカッタ、斯ウ仰ツシタ、サウスレバ貴族院ノ附帶決議ハ或ハ衆議院ニ於テアノ七千萬圓ノ増額ニ民政黨ガ御賛成ニナッタ御趣旨、又ソレニ依テ政府ガ米穀調査會ヲ開イテ御諮問ニナッテ、研究調査シタト云フコトノ結果ガ、今度ノ改正ニ現レテ居ナイト云フコトデアレバ、出發ハ根本的の方策ヲ講ズル爲ニ調査會マデ設ケテ御研究ニナッタガ、結論トシテハソコマデ參ラナカッタ、色々ノ事情デ參ラナカッタト仰シヤルガ、其參ラナカッ

タ事情ハドウ云フ事情デアリマセウカ、又米穀調査會ノ答申案其モノデサヘ、總テノモノガ實現サレテ居ナイト云フ事情ハドウ云フ譯デアリマセウス、其點ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○東郷委員 私カラ調査會ニ於テ——(十四字)コトハ、甚ダ遺憾ダト仰

ニ思ッテ居ル位デアリマス

ヲ以テ損失金補填ノ問題ト共ニ、更ニ根本的ニ攻究スルノ必要ニ迫ラレツ、アリ、以上ハ本調査會ニ於テ特ニ論議ヲ要スベキ重要ナル事項ヲ擧ゲタルモノニシテ、米穀ノ調節ニ關シテハ尙調査攻究スベキ事項尠カラズ、之ヲ要スルニ我國今後ニ於ケル米穀ノ需給及價格ノ調節ニ關シテハ、以上各般ノ米穀事情ニ關スル調査ヲ遂ゲ、更ニ根本的ニ之ガ對策ヲ確立スルノ寔ニ緊要ナルモノアリト認メラル、ガ故ニ茲ニ本案ヲ提出シ、之ニ對スル意見ヲ求ムル次第ナリ」ハ私ガ茲ニ申上ゲルマデモナク、サウ云フ風ニ最初ニ御諮問ニナリマシタ、諮問第一號ノ提案ノ理由ガ明カニ説明サレテ居リマス、調査會ヲ御設置ニナツタ御趣旨ガ、米穀問題ヲ根本的ニ解決スル爲ニ設ケル、而シテ其趣旨ニ依ッテ——先ヅ第一ニ御諮問ニナツテ居ル提案ノ理由モ、今申上ゲタヤウナ趣旨ニ依ッテ御提案ニナツテ居リマス、即チ從來ト違ッテ人口ノ増加、或ハ朝鮮米臺灣米ノ生産狀況ニモ變化ガアル、ダカラ今後ノ米穀ノ調節政策ハ、内地及ビ朝鮮臺灣ヲ通ジテ之ヲ考慮スルコトガ必要デアル、又外米ニ關シテモ其後事情ガ變ッテ來テ居ルカラ、現行米穀法ノ範圍内ニ於テハ、其統制上ニ於テ遺憾ナル點ガ少クナイカラ、ドウカシナケレバナラナイ、米穀需給調節

政策ノ制度ハ、五十六議會ニ於テ借入金ノ限度ヲ七千萬圓ニ擴張シタ、併シ是ハ臨時應急ノ施設ニ止マツテ居ル、ダカラ他ノ損失金補填ノ問題ト云フ、茲ニ重要ナル問題ガアルガ、ソレト共ニ更ニ根本的ニ攻究スルノ必要ニ迫ラレタノデアル、斯ウ云ッテ論議サルベキ重要ナル事項ヲ掲ゲラレテ居ラレルシ、更ニ今後ニ於ケル米穀ノ需給價格ノ調節ニ關シテハ、以上ノ色々ノ事情ニ關スル調査ヲ遂ゲテ、更ニ根本的ニ是ガ對策ヲ確立スルコトガ緊要デア

究スルノガアノ調査會ノ目的デアッタ、是ハ其通りデアル、ソレ故ニ私共ハ甚ダ未熟デハアリマシタガ、調査會ノ御趣旨ニ於テ私意見ヲ申上ゲテ居リマス、私ハ其時分ニハハッキリ申上ゲタ積リデアル、自分ニハ具體的成案ハナイ、但シ斯ウデナクチャナラヌト云フ意見ガアルカラ意見ヲ申上ゲルト云ツテ、特別委員會ニ私ノ意見ハ書面ニシテ出シテアル、サウシテ私ノ考ガ明ニ現ハレテ居リマス、吾々ハ現在ノ米穀法ノ缺點ガ何處ニ在ルカト云フコトヲ先ヅ考ヘ、ソレハ米價ガ下ツタ場合デモ、上ツタ場合デモ、何時モ後ヲ追ウテ出動スルノデアルカラ、後ノ祭りデ中々效果ガナイ、故ニ茲ニ米穀法其モノニ付テノ出動運用ニ付テハ、特別ニ考慮ヲシナケレバナラナイ、米價ガ出來秋ニ特ニ下落スルノハ、出來秋ニ市場ニ米ガ殺到シテ來ルカラデアル、其出來秋ノ殺到ヲ適當ニ調節スルト云フコトガ、米ノ需給ナリ價格ノ調節ノ上ニ於テ最も力ヲ盡サナケレバナラヌ所以ヲ述ベ、サウシテ其對策トシテハ根本的對策ト應急的對策ガアルガ、ソレデハ應急的對策トハドウ云フモノカト云フコトデ私ハ意見ヲ申上ゲテ居リマス、サウ云フコトヲ此處デ繰返ス必要ハアリマセスケレドモ、農林大臣ガオ前ハ

私ハ申上ゲル、私ノ其時出シマシタ意見ノ極ク要點ダケヲ申上ゲマスレバ、應急的對策トシテハ、第一ガ外國米ノ輸入ハ適當ノ方法デ以テ政府自ラ管理統制スルコト、ソレカラ第二ニ、朝鮮米ニ對シテハ、一、移入許可制度ヲ設ケ、各月平均移入ノ途ヲ開クコト、二、政府ハ農業倉庫ヲ建設シ、又補助金ヲ交付シテ、民間倉庫ノ建設ヲ獎勵シテ、米粃ノ貯藏ニ便ナラシメ、サウシテ其寄託米ニ對シテハ、低利資金ヲ融通スルコト、第三ガ臺灣米ハ差當リ大シテ内地ノ市價ニ影響シテ居ナイカラ、當分其儘ニスル、併ナガラ將來必要ナ事情ガ起ツタ場合ニハ、朝鮮米ニ準ジテ同ジヤウナ施設ヲスルコト、第四ニハ内地米ニ對シテハ次ノヤウナ方法ヲ講ジテ市場出廻リノ調節ヲヤル、ソレハ一ガ政府ハ出來秋ニ於テ生産者カラ一定ノ數量ヲ限ッテ米粃ノ一時預リヲナシ、之ニ對シテ一時的ニ低利資金ノ融通ヲナスコト、二ハ政府ハ補助金ヲ交付シテ農業倉庫ノ建設ヲ獎勵シ、サウシテ米粃ノ貯藏ヲ爲サシメテ、共同販賣ノ方法ヲ講ゼシメテ、サウシテ其寄託米ニ對シテ低利資金ノ融通ヲナスコト、ソレカラ第五ハ米穀法ハ之ニ改正ヲ加ヘテ當分ハ存續スル、但シ一定ノ基準ヲ設ケテ其出動ヲ慎重ニスルコト、第六ガ、米穀法運用ノ費用ノ中デ國家事

務ニ關スルモノハ之ヲ將來一般會計ノ負擔トスル、ソレカラ損失モ同様デアリマス、ソレカラ最後ニ第七トシテ、米穀ノ配給機關、取引機關ノ改善ヲ行フテ、消費經濟ノ合理化ヲシナケレバナナイ、斯ウ云フコトヲ私ハ應急對策トシテヤラナケレバナラヌト言フテ意見ヲ私ハ開陳シテ居ル、併ナガラ是ハ所謂應急對策デアツテ、根本對策トシテハドウスルカト云フト、日本ノ米ガ色々ノ關係カラ考ヘテ、所謂自足自給ト云フコトヲヤリ、其又目的ヲ達スル爲ニハ、自然ニ拋置スルコトハ出來ナイ、人爲的ニ調節スルコトガ必要デアルト云フコトニ誤リガナイナラバ、ソレガ國策デアルト云フナラバ、此國策ヲ最モ完全ニ遂行スル爲ニハ今ノ米穀法ナドデハ徹底デハナイ、徹底の方法トシテハ、專賣制度ヲ採ルト云フコトモ一ツノ方法デアラウカラ、斯ウ云フコトモ此處デ研究シナケレバナラナイト云フコトヲ私ハハッキリ申上ゲテ居リマス、即チ應急對策ト根本對策、專賣法ノ如キハ、此調査會デモト考究シテ、ソコマデ進ンデ行カナケレバナラヌト云フコトヲ、ハッキリ自分ノ意見トシテ申上ゲテ居ル、然ルニ農林大臣ガオ前ハ何モ

モ角モ、米穀調査會ハサウ云フ氣分デ御開キニナリ、サウ云フ氣分デ御諮問ニナリ、サウシテサウ云フ氣分デ答申モ出來タト思ヒマスケレドモ、其答申ガ多數ノ者ノ意見ニ依ツテキマッタノデアリマスカラ、幾分個々ノ意見カラ考ヘタナラバ不滿ナモノガ多イデセウ、私自身モアノ答申案ハ非常ニ不滿デス、若シ自分ノ意見通り行クモノデアラナラバ、モット根本的ナ對策ガ出來タコト、思ヒマス、併シ多數ノ者デ行クノデアリマスカラ、自分ノ意見ガ通ラナイノハ已ムヲ得ナイ、サウ云フ意味デ言フテ、根本的ナ答申案ガ出來ナカッタカモ知レナイガ、兎モ角モ今度ノ御提案ニナツタ改正法律案ハ、吾々ハ非常ニ遺憾ト思フ、非常ニ不完全ダト思フ所ノアノ米穀調査會ノ諮問第一號ニ對スル答申案ニ依ツテ、政府ニ御答申上ゲタガ、其ホンノ一部分ガ實現シタニ過ギナイノデアリマス、アノ答申案サヘ吾々カラ言ヘバ非常ニ不滿デアリ、根本的デナイト思フ、其答申案五箇條ノホンノ一部分ガ今度ノ法案ニ現ハレタダケデアツテ、ドウ考ヘテモ私ハ根本的ナ對策デアラウトハ考ヘラレナイ、此點ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス、而シテ私ガ米穀調査會ニ於テ何モ

〇町田國務大臣 私ノ東郷君ニ——(十八字)ノハ遺憾デアッタト云フ言葉ハ、東郷君ノ今ノ御話ヲ聽クト、私ノ申シタコトガ極メテ輕率ナヤウニ聞エマス、併シ私ハ此席デ申上ゲマセス、唯其點ニ付キマシテハ東郷君カラ意見書ガ出テ居ルコトハ能ク承知シテ居リマス、又臺灣、朝鮮及外國米ニ對シテハ、内地ノ農業倉庫ヲ盛ンニシテ、之ニ低利資金ヲ與ヘテ、農家自身ヲシテ米穀調節ヲ幾分サセルト云フ御趣意ノ下ニ出タ御意見モ能ク承知シテ居リマス、是ハ東郷君ノ御意見モアリマシタシ、他ニモ同様ナ御意見モアリ、吾々モサウ考ヘテ居リマスカラ、此度ノ米穀法ノ改正ト共ニ斯様ナ施設ヲスルコトニ致シテ居リマス、私ノ先刻ノ

(十八字)ノハ遺憾デアッタト云フ言葉ハ斯ウ云フ所カラ出テ居リマス、是ハ此席デ申上ゲテハ如何カ知レマセヌガ、實際ノ事情ヲ申上ゲマスト、屢、小委員會ニ集ツテ戴イテ考究モシマシテ、其席ニハ東郷君モ見エテ居ッタト思ヒマスカラ、東郷君モ御記憶ガアラウト思ヒマス、御話ノ通りアノ案ガ不滿デアルカラ、多數ノキメタモノデアルカラ斯ウナツタト云フ其意味デアアルカモ知レマセヌガ、私ガ東郷君ニ意見ヲ促シタコトガアルコトハ御記憶デアラウト思ヒマス、併シ東郷君ハ、モウ此席デハ多數ノ意見ト合ハヌカラ、容レラレヌカラト云フ意味デアッタカ知レマセヌガ、モウ意見ハ述べナイト云フ非公式ノ御話ノアッタコトヲ、私能ク記憶シテ居リマシタ爲ニ、左様ナコトヲ申シタノデアリマシタ、併シ相當色々ナ箇條ニ分レテ御意見ヲ提出サレテ居ルコトハ能ク承知シテ居リマス、故ニ私ガ何等

(二十三字)ト申シタノハ、アナタノ提出サレタ案ニ對シテ申シタトスレバ、私ノ申シヤウガ少シ進ミ過ギタト思ヒマスノデ、其點ハ釋明ヲ致ス積リデアリマシタガ、事情ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ根本的ナ改正ト申スコトハ、御承知ノ通り十分研究シタノデアリマス、田中總理ガ此案ヲ出サレタ時ニ、場合ニ依レバ米穀法ヲ廢シテ、外ニ外法ガアレバソレデモ宜シイト云フコトヲ、或ル質問ニ對シテ答辯サレタコトモアルヤウニ思ヒマス、濱口内閣ガ出來テ、濱口首相モ、此問題ハ廣イ意味ニ於テ考究ヲ願ヒタイト云フ中ニハ、此米穀法ヲ廢シテ、外ニ何等カ根本的ニ變タ案ガアレバ、ソレモ考究シテ宜シイト云フコトハ、田中會長ト同ジ考デアリマス、ソコマデ委員會ニ於テハ、或ハ米穀法ヲ全然廢シテシマフト云フ全廢論モアリマシタシ、種々ナル議論モアリマシタガ、調査審議ノ末ニ、實行不能

ノ案トシテ、ソレハ取除ケマシテ、米穀法運用ノ基準ヲ定ムルコトヲ以テ米穀法存置ノ下ニ其大改正ヲ行フコトヲ以テ審議ヲ終ラシメテアリマシテ、其事情ハ御承知ノ通りデアリマス、私共ハ是レ以上ニ根本的ノ改正ハ困難ト思ヒマシテ、此案ヲ出シタノデアリマス、先刻私ノ申シタノハ、最後ニ御意見ヲ承ルコトヲ得ナカッタノハ、東郷君ガ案ヲ出サレナカッタ云フ意味デナイコトハアナタノ仰シヤル通りデアリマス、私ノ申シヤウガ惡カッタナラバ、ソレハ釋明致シテ置キマス

○東郷委員

詰ラヌコトデ農林大臣ト議論スルコトハ遺憾デアリマスケレドモ、併シ餘リ酷イ、ハッキリ私ガ述ベテ居ルノデスカラ……非公式ニドウ言ッ

タカハ、ソレハ別問題デス、ケレドモ私ハ意見書ヲ出シテ、特別委員長ガ説明シロト言フカラ、説明マデ申シテ居ルノデアリマス、此處デ私ダケノ氣持ヲ、御許シ下サレバ述ベテ見マスガ、私ハ米穀調査會デハモット根本的對策ヲ御研究ニナルコトヲ希望モシ、期待モシテ居ッタ、差當リ色々ノ對策ヲ講ズルコトハ、ソレハ別問題デスガ、ソレデハイケナイ、ドウシテモ日本ノ米ノ對策ヲ根本カラ解決スルヤウナ國策ヲ立テルニハ、モット進ンダヤリ方デ行カナケレバナラス、ソレヲ研究スルコトガ

此調査會ノ一ノ使命デアリマセヌカト云フ意味デ、私ハ永久對策モアノ時說明申上ゲタ所ガ私ノ希望ハ多數ノ委員諸君ニ容レラレナカッタカラ、結局不滿ナガラアノ答申案五ヶ條ニ纏マツタ、サウシテ答申案五項ニハ私モ賛成シテ居リマス、贊成シテ居ルガ、ソレハ次善ノ策、三善ノ策トシテ贊成シテ居ルモノデ、此答申案ニ付テハ、私モ調査會ノ委員トシテ責任ヲ持ッテ居リマスカ、私ガ

○町田國務大臣

東郷サンノ只今ノ御話ハ私ハ衷心ヨリ御尤ナ御發言ト思ヒマス、實ハ先刻、非公式ナ事ヲ申述ベタルコトハ如何デアリマシタガ申シマシタガ、公ノ席デハ、私ノ前ニ申シタ

（九字）ト云フ言葉ハ取消シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、此事情ニ付キマシテハ、私非公式ニ御話ヲシタコトガアリマスガ、併シソレヲ思ヒ浮ブ儘ニ申シタノハ甚ダ相濟マスト思ヒマスカラ、之ヲ取消シテ置キマス

○東委員

一寸關聯シテ居リマスカラ私ハ町田農相ノ只今ノ御言葉ニ付テハ、奇麗ニ御取消ニナリマシタカラ、是レ以上申シマセヌガ、私共ハ此法案ニ對シテ全ク政黨感情トカ黨略ト云フコトヲ考ヘテ居ラナイ、所ガ農林大臣ハ、只今東郷君ノ發言ニ對シテ侮辱的

ナ言辭ヲ發シテ、調査會ヲ開イタガ、オ前ハ何等ノ意見ヲ持ッテ居ラヌヂヤナイカ、ヤルナラバ調査會デ聞クベヤ答デアッタト云フヤウナコトハ、甚ダ議員ヲ侮辱シテ居ル言デアアル、私ハ町田農相ノ平素ニ對シテハ常ニ其人格ヲ尊敬シテ居ル一人デアリマス、故ニ私共ハ何レノ場合ニ於テモ、大臣ニ對シテ敬意ヲ失スル言辭ナドヲ會テ弄シタコトハナイ、本會議ニ於テモ、或ハ豫算委員會ニ於テモ、何レノ場合ニモ、農林當局者、殊ニ町田農相ニ對シテハ敬意ヲ表シ、十分ニ尊敬ノ意味ヲ以テ發言ヲ致シテ居ル、隨分非難ヲスレバ惡罵譏謗ヲスル事モアリマスガ、サウ云フコトハ避ケテ居ル、然ルニ先日カラ私ノ身上ニ關シテ、私ハ一回ノ發言モシナイノニ、數回私ノ身上ニ互ッテ大

臣ハ申サレテ居ルコトヲ私ハ心外ニ思フ、ソレハドウ云フコトデアルカト言ヘバ、先ヅ第一ニ、先日原君ノ質問ノ際ニ於テモ、米ヲ買上ゲタノハ或ル内閣デハ九月ニ於テ米ヲ買上ゲタ内閣サヘアルト云フコト、是ハ私ノ當局者ノ時分ノコトヲアナタハ批評スルノデアリマス、アノ當時米ヲ九月ニ買ッタト云フノハドウ云フ事情デアッタカト云フコトヲ、アナタハ御詮議ニナッテ居ルカドウカ、是ガ善イト云フノカ、惡イト云フノカ、甚ダドウモ不穩當ナ言ト思

フノデス、九月ニ買フノハ買フベキ事情ガアッタカラ買ッタノデアリマス、此處ニ居ルアナタノ屬僚トシテ平素御使用ニナッテ居ル松村次官、或ハ石黑局長、是等ノ人ガ皆參畫シテヤッタ仕事デアアル、ソレハ相當ノ時機ニ於テ、相當ノ價格デ買ッタト吾々ハ確信シテ居ル、然ルニ拘ラズ或ル内閣ハ九月ニスラ米ヲ買ッタ時代ガアルト云フヤウナコトハ、甚ダ不穩當ナ言葉デアルト思フ、ノミナラズ低利資金ノ貸出ニ付テ、時機ガ遅レタト云フ意味ノ非難攻撃ガアルト、東郷ハ承知シテ居ル答ダ、東郷前ヲ引用シテ、サウシテ御答辯ナサッテ居ル、私ハ何等之ニ付テ質問モ何モ致シテ居ラス、是ハ石黑局長デアリマスカ……斯ウ云フコトハ御互ニ慎ムベ

キコトデアラウト思フ、吾々ハ此委員會ヲ進行スル上ニ於テモ深甚ナル敬意ヲ表シテ、國家ノ爲ニ誠心誠意ヲ以テ是ガ審議ヲ致シテ居ル、然ルニ言葉尻ヲ捕ヘテ、又ハ吾々ノ前内閣時代ノコトナドヲ非難スルト云フヤウナ態度ヲ取ルナラバ、吾々モ相當ノ考ヲ持ッテ此議事ヲ進行シナケレバナラヌト考ヘテ居ル、故ニ只今ノ東郷君ニ對スル發言ニ付テモ、甚ダ不穩當ト私ハ考ヘル

○町田國務大臣

東郷君ノ御發言ニ對シテ、私ノ言ヒ方ガ惡カッタコトハ、重

ネテ私ハ茲ニ取消スコトヲ言明シテ御
諒解ヲ得タイト思ヒマス、ソレカラ東君
ノ御話ハ、少シ私ハ意外ト實ハ感ジテ
居リマス、東君ガ黨派ノ關係デナク、
私ニ對シテ常ニ國家問題ニ對シテ非公
式ニ色々御話ガアルト同時ニ、私モ
常ニ東君ニ對シテハ、左様ナ事ヲ致シ
テ居ルノデアル、眞ニ益友ト互ニ相考
ヘテ居ル人ト、私ハ率直ニ申セバ左様
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ何等
東君ニ對シテ——成程此席ニ御イデニ
ナッタ時ニ再度バカリ私申シタコトハ
アルト記憶シマス、ソレハ農林省ノミ
ナラズ、實際ノ事務的ノ進行ガ斯様ナ
事情デ進マナカッタ、督勵鞭撻ヲ致シテ
居ルモノ、事務的ニハ中々手數ノ掛
ル事情ハ東君モ能ク御承知ノコトデア
ルト云フ意味デ、寧ロ同情シテ下サル
ダラウ實際ノ事情ヲ御承知デアルカラ
……、斯ウ云フ意味デ申シタ次第デア
リマス

存ジノ方々ガ皆御承知ノ通りデアリマ
スガ、唯基準ヲ設ケヌ爲ニ色々ナ議論
ガ生ズルカラ、茲ニ當局者ノ責任デ致
スベキ範圍ヲ或ル程度ニ局限シテ、法
律ノ上ニ大體ノ基準ヲ設ケテ置クト云
フ意味カラ、其一例トシテ申上ゲタノ
デアッテ、何等東君ニ對スル當時ノヤリ
方ノ批評ヲ致ス意味デナイト云フコト
ニ、ドウゾ御諒承下サツテ、私モ今後ハ
努メテ言葉ヲ慎シミ、進行ヲ圖ツテ、此
國家問題ヲ俱ニ共ニ研究シタイト云フ
コトヲ望ミマスルガ故ニ、左様御諒承
ヲ願ヒマス

○東委員 只今農林大臣ノ御言葉ニ
依ッテ、私ハ一應了承致シマスケレド
モ、アナタノ言葉ハ先日ノ、九月ニ米
ヲ買上ゲル内閣スラアッタト云フコト
ハ、甚ダ其間ニ何カ施設ヲ誤ッタト云フ
コトガ言外ニ意味ヲ含蓄致シテ居ッタ
コトハ明デアアル、米ヲ買フ時期ハ大抵
十一月十二月——十一月ニハ買ヘナ
イ、十二月トカ、一月トカ、二月トカ、
小農ノ一番米ヲ賣出ス時期ガ適當ナ時
期デアアル、其場合ニ九月頃ニ買ッタ内閣
スラアルト云フ言葉デアアルカラ、是ハ
前内閣ノ施政ヲ非難シタ言葉ト私ハ受
取ッタノデアリマス、是ハ只今基準ガ無
イカラ九月ニヤルコトモアレバ十月ニ
ヤルコトモアルト云フヤウナ御辯明デ
アルカラ、ソレハ左様ニ私ハ了承シテ

置キマスガ、ドウモ農林大臣ハ動モス
レバ言語ガ不穩當ナ事ガアルノデアリ
マス、本會議ニ於テモ、或ハ豫算總會
ニ於テモ、蠶絲補償法ヲ出動シタノハ
吾々ノ責任デハナイ、是ハ前内閣ガ法
律ヲ作ッタ、其法律ガ惡イカラダ、斯
ウ云フコトヲアナタハ仰シヤッテ居ル、
是ハ法律ガ不完備デアアル——言葉ハア
ナタノ言葉ト違フカモ知レヌガ、サウ
云フ事ヲ度々仰シヤッテ居ル、是モ私ハ
甚ダ不愉快ニ考ヘテ居ル、法律ガ不完
備デアルト云フ、其法律ハ唯ガ作ッタ
カ、吾々ノ内閣デ作ッタノデアアルガ、石
黒局長ハ其時蠶絲局長デアッテ、今ノ農
務局長其人ガ作ッタノデアアル、吾々ハ之
ヲ國家ノ爲ニ必要デアルト認メテ作ッ
タノデアアル、ソレガ法律ガ不完全デア
ルカラ效果ヲ奏セヌノハ當リ前デアアル
ト云フヤウナコトハ、是ハ大臣トシテ
ノ用語デハナイト私ハ思フ、斯ウ云フ
コトハ今後御互ニ——私ハ大臣バカリ
ヲ責メルノデハナイガ、御互ニ注意シ
タイト考ヘテ居ルカラ、偶ハ東郷君ノ發
言ニ關シテ私ハ御忠言申上ゲルノデア
ル

○町田國務大臣 喜ンデ了承シマス
○東郷委員 農林大臣ノ今マデノ御答
辯ニ依リマスレバ、要スルニ米穀調査
會ヲ設ケタノハ、米ノ問題ノ根本對策
ヲ攻究スル爲ニ設ケタノダ、而シテ諮

問第一號モ其趣旨ニ依ッテ調査會ニ諮
問シタノダ、斯ウ云フコトハモウ確實
ニ御認メニナッテ居ル、事實其調査會ニ
於テ色々ノ意見ガ出タ、私ガ根本的ノ
意見ヲ申上ゲタコトモ、失言ヲ御取消
スノ上御認下サツタカラ、サウ云フヤウ
ニ外ノ委員諸君カラモ色々意見ガ出
タ、出タガ色々審議シタ結果ガ、ソレ
ガ葬ラレテ最後ノ答申案ガ出來タ、デ
スカラアノ答申案其モノハ、今マデノ
御説明カラ歸納スレバ、ヤハリ根本的
ノモノデナイ、斯ウ言ッタヤウニ解釋シ
テ差支ナイト思ヒマス、ソレデアノ五
箇條ノ中ニ、或ル點ニ於テハ中々根本
的ノモノモ含マレテ居ルノデアリマ
ス、私ガ此處ニ其箇條ヲ申上ゲナクテ
モ、農林大臣ハ無論御承知デスケレド
モ、議事ヲ進行スル上ニ於テ必要デス
カラ此處ニ申上ゲテ見マスガ、即チ諮
問第一號ニ對スル答申ハ、五ツノ箇條
カラ成ッテ居ル、其箇條ヲ申シマスレ
バ、第一ガ米穀基準ヲ設定スルハ肝要
ナリト認ム、仍テ政府ハ速ニ米穀法ノ
發動ニ必要ナル米價ノ最低最高基準ヲ
調査決定スベシ、第二項ガ農業倉庫ヲ
獎勵シ之ニ低利資金ヲ融通スル、第三
項ハ内地ニ移出スル朝鮮米ノ數量ヲ月
別平均的ニ調節スル爲ニ速ニ朝鮮總督
府ニ於テ適當ナル方策ヲ樹立スベシ、
第四ガ外國米輸入許可制度ヲ設ケ一定

買ハレタ事ガアルト云フコトモ言ウタ
ヤウニ考ヘマス、併シ是ハ當時世ノ中
ニ議論ガアッタコトハ御承知ノ通りデ
アリマス、色々ナ批評モアッタ、併シ農
林當局トシテハ、當時買ハナケレバナ
ラス正當ナル根據ト理由ガアッテヤラ
レタニ相違ナイ、濫リニヤルベキモノ
デナイコトハ、實際ノ事務ノ事情ヲ御

アルカラ、ソレハ左様ニ私ハ了承シテ

アルカラ、ソレハ左様ニ私ハ了承シテ

アルカラ、ソレハ左様ニ私ハ了承シテ

數量ノ輸入ヲ許可シ、同時ニ輸出ヲモ
許可ヲ受ケシムルコト、シ、外國米輸出
ノ管理統制ヲ圖ルベシ、最後ニ第五
トシテ從來ノ米穀需給調節特別會計ノ
損失ヲ一般會計ニ移スコト、斯ウ云フ
五ツノ箇條ヲ以テ諮問第一號ニ對スル
答申ガ出來タノデアリマス、此諮問案

ト思ヒマス、サウスレバ基準米價ノ問
題ガ一ツ殘ルノデス、是デモ農林大臣
ハ調査會答申ヲ尊重シテ、大ニ米穀對
策、或ハ米穀法ノ改善ニ力ヲ盡シタト
御考ニナリマス、其點ノ御意見ヲ承
リマス

ニハ、先程申シタヤウニ、私モ贊成致
シマシタ、ソコデ此五ツノ答申案其モ
ノガ吾々總テノ者ノ希望スル、又農林
大臣自ラ御希望ニナル所謂根本的ノ對
策ヲ決定スルモノトシテハ御不滿ダラ
ウト思ヒマス、私モ贊成シナガラ不滿

○町田國務大臣 東郷君ノ提出サレタ
御案ノ中デ、只今述ベラレタ箇條ハ審
議會デモ可決シテ居リマス、同時ニ東
郷君ノ提出サレタ御意見ノ中ニ、確カ
出動スベキ或ル基準ヲ設ケヨウト云フ
御意見モアッタヤウニ存ジテ居マス

○東郷委員 其通りデス

ノ一人デアアル、ソコデ此不滿ノ答申ノ
五ツノ條項カラ考ヘテ、而シテ現内閣
ガ米穀法ノ改正ナリ、或ハ需給調節資
金ノ方ノ改正法律案ナリヲ御出シニ

○町田國務大臣 其基準ガ東郷君ノ御
希望ノ通りノ基準トナッタカ否ヤハ別
トシマシテ、ヤハリ米穀法ヲ出動スル
基準ヲ作ッテ、當局者ノ責任ノ範圍以外

ニ、法律ノ上ニ於テ何等カ基準ヲ設ケ
テ置クコトガ宜シイト云フ意見ガ東郷

ニナッタ所ヲ考ヘテ見マスルト、中々サ
ウ完全ニ遂行サレテ居ナイヤウニ思
フ、即チ此五ツノ答申ノ中デ、法律ト

君モアラレタヤウニ記憶致シマス、シ
テ見レバ只今御話ノ外ニハ、根本的ノ
改正ノ一ツト見ルベキモノハ即チ基準

シテ現ハレタモノハ何デアアルカト云フ
ト只今問題ニナッテ居リマス米穀基準
設定ニ關スル法律案、モウ一ツハ外米

ヲ設ケルト云フコトデアリマス、此點
ニ對シテハ東郷君ノ御意見トシテ會テ
拜見シタモノ、中ニアルヤウニ思ヒマ

ノ輸出入ニ關スル、從來第二條ニ依ッ
テ臨時ニ勅令ニ依ル權能ヲ持ッテ居ッ
者ガ今度ハ當時的ニ法律ヲ御改メニ

ス、モウ一ツ東郷君ノ御意見トシテ私
記憶シテ居ルノハ、出來秋ニ於テ或ル
一定ノ數量ヲ買フト云フ御意見ガアッ

ナッタ、是ダケニ過ギナイ、デアアルカラ
此賣買管理ハ唯當時的ニ法律ニ規定サ
レタダケデ、從來ト大シタ變化ハナイ

一定ノ數量ヲ買フト云フ御意見ガアッ
タト思ヒマス、此御意見モ相當研究ヲ
吾々モシマシタシ、調査會デモ研究サ

レタガ、種々ナル點カラ餘程困難ナモ
トシテ、遺憾ナガラ是ハ調査會ニ於
テ多數ノ意見ト相成ラナカッタコトモ
御承知ノ通りデアリマスガ、東郷君ガ
先刻御話ニナッタ、根本的ノ改正ト見ル
ベキモノハ、東郷君モ出サレタ、何等

タ一人出シタ意見デス、私ハ調査會ノ
内容ヲ此處ニ諄々シク申上ゲル必要ハ
ナイノデスケレドモ、誤解ガアルカラ
申上ゲマス、私ハ特別委員ニハナッ
ガ、小委員ニハナッテ居リマセヌ、而シ
テ小委員デ色々御苦心ニナッテ御決定

カ茲ニ基準ヲ設ケテ之ヲ單ニ當局ニ委
シテ置クノミデハ宜シクアルマイト云
フ御意見ハ、私共ノ今度ノ基準トシテ
現ハレタ米穀法ニ從來ナカッタ所ノ根
本的改正ガ現ハレタト、斯様ニ御承知

ニナッタ模様が見エヌカラ、特別委員長
ニ私ハ質問ラシタ、アレハドウナリマ
シタ、ア、ソレハ私忘レテ居ッタ、農業

ハ從來ナカッタ基準ヲ設ケルト云フコ
トヲ以テ、先ヅ根本的ニ加ヘタ改正ト
ス様ニ考ヘテ居リマス

○東郷委員 只今農林大臣ノ御話ノ中
デ、私少シ大臣ノ仰シヤルコトガ違ッテ
居リマスカラ申上ゲマスガ、私ガ調査

會デ出シタ意見ノ中ニ、出來秋ニ一定
數量ヲ買上ゲルト云フ意見ガアッタヤ
ウダガ、ソレハ小委員會等デ多クノ委

員長ハ言ハレタ、ソレデ特別委員長ハ、
サウ云フ譯ダカラ小委員會デハサウ云
フ風ニナッタケレドモ、適當ナ機會ニ於

テ居ナイト仰シヤイマシタガ、サウ云
フ意見ハ私出シテ居ラナイノデス、出
來秋ニ政府ガ一定ノ數量ヲ限ッテ生産

見ヲ述ベルナラバ述ベテ見タラ宜カラ
ウ、斯ウ云フ事デアリマシタガ、私ハ
遂ニ其意見ヲ述ベル機會ヲ得ズシテ葬

レニ政府ガ低利資金ヲ出ス、斯ウ云フ
意見ガアリマス、是ハ他ノ何人ノ委員

アリマスガ、只今農林大臣ガ一時出來
秋ニ於テ一定數量ヲ政府ガ買上ゲル意

見ダト仰シヤイマシテモ、其買上ゲル事トハ非常ニ違フ、私ハ買上ゲル事ハ非常ニ缺點ガアルカラ、斯ウ云フ他ノ人ノ言ハナイ意見ヲ出シテ來タノデスガ、少數ノ悲シサ、ソレハ葬ラレテシマッタカラ已ムヲ得ナイ、其葬ラレタ事ニ對シテハ、不平モ何モ申シマセヌガ、サウ云フ行懸リガアルカラ、ハッキリ申シテ置キマス、サウデナイト天下ニ誤解ヲ傳ヘラレマスカラ、農林大臣ノ先程仰シヤイマシタ事ハ私ノ意見ト違ヒマスカラ、ソレダケハ訂正シテ戴カナイト困リマス、ソレダケノ事ヲ申上ゲテ置キマス

ソコデ基準案ヲ定メルト云フ事ハ、オ前ノ意見ニモアルデヤナイカ、其通リデアリマス、先程モ私が申上ゲマシタヤウニ、一定ノ基準ヲ定メテ、ソレカラ出動ヲ慎重ニシテ行クト云フ事、ソレハ何レノ點カラ考ヘテモ結構ナ事デス、結構ナ事デスカラ、現内閣ガ米穀法ノ改正ニ其點ヲ御出シニナッタト云フ事ハ、私ハ反對スルモノデモ何デモナイ、唯其方法ナリ、或ハ改正ノ趣旨ガ宜イカ悪イカト云フコトニ付テ色色議論ガアリマセウ、ソレハ別問題デスガ、之ヲ改正法律案ノ上ニ御現シニナツテ、非常ニ重キヲ置イテ行カレルト云フ事ニ付テモ、私ハ何等茲ニ疑義ヲ挾ム者デナイ、サウ云フ事ヲ私ハ申上

ゲルノデアリマセヌ、洵ニ結構ナ事デス、併シ其基準案ノ設定ニ付テノ改正ト、ソレカラ外米ニ關スル管理統制ノ爲ニ、當時的ニ法律ノ上ニ明瞭ニ其趣旨ヲ示ス爲ニ御改正ニナツタ、是ダケノコトデ、其他ニ調査會ガ答申シタ重大ナル事ガドレダケ入ッテ行ハレテ居ルカ、法律トハ別デアアルカモ知レヌガ、併ナガラ先程來申シマヌヤウニ調査會ハ米穀法ニ限ッタコトデナイ、色々ナ點カラ米ノ運用ニ必要ナ事ヲ答申シタノデス、此二ツ以外ニ大シタ事ハナイノデ、後ノ問題ハボツ／＼御尋致シマスガ、此點ダケヲ申上ゲテ置キマス

○町田國務大臣 大體能ク調査會ノ事情ヲ御承知デアリマスカラ、御尋ノ點モ改メテ御返事スル程ノコトハナイト思ヒマスガ、第一回ノ調査會ニ於テハ、確力五箇條ノ答申ヲセラレタト思ヒマス、第二回ノ答申ハ、基準ニ對スル問題デアリマスカラ之ヲ別トシマシテ、其五箇條ノ答申ノ中ノ第一ハ、農業倉庫ヲ促進シテ、之ニ低利資金ヲ與ヘル、是ハ米穀法ヲ離レマシタ米穀運用ニ對スル施設ノ一ツデアリマス、是ハ直チニ米穀倉庫ヲ、從來アリマス上ニ、更ニ米穀倉庫ヲ造ルト云フコトハ急ニ間ニ合ヒマセヌカラ、ヤハリ今度三千萬圓ノ低利資金ヲ以テ、主トシテ穀貯藏ヲサセルト云フコトハ、ヤハリ委員會

デ答申セラレタ趣意ト大體ハ一緒デアリマス、殊ニ私ノ方デ常ニ概數ハ斯様ナモノデアルト想像シテ居ルノハ、補助ヲ與ヘテ出來マシタ米穀倉庫以外ニモ、全國ニ涉ッテ確力六百萬石位ヲ收容スル倉庫ガアルノデアリマスカラ、漸ク追ウテ農業倉庫ノ設立ヲ促スモノ、差當リノ應急ノ施設ニ對シテハ、今アル全國ノ倉庫ヲ利用スルコトガ出來ルト思ヒマスガ故ニ、茲ニ低利資金三千萬圓ヲ與ヘテ、應急ノ方法トシテハ穀貯藏サセルト云フコトモ、此答申ノ第一ト趣意ハ稍、同ジク相成ッテ居ルト考ヘマス、ソレカラ答申ノ五箇條ノ中ノモウ一ツハ關稅ノ問題、モウ一ツハ外米ヲ國家ガ統制管理、ト云フ言葉ヲ申シテハ過ギルカモ知レマセヌガ、認可方法ニ依ッテ外米ノ輸入ヲ統制スルト云フコトモ現ニ此答申ニモアリマスシ、吾々ノ常ニ考ヘテ居ル點デアリマスカラ、是モヤッテ居ルノデス、唯遺憾ナコトニハ、勅令ヲ以テ別ニ規定ヲ設クルト云フコトヲ今度ノ改正法ニモ書イテアル如ク、條約ノ上カラ各國カラ入リマス、輸入米ノ全部ニ向ッテ許可制度ヲ行ヒ得ナイ條約ノ關係ノアル國ガアリマスカラ、此國ニ對シテハ、直ニ一種ノ制限ヲ致スコトガ相當今後或ル年數ヲ經ナケレバ出來ナイコトガ遺憾デアリマスケレドモ、已ムヲ得ヌ

爲ニ、ソレヲ設ケテアリマス、ソレカラ東郷君ガ最モ私ハ熱心ニ主張サレタト今デモ記憶シテ居リマスノハ、朝鮮、臺灣米ト内地米ノ關係デアッテ、此點ニ對シテモ相當他ノ委員以上ニ熱心ニ御研究ニモナラレ、御意見モアッタヤウニ思ヒマス、此點ハ私共モ朝鮮米ノ一時ニ殺到スルガ爲ニ、内地ノ米價ヲ壓迫スル事實ハ確ニ之ヲ認メテ居リマシテ、何等カ之ニ對スル對策ガナケレバ此朝鮮米ノ殺到ノ爲ニ内地ノ米價ヲ著シク低落セシメルコトハ、勿論延テ朝鮮ノ農民ノ利害カラ見テモ宜シクナイ、單リ内地カラ見ルバカリデナク、此朝鮮米ガ殺到スル爲ニ、内地米ノ價格ガ下落シ、延テ朝鮮米ノ下落ヲ來シ、共通ノ利害カラ考ヘマシテ、朝鮮カラ入ル米ヲバ出來ルナラバ月割平均ニ入レテ、内地米ニ壓迫ヲ加ヘルコトヲ避ケルコトニ對シテ、東郷サンノ御意見デアリマシタカ、他ノ委員ノ方ノ御意見デアリマシタカ、何等カ内地ノ農民竝ニ内地米ノ價格ノ暴落ヲ防グ爲ニ、モット進シテ朝鮮米ニ對スル制限ヲ加ヘル必要ガアルカノ如キ御意見ハ、東郷サンデナカッタカモ知レマセヌガ、少クトモ農會ヲ代表シタヤウナ意味ノ意見ガ相當強ク現ハレテ、是ガ爲ニ朝鮮總督府竝ニ朝鮮民ノ間ニ一種ノ「センセーション」ヲ起シテ居ッタ事情モ御承

知ノ通りデアリマス、恐ラクハ何レノ
内閣モ、私ハ此點ハ同様ト思ヒマスガ、
現内閣ハ大體ニ於キマシテ朝鮮米ト内
地米ノ間ニ差別ヲ致シテ、内地米ヲ保
護スル爲ニ、朝鮮カラ移入スル米ノ全
數量ヲ制限スルト云フ考ハゴザイマセ
ヌ、斯様ナコトヲ致シマス、朝鮮統
治ノ上ニ非常ナル故障ヲ生ズルト思ヒ
マスルガ故ニ、朝鮮カラ一年間入ル米
ノ數量ヲ制限シテ、内地農民ノ爲ニ朝
鮮ノ米ノ入ルコトヲ防グト云フ政策ハ
斷ジテ執ラスノデアリマス、併シ御承
知ノ通りニ、朝鮮デハ内地ノ農民カラ
見マスルト、マダ進マヌ爲デアリマセ
ウ、十一月十二月カラ一二月ノ間ニ、
内地ニ一時多量ニ米ヲ移入シテ、是ガ
爲ニ米價ニ大變動ヲ來シ低落ヲ來スコ
トハ事實デアリマスルガ故ニ、先以テ
經濟的施設ニ依ッテ、朝鮮カラ内地ニ入
ル米ヲ調節シヨウト云フ施設ハ現ニヤ
リツ、アリマス、恐ラクハ午後拓務大
臣ノ此機會ニ出席スルノ御要求ノアル
ノモ、東郷君ノ多分其邊ノ御尋ト思ヒ
マスガ、大體ニ於テ千五百萬圓乃至千
七百萬圓ト思ヒマス、是ダケノ金ヲ以
テ、朝鮮ニ於ケル穀貯藏及倉庫ノ建設
費等ニモ廻シマシテ、折角一時朝鮮カ
ラ内地ニ穀倒スルガ爲ニ價格ヲ暴落ス
ルコトノ從來ノ面白カラザル現象ヲ、
之ニ依ッテ省クコトニ努力シテ居リマ
ス、東郷君ノ御意見中ニモ、或ハモット
進ンダ御考ガアツタカモ知レナイガ、大
體ニ於テ朝鮮米ヲ左様ニ致スト云フコ
トハ、ヤハリ五箇條ノ答申ノ一ツト相
成ッテ居ルノデアリマス、大體ニ於キマ
シテ此法律ニ掲ゲヌモノデ、答申ノ五
項ヲバ著々實行シツ、アルト御承知下
サツテ宜カラウト思ヒマス

午後一時八分開議
○西村委員長 休憩前ニ引續キ是ヨリ
會議ヲ開キマス
○東郷委員 午前ノ終ニ農林大臣カ
ラ、農業倉庫ノ問題ト、ソレカラ、植
民地米——朝鮮米ノ移入調節ニ關スル
問題ノ御話ガアリマシタケレドモ、大
藏大臣ガ一時カラ御都合ガ好イサウデ
スカラ、差當リ大藏大臣ニ專ラ御尋ネ
スル問題ニ入ッテ見タイト思ヒマス
此間政府ニ材料ノ御提出ヲ願ッタ中
ニ、米穀需給調節會計ノ損失ノ現計表
ガアルノデスガ、昭和五年ノ十二月末
ノ現計デ一億一千三百二十七萬七千
圓、是ガ損失總額ニナッテ居リマス、併
シ是ハ現在ニ於テハモット多イダラウ
ト思ヒマス、他ノ機會ニ於テ、確カ國
務大臣ノドナタカラカノ御説明ニ依ル
ト、約一億五千萬圓位ニナッテ居リハ
マセヌカト伺ハレマス、最近ノ調査デ
幾ラニナリマセウカ、ハッキリシタ數字
ガ承リタイノデス
○井上國務大臣 私カラ御答ヲシマ
ス、昭和五年十二月末ノ現在損失ヲ累
計致シマシタモノハ一億千三百二十七
萬七千圓ト云フ表ヲ差上ゲタ筈ト思ッ
テ居リマス、ソレカラ年度末マデノ損
失ノ豫想ヲ致シマス、一億五千萬圓、
斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス
○東郷委員 サウシマスト第五十六議
會ニ、此資金ノ借入限度ヲ二億五千萬
圓マデ擴張ヲスル、七千萬圓ダケ増額
サレタ當時ニ於ケル損失ノ現計ハ慥カ
七千萬圓位デアッタト記憶シテ居リマ
スガ、サウ心得テ宜シウゴザイマセウ
カ
○井上國務大臣 サウ承知致シテ居リ
マス
○東郷委員 サウ致シマス、アノ當
時七千萬圓ノ損失デモ可ナリ是ハ問題
ニナッテ居ッタ譯デアリマス、午前中農
林大臣ニ御伺ヒ致シマシタ、貴族院ノ
彼ノ案ノ承認ノ附帶決議ノ趣旨モ、又
町田安達兩氏ガ時ノ田中内閣當局ヲ御
訪ネニナッテ御懇談ナサッタノモ、結局
斯ウ云ッタ調子デ行クト、損失ガ年々増
加スルカラ、之ヲ何トカ始末シナクテ
ハナラヌダラウ、斯ウ云フ御趣旨ガ多
分ニアッタモノデアアラウト思ヒマス、此
點ハ町田農林大臣カラ、其通りデアリ
マスカ御説明ヲ仰ギタイト思ヒマス
○町田國務大臣 私が在野黨デアッテ、
此問題ニ付キマシテ進言致シマシタ當
時ノ事情カラ申上ゲマス、御承知ノ
通り政友會ト言ハズ民政黨ト言ハズ、
農村ノ實情ニ鑑ミマシテ、當時殘存所
ノ二億——特別會計ノ中ニ運用スベキ
金額ノ甚ダ僅少ナルガ爲ニ米穀法ノ出
動ガ困難デアッタ時代デス、御承知ノ
通り中々院ノ内外ヲ問ハズヤカマシイ
問題トナッタノデ、同時ニ此儘ニ年々
參ルト、米穀運用資金ノ將來ニ付テモ
心配ガアル、又七八年運用ノ實績ニ見
マシテモ、米穀法ノ運用ノ成績ガ世人
ガ、豫期スル程ノ非常ニ效果ガ多イト
見ラレヌ點モアリマシタカラシテ、其
意味カラ政黨政派ノ問題デナク、國家
ノ問題トシテ互ニ之ヲ研究シテ何カ適
當ナル根本的改正ヲ致シタイト云フノ

デ進言ヲ致シタノデアリマス

○東郷委員

ヤハリ今ノ御話カラ考ヘ

マシテモ、現在ノ儘デ行ッテハ年々損失ヲ多クスルダラウカラ、此根本ニ向ッテ何トカ考慮シナクチャナラヌト云フ御心配カラノ御發言カト考ヘマス

ガ、サウシマスルト米穀法實施ノ大正十年カラ一昨年マデ、約八年ノ間七千萬圓位ノ損失デアアル、所ガ今大藏大臣ノ御答ニ依リマシテモ、年度末マデ豫想スレバ一億五千萬圓ノ損失ニナルダラウト云フコトデアリマス、サウシマス最近二箇年間デ約八千萬圓ノ損失ヲ來シタコトニナリマスガ、此損失ガ最近二箇年間特ニ多カッタ原因ト申シマスカ、理由ハドウ云フ點ニアリマセウカ、其點ヲ承リタイノデアリマス

○町田國務大臣 私カラ便宜上御答致シマス、ソレハ先日御廻シシマシタ損失ノ出ル箇條ヲ四箇條バカリニ分ッテ、内譯ヲ御示シテアルト思ヒマス、御承知ノ通り斯様ナ損失ヲ多クスル一番ノ根本ノ原因ハ、特別會計ニハ一厘ノ基金ヲモ持ッテ居ラヌト云フ、不思議ナル特別會計法ノ作り方ガ第一ノ原因デアリマス、御承知ノ通り役人ノ給料、事務費——筆墨紙ヲ買フニ付テモ、初メカラ利息ノ付イタ金ヲ以テ、——一片ノ紙ヲ買フニモ利息ノ付イタ金ヲ以テ買フト云フ、此根本ガ、年々經ルニ從ッ

テ利息ニ利息ヲ加ヘタ形ニナリマスガ故ニ、米ノ買入若クハ賣却ヲセズニ、一年ノ間何等米穀法ヲ運用シナクトモ、數千萬圓ヅ、ガ經常費、事務費、或ハ貯藏米ノ値下リ、就中主トシテ利息ヲ重ネテ行クト云フコトガ、大キナ損失ト相成ルノデアリマスカラ、今後其儘ニ致シテ置キマスルト、何レノ内閣當局ニ當ッテモ其損失ハ年々殖エテ參ルト云フコトハ當前ノ建前デアリマスカラ已ムヲ得マセヌ

○東郷委員

最近損失ノ非常ニ多ク

ナッタト云フコトハ只今農林大臣ノ仰セノ通り此特別會計法ノ建前當然ノ結果ダカラ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ御話デスガ、其通りデアラウト思ヒマスガ、デスカラ此特別會計ニ關スル損失ヲ何トカ此際始末シナケレバ、一面此資金ノ借入限度ヲ擴大シテモ同ジコトダカラ、根本的ニ適當ナ方法ヲ講ズル、其爲ニハ調査會モ開カレ、サウシテ是等ノ問題ヲ何トカ適當ニ解決シテ、將來國家ノ損失シナイヤウニシナケレバナラヌ、斯ウ云ッテヤウナ事ガ先程來申上

デマスルヤウニ、調査會ヲ御設ケニナッテ從來調査會ニ御提出ニナッタ諮問第一號ノ趣意モ其處ニアラウト思フ、其御趣旨ニ基イテ米穀調査會ノ諮問事項第一項ニ對スル答申案ノ第五項ニモ、先程モ申シマシタヤウニ從來ノ米穀需給

調節特別會計ノ損失ヲ一般會計ニ移スコト、是ガ非常ニ重大ナ答申要項ニナッテ居リマス、而シテ其答申要項ノ説明ニ斯ウ書イテ居ル、「米穀需給調節特別會計ノ過去ノ損失ハ今更自ラ償却スル由ナシ、依テ米穀法改正ノ際之ヲ一般會計ニ移スベシ」斯ウ云フ理由ノ下ニ答申サレテ居リマス、申上ゲル迄モナク調査會ヲ御設置ニナッタ趣旨モ、諮問第一項ノ御諮詢ニナッタ趣旨モ、午前ニ申上ゲタヤウナ理由デ、所謂根本的ノ對策ヲ講ジテ行カナケレバナラヌ、其中デモ特ニ重大ナ問題ハ、此特別會計ノ損失ヲ何トカ始末シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ兩總理大臣ノ御挨拶モ、亦諮問案提案理由ノ中ニモ明瞭ニ現ハレテ居ル、又是ハ必要ナコトデ

アリマセウ、大藏大臣ニソレヲ承リマス

○井上國務大臣

東郷君ノ御尋ハ誠ニ

御尤ナ御質問デアリマシテ、私ハ此點ニ付テ本會議ニ於テモ答辯致シマシタノデアリマス、米穀法ヲ改正スルト同時ニ、此巨額ナ損失一般會計ニ於テ之ヲ整理スルノガ私ハ本筋ト考ヘテ之ニ賛成シテ居ルノデアリマス、併ナガラ一方ニハ御承知ノ如キ今日ノ財政狀態デハ、之ヲ一般會計ニ引取ッテ整理スルダケノ餘裕モナシ、從テ今此議會ニ此案ヲ提出致ス運ビニ至ラスノデアリマス、尙ホソレナラ何時左様ナ整理ヲスルカト云フナラバ、段々財政計畫ノ改善、即チ行政財政ノ整理等ニ依リマシテ段々鞏固ナ筋途ヲ立テ、サウシテ此理想ヲ實行シテ見タイト考ヘテ居ルノデアリマス

○東郷委員

大藏大臣ノ御答辯ニ依リ

マシテ、是ハ一般會計ニ移シテ整理ヲスルコトニハ賛成ダ、併ナガラ現在ノ財政狀態デハ如何トモスルコトガ出來ナイ、此議會ニ提案スベキ意思ハナイ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、若シサウデアルトスレバ、此損失ノ利子、或ハモウ一ツハ先程農林大臣モ御説明ニナッタヤウニ此特別會計ハ洵ニ或ル意味ニ於テ變ッテ特別會計、給料其他筆墨ニ至ルマデ悉ク利子ノ付ク金デヤッテ

居ルト云フヤウナ、非常ニ不都合ナ點
ガアルノデアリマスカラ、其意味ニ於
テ損失ヲ一面整理スルト同時ニ、將來
ノ損失ヲ少クスル爲ニ、此米穀法ノ事
務ニ從事シテ居ル職員ノ俸給デアルト
カ、或ハ其他ノ消耗品ノ費用デアルト
カ云フヤウナ、所謂國家事務ニ關スル
ヤウナモノハ、之ヲ一般會計デ御負擔
ニナツテモ差支ナイモノデアラウト思
フ、米穀調査會ニ於テモ、私共斯ウ云
フ意見ヲ提出致シ、外ノ諸君カラモサ
ウ云フ意見ガアッタト思ヒマスガ、當然
ダト思ヒマス、ソレモセズ、從來ノ儘
行クト云フト、其爲ニ彼此レ一千萬圓
位ノ金ガ年々消エテ行クトニナルノ
デナイカト思ヒマス、サウシマス、ト
此根本問題ニ何等手ヲ觸レナイ、之ニ
手ヲ觸レテ、米穀法モ改正シテ行カナ
ケレバ何時マデ經ツテモ同ジデナイカ
ト云フ、二年バカリモ前カラノ各方面
ノ心配ノ空氣ト云フモノハ少シモ除カ
レテ居ナイト云フ氣ガ致シマス、ソレ
デアリマスカラ今同八千萬圓ノ資金ヲ
増額シテ見タ所デ、ヤハリ一年カ二年
スルト、又八千萬圓位ノ損失ヲスルト
云フコトニナツテ、殆ド役ニ立タナイト
云フコトニナリハセヌカ、サウシマス
ト町田農林大臣ヤ安達サンアタリガ、田
中内閣ノ當時七千萬圓ニ増額スル場合
御心配ニナツタト同ジ心配ガ、今度ノ八

千萬圓増額ニ對シテモ同様ニアルノデ
ナイカ、私ハサウ云フ感ジガ致シマス
ガ、是ヲ農林大臣ハ如何御考デアリマ
スカ其點ヲ伺ヒマス
○町田國務大臣 大體ノ筋合ハ只今御
話ノ通りノ御意見ガ當然デアルト思ヒ
マス

○東郷委員 ソレデ大體ナコトハ分リ
マシタ、モウ一ツ私ハ大藏大臣ニ御尋
致シマスガ、大藏大臣ノ先程ノ御説明
デハ、財政ノ關係上此機會ニハ提案ガ
出來ナイ、將來財政ノ都合ガ付タラ成
ベク此問題ヲ解決シテ行カウ、斯ウ云
フ意思ハアルト云フヤウナ御意見モ承
リマシタガ、サウシマス、ト先般來豫算
總會其他ニ於テ吾々ニ御示シ下サイマ
シタ、アノ財政十年計畫ノ中ニハ、此
損失ノ處理ニ對スル費用ト云フモノ
ハ、全然御見込ニナツテ居ラナイノデア
リマセウカソレヲ伺ヒマス

○井上國務大臣 御推察ノ通りニ、財
政計畫ノ中ニハ此金ハ何等ノ意味ニ於
テモ入ツテ居リマセヌ
○東郷委員 若シサウデアルト致シマ
スレバ、現内閣ノ現在ノ財政計畫ノ中
ニハ、將來十年ニ互ル財政計畫ノ中ニ
ハ、此重大ナル特別會計ノ過去ノ損失
ヲ一般會計ニ移シテ、適當ニ處理シテ
行カウト云フ御計畫ハ全然觀ハレナイ、
所謂全然ナイ、必要ハ認メテ居ルガ、

全然今計畫ハナイ、斯ウ斷定致サル
ヲ得ナイノデアリマスガ、サウ考ヘレ
バ、此大切ナ問題ハ現内閣ノ財政十年
計畫ニハ少シモ見テナイト云フナラ
バ、此一事カラ見テモ、今回ノ改正ハ
是ハ根本的改正デアルト云フコトハ言
ヘナイ、無論現内閣ノ消極政策ニ基ク
所ノ財政計畫ハ出來ナイカモ知レマセ
ヌケレドモ、併シ考ヘテ見ルト、一面
ニ於テハ減稅ノ御計畫モアリ、六年度
ニ於テ九百萬圓以上ノ減稅ヲ一方デハ
サレル、所ガ一方ニ於テハ此儘ニシテ
置クト千萬圓位ノ損ヲシテ行クト云フ
ノデアアルカラ、ソレダケ國民ガ負擔ヲ
シナケレバナラヌト云フコトニナル、
サウスルト極メテ無意味ナ、或ル意味
ニ於テ實ニ馬鹿氣タ政策デアリヤウニ
私ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、
減稅ト是等ノ關係、洵ニ矛盾シタ政策
デハナイカト思ヒマスガ、此點ニ付テ

○井上國務大臣 米穀法ノ改正トハ別
物デアリマスガ、此特別會計ノ只今東
郷君ノ御話ノヤウナコトハ、私ハ根本
ニ於テ賛成シテ居ルノデアリマス、財
政ニ餘裕ノアリマシタ時ハ、根本的ニ
之ヲ改正シテ、一般會計ニ引取ツテ整
理スルノガ本筋ダト、斯ウ思ツテ居リ
マス、只今東郷君ノ御話ノヤウニ、特
別會計ニ於ケル經常費ダケデモ一般會

計デ負擔シタラドウカト、斯ウ言ハレ
マスレドモ、一億五千萬圓ノ損ノ豫想
ノ出來ル特別會計デアリマスカラ、左
様ナ、何ト申シマスガ、一部分ノ改正
ヨリカ、一ツ之ヲ何トカシテ改正シテ
見タイト、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、
只今一部ノ經常費ダケヲ一般會計ニ負
擔シテ見タラドウカト云フコトニ付テ
ハ、私必ズシモサウ考ヘテ居リマセヌ
○東郷委員 大體ニ於テ此損失ノ問題
ハ、調査會トシテモ、最モ重キヲ置イ
テ答申致シタ條項デアル、而シテ數年
前此問題ガ此議會ノ問題トナツテ、盛
ニ論議サレタ時分ニモ、是ガ最モ重大
ナ問題デアル、之ヲ何トカ解決シナイ
以上ハ、如何ニ一面ニ於テ新シク資金
ヲ増額シテ見タツテ、同ジヤウナ損失ヲ
繰返シテ行クヨリ外ニ途ハナイ、隨テ
米穀法ノ威力ト云フモノハ大シタ發揮
ハ出來ナイダラウ、斯ウ言ツタヤウナ心
配ガ今日ニ於テモ依然トシテ殘ツテ居
ル、サウシテ將來ニモ是ガ依然トシテ
續ケラレルモノデアルト私達ハ斷定セ
ザルヲ得ナイノデアリマス、此問題ニ
對シテ私ハ大藏大臣ニ御尋スルコト
ハ、大體盡キマシタカラ是デ止メテ置
キマス

○東委員 關聯シタ事項デ、議事ノ進
行ノ都合デ私ハ質問ノ順位デアリマ
セヌガ、大藏大臣ハ貴族院ノ豫算關係

デ御忙シイダラウカラ屢々出テ戴クコトハ出来ナイト思ヒマスカラ、私ハ此場合質問致シタイト思ヒマス、先達モ委員長ニモ要求シテアッタノデスガ、宜シウゴザイマス

○西村委員長 宜シウゴザイマス

○東委員 大藏大臣ニ私ガ御同致シタイノハ、今朝來東郷委員ヨリ米穀法ノ改正ニ對スル根本ノ精神ガ現レテ居ナイ、是ハ米穀法ヲ改正スルニハ根本精神カラ立直サナケレバナラヌト云フコトガ、米穀調査會ヲ創設シタ理由デアル、然ルニ拘ラズ現在ノ米穀法ハ極メテ不徹底デアル、故ニ今回此改正案ヲ提出シタト云フコトニ付テハ、是ハ根本的ノ改正案デアルヤ否ヤト言フコトガ今朝來意見ノ交換ヲサレテ居タ、所ガ此點ニ付テハ、町田農相ハ此率勢米價ナルモノハ根本的ノ改正デアル、此改正ニ付テ根本的ノ精神ガ籠ッテ居ルノデアルト云フ御説デアルガ、ソレハ今朝來カラノ押問答デ、私共ハ多大ノ疑念ヲ持ッテ居ル、ソコデ私ハ大藏大臣ノ御出席ヲ待ッテ、適當ナ時期ニ質問スルコトヲ要求シテ居ッタノデアリマシタガ、只今御許ガアツタカラ、聯關シテ御質問致シタイト思フノデアリマス、此米穀關係ニ付テハ、何レノ内閣モ非常ニ惱ンデ居ル問題デアリマス、此米穀法ト云フモノガ非常ニ不徹底デ

アツテ、且、缺陷ノ多イモノデアルト云フコトハ何人モ、ドノ内閣デモ承知シテ居ル點デアルガ、之ヲ改正スルヤ否ヤト云フコトハ、非常ニ國家トシテハ重要ナ問題デアル、ソコデ昭和五年五月ニ於キマシテ、五十八議會ノ全會一致ノ要求ニ依リマシテ、差當リ七千萬圓ト云フ増額ヲ致シタ、是ハ應急對策トシテ七千萬圓ノ資金ノ擴張ヲ致スト云フコトガ、是亦全會一致ヲ以テ通過致シタ、サウシテ現在ノ米穀資金ヲ投下致シタ、ト同時ニ其時ノ條件トシテ希望條件ト致シマシテ、今七千萬圓ヲ擴張スルナラバ——此擴張ヲシタト云フコトハ眞ニ應急的デ唯損失ガ其當時六千何百萬圓ト云フ金ガアルカラシテ、七千萬圓ダケ損失ヲ補填シテ置カウ、之ニ依ッテ此米穀法ト云フモノガ半年ヤ一年ハ維持ガ出来ルカラ、差當リ七千萬圓ハ應急的施設トシテ之ヲ投下スル、其當時ハ二億萬圓ノ資金ノ擴張ト云フコトヲ前回ノ議會デ要望ガアツタ、濱口總理、現在ノ安達内相、町田農相ナドガ、其當時ノ在野黨ノ幹部デアリマシテ、ソレガ田中内閣ト頻ニ折衝ヲ致サレテ七千萬圓ノ限度ニ止メタノデアリマスガ、今回提案サレタ此米穀法ヲ見ルト云フト、此改革ノ精神ト云フモノハ少シモ籠ッテ居ラス、是ハ私ハ東

郷君ノ意見ニ同意デアル、恐ラク町田農相モ、心中ハ甚ダ不徹底デアルト云フ感ジヲ致シテ居ルダラウト思フ、是ガ根本的精神ト云フコトハ議論ノ最モ甚シイモノガアルノデアツテ、其精神ハ町田農相ノアノ明敏ナ御考カラ致シマシテ、サウ云フコトヲ根本的精神ナント云フコトヲ仰シタルハ、是ハ全ク本意デナカラウト私ハ推察スルノデアリマス、ソコデ此米穀調査會ヲ拵ヘル時ニハ、米穀調査會ナルモノハ是ハ米穀法ニ關係シテ米穀委員會ト云フモノガアル、サウシテ米穀委員會ハ政府ノ諮問ニ應ジ、或ハ建議ヲ出シ種々ナ行動ヲ致シテ居ル、所ガ特ニ米穀調査會ヲ設ケタト云フコトハ、官制ノ上カラ申シマシテモ明カナ如ク、米價對策トシテノ根本的ノ政策ヲ決定スル爲ニ、此米穀調査會ナルモノヲ設置スル、而シテ是ハ官制ニ於テ總理大臣ガ會長トナツテ監督スル外ニ、副會長ト致シテ農林大臣、大藏大臣ガ副會長ノ位置ニ就カレテ居ルノデアアル、ソレデ今日ノ此率勢半價ト云フモノヲ研究スル爲ニ、總理大臣ヲ會長トシテ、大藏大臣ト農林大臣ガ副會長トナツテ米穀調査會ナルモノハ設ケラレタモノデナイコトハ、常識デ考ヘテ明カデアル、ソコデ根本精神ハ、何ヲ根本精神ニスルカト申シマスレバ、是ハ其當時ノ米穀調査

會ノ諮問事項ト云フモノガアリマスルガ、第一ハ米穀法ヲ大正十年ニ設定シテ以來非常ニ變遷ヲ致シテ居ル、其當時ハ朝鮮臺灣カラ米ヲ移入モナシ、サウシテ米ノ產額ト云フモノモ僅カ五千六七百萬石程度デアル、國民ノ需要ヨリ供給ガ剩ッテ、寧ロ外米ノ輸入ヲ制限スルコトガ最モ必要ナ條件デアツタ、所ガ今日ハ全ク其狀態ガ變ッテ來マシテ、六千六百萬石モ生産スル、朝鮮カラモ千萬石、臺灣カラ二百萬石ヲ入ルト云フヤウニ事情ガ變遷シテ來テ、初メニ拵ヘタ著物ハ此頃ハ合ハナイ、丁度赤坊ノ時ニ拵ヘタ著物ヲ、學校ニ入ル時期ニナツテ著セテ居ルト同ジコトデ、米穀法ト云フモノハ、今日ハ何等ノ權威モナシ、何等ノ勸モナサスト云フコトハ、是ハ明カデアル、ソコデ此調査會ナルモノヲ設ケテ、サウシテ米價對策ニ、總理大臣ガ會長ニナツテ大藏大臣農林大臣ガ副會長トシテサウシテ此大調査會、而モ委員三十五名モ朝野ノ權威者ヲ集メ、サウシテ調査會ヲ拵ヘタ、是ガ調査會ヲ設立シタ所以デアル、所ガ其後當局者ノ御勉勵ニ依リマシテ、數十回ノ調査會ヲ開イタト云フコトハ仄聞ヲシテ居リマスルガ、偶々茲ニ根本精神ヲ研究シテ得ラレタモノハ何デアルカト云ヘバ、漸ク率勢米價ナル、

極メテ不徹底ナルモノデアル、吾々ハ
ドノ點カラ見テモ、是ハ學者或ハ算數
家ノ机上ノ抽象的空論トシカ思ハレマ
セヌ、斯ウ云フモノヲ案出シテ、之ニ
依ッテ基準價格ヲ制定シ、之ニ依ッテ米
穀法ヲ改正シタ、實ニ餘リニ其根本精
神ト云フモノニ於テ距リノアルコト
千里ノ差デアルト私共ハ考ヘテ居ル、
此點ニ付テ農林大臣ト東郷委員トガ、
今朝來押問答ヲシタノデアリマスル
ガ、是ハドツチカト言ヘバ、是ハ農林大
臣ノ詭辯デアアル、根本精神デアルト云
フコトハ全ク詭辯デアルト云フコト
ハ、私ノ斷言シテ憚ラナイ、恐ラク農
林大臣モ其點ニ付テハ首肯スル所デア
ラウト思フ、ソコデ私ノ考ヘルノハ、
米穀ノ對策ヲ定メルニ於テ、大藏大臣
ハ金融方面ニ於テモ最モ關係ガ密接デ
アル、又經濟方面ニ於テモ我ガ今日ノ
疲弊シタル生産方面ニ於テモ非常ニ責
任アル當局者デアリマスガ、此改正ヲ
ドウスルカ斯ウスルカト云フコトニ付
テハ質問ハ致シマセンガ、此調査會ニ
於テ一番ノ條件トナッテ居ル、要素ト
ナッテ居ルモノハ何カト申シマスルト、
第一ハ朝鮮臺灣ヲ通ジテノ問題、即チ
朝鮮カラ米ガドシ、輸入サレテ來
テ、サウシテ内地ノ米價ヲ壓迫スル、
是ハ事實極メテ明瞭デアアル、此點即チ
朝鮮臺灣ノ米ノ統制ヲスルト云フコト

ハ第一點、第二點ハ外國米ニ關シテ、
外米ノ管理ヲスル、或ハ認可制度ニス
ル、外米ガ入ッテ來ルト云フコトニ付
テノ制限若クハ管理、之ヲヤツテ宜イカ
ト云フ、是ガ一ツノ條件、第三ノ條件
ハ是等ノ法案ヲ立ツルニシテモ、此米
穀需給特別會計ノ制度ト云フモノハ甚
ダ不備ガアル、此點ニ付テ既ニ吾々ニ
示サレタモノニ依ッテ見マシテモ——
只今示サレタモノニ依ッテモ一億一千
三百萬圓ト云フモノ、損失ガ計上サレ
テ居ル、是ハ丁度私共ノ政府ニ居リマ
シタ時分ニハ六千萬圓程度デアッタ、
ソレガ僅ニ二年立タヌ中ニ、既ニ一億
一千萬圓ト云フ倍額ノ損失ガ茲ニ出來
テ居ル、ノミナラズ又本年度ノ會計年
度ニ於テ、ドレダケノ損失ガ來ルカト
言ヘバ、更ニ政府ノ御豫想デハ一億五
千萬圓ノ見込デアアル、損失ニ於テ一億
五千萬圓、斯ウ云フコトヲ仰ッテ居ル、
サウスルト云フト、此點ニ於テハ非常
ニ大問題デアアル、是ハ超黨派的ノ問題
デアッテ國家的ノ問題デアアル、一箇年米
ノ管理ヲシテ數千萬圓ノ損失ヲシ、之
ヲ外國ニ販賣ヲスルト云フコトニナッ
タラ、更ニ非常ノ損失ヲ重ネテ行ク、
サウシテ又倉庫ノ建設費或ハ事務費、給
料、是等ニ付テ五分五厘ノ利息ガ附イ
テ居ル、斯ウ云フコトハ米穀合計ヲ初
ニ立テタル大正九年度ノ當時ニハ斯樣

ナコトハ豫想シテ居ラナカッタ、損ヲ
シナイト云フ程度ニ於テヤル方針デ
アッタガ、今日ハ段々損失ガ重ナッテ來
テ、遂ニ國家的事業トシテ陸海軍ノ
國防トカ、或ハ内務、土木、其他ノ行
政ト同ジヤウナ關係ニナッテ來テ居ル
ノデアアルガ、此米穀法ニ入ッテ居ル所
ノ損失ハ、悉ク五分五厘ノ利子ガ附イ
テ居ルト云フコトニナッテ居ル、サウス
ルト重利法ニナッテ歩ンデ參ッテ居ル、
實際ナク會計ノ損失ガ殖エテ來ルト云
フコトニナルノデアアルガ、斯樣ナコト
ヲシテ置クト云フコトハ、是ハ實ニ國
家ノ爲ニモ憂フベキコトデアアル、一
日モ早ク是ハ整理シナケレバナラス、此
三點ガ此調査會ヲ設ケタ大ナル根本ノ
理由デアアル、是ハ現在ノ内閣諸公デモ
其點ニ付テハ殆ド御議論ハナカラウト
思フ、然ルニ今回提案サレタ所ノ米穀
法ハ、其根本精神ナリト町田農相ガ唱
ヘラル、此提案ヲ見ルノニ、唯率勢米
價ナルモノニ止ッテ居ッテ、之ニ何等ノ
斧鉞ヲ加ヘ、又改正ヲシタト云フコト
モ吾々ハ發見スルコトガ出來ナイノデ
アルガ、只今東郷君ノ質問ニ對シテ、
大藏大臣ハ是ハ必ズ整理スル考デア
ル、ケレドモ國庫ニ餘裕ノアル時機デ
ナカッタナラバ、是ハ整理ガ出來タ、
斯ウ云フ御考デアルト言ヒマスガ、若
シ果シテ然ラバ、國庫ニ餘裕ガアルト

云フコトハ、何時出來ルカ、殆ド是ハ
目安ガ付カス、今日ノ國庫ノ歲計ノ關
係ハ、大藏大臣デモ、農林大臣デモ、
恐ラク議員ノ何人デモ、國庫ノ財源ニ
餘裕ガ出ヨウト云フコトヲ、此昭和六
年度ハ格別トシテ、七年度八年度ニ於
テ餘裕ガアラウト云フコトハ、吾々ハ
今日期待ガ出來ナイ現狀デアルト思
フ、サウスルト云フト、之ヲ引延バシ
引延バシテ行クト云フコトハ、正ニ
此禍ヲ段々大キクシテ、禍根ヲ益、深カ
ラシムルト云フコトノ結果ニ陷ッテ、
收拾スベカラザル狀態ニ陷ルト私共ハ
考ヘル、故ニ是ハ決シテ現内閣ノ當局
者ヲ責メルト云フヤウナ考ハ毛頭ナ
イ、何レノ内閣デモ、斯樣ナコトヲ唯
看過シテ、サウシテ僅ニ其日ヲ糊塗シ
テ膏藥貼ヲシテ居ルト云フコトハ、甚
ダ不徹底デアアル、ヤハリ國庫ニ餘裕ガ
ナイト云フノデ、今日マデ斯ウ云フ風
ナコトデ推シ移ッテ居ルコト、考ヘマ
ス、デアアルガ若シ是等ニ對シテ一片ノ誠
意ガアッテ、眞ニ此米穀法ヲ改正スル
ト云フナラバ、此需給資金特別會計ト
云フモノニ對シテ先ヅ整理ノ方針ガ立
タナカッタナラバ、是ハ米穀法ト云フ
モノハ、決シテ形アッテ其實ノナイモ
ノト考ヘル、即チ八千萬圓更ニ今度擴
張シテモ、漸ク來年再來年ニナルト、
又使ヒ果シテ二分シカ殘ラスト云フコ

トニナルコトハ極メテ明瞭デアルカ、此點ニ付テ大藏大臣ノ全ク一ツノ僞ハラザル所ノ所信ヲ私共ハ承リタイ、是ハ重ネ々々申シテ置キマスガ、決シテ黨派のノ問題デモ何デモナイ、國家ノ重大ナ問題ト考ヘテ居ルノデアリマス、ドノ内閣デモ、一日モ早ク處理シナケレバナラヌ重大問題ト考ヘテ居ルノデアリマス、第一ニ此米穀資金會計ト云フモノハ非常ニ不徹底ニ出來テ居ル、官吏ノ給料デモ、事務費デモ、倉庫建設費デモ、悉ク一般會計ノ負擔シナケレバナラヌモノガアル、是ガ利息ヲ付ケテ重利法ニ依ッテ行ク、是ガ際限ナク行ク、是ニ對シテ大藏大臣ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルノデアアルカ、唯一時財政ガ窮乏デアルカラ、是ハ本年ヤラナカタ、併ナガラ來年ヤル積リデアル、行政整理ノ時ニハ必ズ是ハ整理スル方針デアル、斯ウ云フコトノハ、キリシタ御答辯ヲ得タイ、御座成リデナイ御答辯ヲ承リタイ

○井上國務大臣 先刻東郷サンニ大體御答致シマシタガ、重ネテ申シマス、一億五千萬圓ヲ整理シタラドウナルカ、此特別會計ヲ一ツ整理シテ見ヨウト云フコトヲ考ヘタコトガアリマス、又其意味ニ於キマス、一億五千萬圓ヲ交付公債ニ致シマシテモ、八百何十萬圓ト云フ利拂ヲ要スル、一般會計デ

此減債關係ニ於キマシテモ、大體千萬圓ノ金ヲ要スル、斯ウ見テ居リマス、ソレカラ只今東君ノ言ハレルヤウニ經常費、是ハ洵ニ此特別會計ノ不都合ナ事態デアリマス、併シ特別會計トスル以上ハ、多少ノ基金ヲ渡シ、サウシテ事務費ハ其處カラ持ッテ來ルト云フコトノ方ガ本當デハナイカトモ思ハレマス、サウ云フ資金ヲ其處ニ要スルコトガアル、ソレカラ是マデノ過去ノ經歷ニ依リマス、數千萬圓ノ損ヲスルト云フコトモ豫想シテ、サウシテ一ツノ計畫ヲ立テ、置カヌケレバナラヌノデアリマス、可ナリ巨額ナ金ヲ要シマスノデ、先刻東郷君ニ申上ゲタヤウニ、是ハ整理セヌケレバ嘘デアル、整理スベキガ本筋デアルガ、財政計畫ノ上ニ餘裕ガナイ、併ナガラ出來ルダケ此事柄ハ實行セントイカス、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ、同ジ御答ヲ東君ニシテ置イタノデアリマス、斯様ナ特別會計ハドウ點カラ考ヘマシテモ、一時的ノ姑息ニ出來テ居ルノデアリマシテ、甚ダ其當ヲ得テ居ナイ、日本ノ財政計畫ノ上カラ言フト、最モマズイモノデ、成ベク早ク整理シナケレバナラス性質ノモノト云フコトハ考ヘテ居リマス、併シ東郷君ニ御答シタヤウニ、今ノ財政計畫デ之ヲ何年度カラ實行シテ見ヤウ、斯ウ云フ計畫ヲ持ッテ居ルト云フ

コトヲ申上ゲル程度マデ行ッテ居リマセスト云フコトヲ申上ゲタノハ、今一寸胸算用デ計算シテ見マス、可ナリ巨額ナ金ヲ要スル次第デアリマスカラ、左様ナ意味ノコトヲ申上ゲテ置イタ次第デアリマス、私ガ前ニ東君ノ問ニ對シテ根本的ノ整理デアルト言ヒマシタノハ、米穀法其モノハ根本的ノ整理デアラウト考ヘテ居リマスガ、ソレニ附隨シタ特別會計、是ハ只今申上ゲルヤウナ意味ニ於テ根本的ニ此際整理ノ出來ヌ事ヲ洵ニ私ハ遺憾ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○東委員 此第一問ニ對シテハ、根本的ノ改正デアルト思フガ、資金關係ニ於テハ是ハ根本的デナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレルノデアリマスガ、ソレハ非常ニ大藏大臣ノ錯覺デアルト思フ、即チ根本的ト言ヒマスルカ、只今米穀法ヲ改正シタト云フ、此精神ガ根本的デナカタナラバ、此資金會計ト云フモノハドウシテモ何時マデモ附イテ廻ッテ行クノデス、色々損失モ非常ニ重ッテ來ルノデス、此米穀法ガ、是ガ詰リ適當ナモノデアッテ、サウシテ會計ニモ非常ナ利益ヲ及ボス、國家ニモ非常ナ損失ヲ及ボサスト云フ事ニナラヌ限りニ於テハ、此第一ノ米穀法ノ精神ガ根本的デナケレバ、此資金會計ト云フモノハ愈、出デ、愈、是ハ損失ヲ重ネ、非常

ナ面倒ナ狀態ニ陥ッテ來ルト云フコトハ、是ハ非常ニ明カデアル、是ハ先日モ或ル委員カラノ質問ニ對シテ、資金關係ト此米穀法トハ不可分デアルカ可分デアルカト云フコトヲ質問サレタ時ニ、農林大臣ハ、是ハ殆ンド不可分ノ關係ニアルト考ヘル、併シ法律上カラノ建前カラ言ヘバ別個ノモノデアルケレドモ、不可分ノモノデアルト云フ御答辯デアッタ、是ハサウナラナケレバナラス、ソレデアアルカラ今ノ大藏大臣ノ御説明ハ非常ニ誤ッテ居ル、此第一ノ米穀法ト云フモノ、建前ガ定マラナカタナラバ、資金關係ト云フモノハ愈、不徹底ニ陥ルト云フコトハ極メテ明瞭ナコトデ、殆ド三尺ノ童子ニモ明カナコトデアアル、然ルニ此第一ノ米穀法ノ今同ノ提案ト云フモノハ、唯基準價額ヲ設定シタト云フダケデアアル、基準價額ト率勢米價——此率勢米價ガ宜イカ惡イカト云フ問題ニハ私ハ觸レマセヌガ、此基準價額ヲ定メタト云フダケデアッテ、既ニ昨年ハ二百萬石、本年ハ百萬石買ッテ居ルト云フ狀態デアアル、サウスルト是ハ大ナル損失、是ダケデモ何千萬圓ト云フ損失ガ明カニ出テ來ル、サウスルト資金關係ニ於テ益、損失ヲ重ネテ來ル、斯ウ云フ因縁結果ヲ持ッテ居ルノデアアル、ソレデアアルカラ是ハ殆ンド不可分のデアアル、ソレデ又逆轉ヲ

シテ、米穀法ハ本ク根本的デナイ、然

ドウカ、ソレヲ一ツ御伺ヒシタイ

○井上國務大臣

只今ヤッテ居ルモノヤウナ的確ナ御考ガアルノカナイノ

ラバ農林大臣ハ何カ對策ガアレバ對策

○井上國務大臣 假リニ率勢米價バカ

ヲ變ヘマスカラ、生計

カ、此點ヲ御伺ヒシタイ

ヲ承リタイト云フコトヲ仰シタルノデ

リノ改正案デアリマシタナラバ、完全

○井上國務大臣 只今ノ米穀法ガ改正

サレマシタナラバ、米ヲ絶對的ニ買ハヌ

アルガ、是ガ即チ調査會ノ任務デア

デナイト云フ御議論モ出マセウガ、御

ナモノデアアルカドウカト云フコトヲ今

ト云フコトノ豫想ハ勿論付キマセヌ、

ト私共ハ考ヘテ居ル、米穀法ヲ若シ廢

承知ノ通り生計費、生産費ト云フモノ

カラ申スコトハ頗ル私ハ出過ギタ話ダ

買ハナケレバナラヌ場合ガ澤山アラウ

止スルナラバ思ヒ切ッテ廢止スルガ宜

ヲ調査シテ行カウ、即チ米ニ關スル詳

テ行キマシタナラバ、從來ヨリモ基準

ト思ヒマス、サウスレバ特別會計ガ斯

カラウ、又農林大臣モ左様ナ御考デ、

細ナ調査ヲ、年ヲ重ネテヤッテ、サウシテ

テ行キマシタナラバ、從來ヨリモ基準

様ニ不完全デハイカヌデハナイカト云

米穀法ノ改正ガ出來ナイナラバ廢止ス

米穀法ノ運用ヲ確ニシヨウ、又基準ノ

ヲ定メルコトガ出來ルダラウト、斯ウ

ス、併シ先刻カラ東郷君ニ御答シタ如

ルト云フ御考デアッタヤウニ私共ニ言

アルヨウニシヨウ、斯ウ云フコトデア

考ヘテ居リマス

ク、今日ノ財政狀態デハ、之ヲ改正ス

ハレテ居ル、デアアルカラ他ニ代ルベキ

ト斯ウ考ヘルノデアリマス、即チ根本

○東委員 斯ウ云フ押問答ヲ幾ラシテ

ルコトガ出來ナカッタ、成ベク早クヤ

對策ガナケレバ寧ロ廢止シテモ差支ナ

的ニ、其意味ニ於テ改正シテ居ル、斯

モ何等ノ要領ヲ得ル譯ノモノデモアリ

ラウ、併シ何年度カラ之ヲ根本的ニ改

イ、斯ウ云フモノガアッテモ、一ツモ國

ウ思フノデアリマスガ、ソレナラバ此米

マセヌカラ、逆ニ、一億一千萬圓ト云

正スルカト云フコトヲ申上ゲルコト

家ノ爲ニハ利益デナイ、又生産者ニ何

穀法モ、私ガ今申シマシタヤウニ、共ニ

行ッたら一億五千萬圓ト云フコトニナ

ハ、今日マデノ所參ッテ居リマセヌ、斯

等ノ利益ヲ齎サスト云フコトハ、常ニ

改正スルノガ然ルベキ筈デアルノダ、

シテモ、斯ウ云フ損失ハ重ナッテ行ク、

ウ答ヘテ居ル次第デアリマス

濱口總理、町田農林大臣ガ何レノ機會

併シ今ノ如ク現今ノ財政狀態デ之ヲ改

正スルコトガ出來ナカッタコトハ頗ル

金ヲ増額シテモ、此増額シタ金ハ、現在

ニ於テモ仰シヤッテ居ラレタノデア

遺憾デアアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、

ハシナイト云フノデハナイラシイ、出

ノ資金會計カラ申セバ、僅ニ一兩年シ

然ルニ吾々ガ今米穀法トシテ提案サレ

デ私ハ實質上二ツニ分ケテ考ヘテ見マ

動ヲスルト云フ以上ハ、損失ガ重ナッテ

ハ運用スルコトガ出來ナイ、後ハヤハ

タモノヲ見ルト、唯率勢米價ナルモノ

スト、サウ申上ゲテ然ルベキコト、考

行クノデアアルカラ、逆ニ考ヘテ需給調

カナイ、一兩年シカ此資金ト云フモノ

ニ止マッテ居ルト云フコトハ、是ハ全ク

根本精神ニ觸レテ居ラス、核心ニ觸レ

ハ運應對策デ、是ハ一時的ノ、臨時的

ノ方法デアアルカラシテ、詰リ私共ハ需

テ居ラスト言ヒ得ルト思フノデアリマ

ヘマスカラ、サウ御答ヲ申シテ置キタ

節會計ト云フモノヲドウスルカ、是ハ

給調節資金ノ會計ト云フモノヲ整理シ

スガ、是ハ大藏大臣ハドノヤウニ考ヘ

イノデアリマス

今ハ出來ヌガ、來年ハヤルノダ、或ハ

ナカッタナラバ、此方針ヲ立テナカッタ

テ居ラレルカ、其次ニ私ハモウ少シ大

○東委員 ソレデ私ハ益、不可解ニ考

是ハドウカシナケレバナラヌト云フ、

ナカラバ、米穀法ノ改正ハ、是ハ佛作ッ

藏大臣ニ御伺ヒシタイ、此點ニ付テ大

米穀法ノ改正ハ成レリト、斯様ニ考ヘ

即チ的確ナル御考ガナケレバナラヌ、

テ魂ヲ入レナイノト同ジデアアル、斯ウ

藏大臣ハドウ云フ風ナ御考ガアルカ、

米穀法ノ意識ヲ十分御持チニナッテ

此米穀法ノ改正ヲ出ス以上ハ、之ニ對

云フコトヲ私ハ言フノデアリマス、此

此米穀法ノ意識ヲ十分御持チニナッテ

居ルカト云フコトヲ御伺ヒシテ置キタ

シテハ先ヅ整理ノ大體ノ方針ヲ定メナ

ムヲ得ヌカラ、是ハヤラナイト云フノデ

イ、アナタハ調査會ノ副會長デアアルカ

案ニナッテ居ルガ、大藏大臣モ左様ニ御

徹底ダト考ヘル、其點ニ付テドウ云フ

ラヌト思フガ、其意識ヲ持ッテ居ルカ

ラヌト思フガ、其意識ヲ持ッテ居ルカ

考ニナッテ居ルノカ之ヲ御伺ヒシタイ

徹底ダト考ヘル、其點ニ付テドウ云フ

ムヲ得ヌカラ、是ハヤラナイト云フノデ

アル、之ヲ根本的ニ變ヘズシテ、此調
紙會ヲ設置シタ條件ニハ少シモ副ッテ
居ラナイデハナイカ、斯様ナコトヲ東
郷委員カラ質問シタニ對シテ、今朝來
應答ガ續イテ居ルノデアリマス、ソレ
デアリマスカラ、是ハ不徹底デアルガ
已ムヲ得ナイ今日ノ狀況デアルト云フ
ナラバ、私共ハ餘リ深ク咎メルコトガ
出來ナイガ、然ラバ御互ニ相談シテ、
是ハ一日モ早クヤラナケレバナラヌモ
ノデアルト云フナラバ、其方針ニ進メナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、先ヅ
第一ニ井上大藏大臣ハ御承知デアルカ
知ラヌガ、此一億何千萬圓ノ中ニハ、大
正十二年ノ震災ノ金ガ含シテ居ル、震
災ノ時ノ七百萬圓ノ金ガアル、米ヲ食ハ
シテヤッタ、震災ノ時ニ國立倉庫ニアッ
タ米ノ爲ニ、東京ノ五十萬ノ人ハ生命
ヲ救ハレタ、斯様ニ有利ニ使ハレテ居ル
ガ、此金モ五分四厘ノ利子ヲ附ケテ、
此需給會計デヤッテ居ル、斯ウ云フコト
ハ有リ得ベカラザルコトデアル、震災
當時ノ米ノ費用ナドガ、特別會計ノ損
失ニ終ッテ居ルト云フ現狀ニナッテ居リ
マス、斯様ナコトデアルカラ、是ハ一
日モ早く改正ヲシナケレバナラヌモノ
デハナイカ、斯様ニ私ハ言フノデアリ
マスガ、是ハ大藏大臣モ農林大臣モド
ウ云フ風ナ御考デアルカ、此事ガハッ
キリシナイト、吾々ハ米穀法ノ對策ト

云フコトニ付テ、率勢米價ト云フヤウ
ナ、學者ノ空論ニ依ッテ提案サレテ、貴
重ナ時間ヲ費スノハ實ハ無駄ダト思
フ、斯ウ云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマ
スガ如何デスカ

會計ニ財源ナカリセバ、大藏大臣モ先
刻御話ノ通り、從來カラ引續イタル今
日マデノ損失デアリマスルカラ、已ム
ヲ得ズ交付公債ニ依テ特別會計ノ損失
ヲ補填シタイト思ッテ居リマス、ソレデ
ハ大藏大臣ガ先刻御話ノ通り、相當大
キナ恆久的財源ヲ要スルコトハ、私カ
ラ申スマデモナイコトデアル、此處ガ
御議論ノアル點ダラウト思ヒマス、ド
ウシテモ相當ナ、大キナ恆久的財源ガ
ナケレバナラヌカラ、行政財政ノ整理
ヲシテヤル考ヲ持ッテ居ルト大藏大臣
ガ御話ニナッタ、唯大藏大臣ノ御答ト私
ノ問トチヨット喰違ッタト見エマス、一
致シナカッタ點ノアルノハ、御尋ノ中ノ
事務費マデモ借入金デヤッテ居ルノハ
イカヌチヤナイカト云フ點ニ對シテ、
二ツノ議論ガアリマス、大藏大臣ノ言
ハレル通り、相當ノ基金ヲ持ッテ居ル
特別會計デ、基金ノ範圍内デ事務費ヲ
拂ヒ、而シテ米穀特別會計ノ建方ハ必
ズ損ヲスルト云フ建方デアリマセス、
場合ニ依レバ利益ヲ得ルノデアル、安
イ時ニ買ッテ、高イ時ニ賣ルト云フ、此
案ヲ立テタ當時ノ考カラ見マシテモ、
大正十年ニ於テハ、東君御承知ノ通り
安イ米ヲ買ッテ、高ク賣ッタガ爲ニ、百何
十萬圓ト云フ利益ノアッタ時代モアル
ノデアルカテ、其點カラ申スト、大藏
大臣ノ言ハレル通り、特別會計デア

アル、之ヲ根本的ニ變ヘズシテ、此調
紙會ヲ設置シタ條件ニハ少シモ副ッテ
居ラナイデハナイカ、斯様ナコトヲ東
郷委員カラ質問シタニ對シテ、今朝來
應答ガ續イテ居ルノデアリマス、ソレ
デアリマスカラ、是ハ不徹底デアルガ
已ムヲ得ナイ今日ノ狀況デアルト云フ
ナラバ、私共ハ餘リ深ク咎メルコトガ
出來ナイガ、然ラバ御互ニ相談シテ、
是ハ一日モ早クヤラナケレバナラヌモ
ノデアルト云フナラバ、其方針ニ進メナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、先ヅ
第一ニ井上大藏大臣ハ御承知デアルカ
知ラヌガ、此一億何千萬圓ノ中ニハ、大
正十二年ノ震災ノ金ガ含シテ居ル、震
災ノ時ノ七百萬圓ノ金ガアル、米ヲ食ハ
シテヤッタ、震災ノ時ニ國立倉庫ニアッ
タ米ノ爲ニ、東京ノ五十萬ノ人ハ生命
ヲ救ハレタ、斯様ニ有利ニ使ハレテ居ル
ガ、此金モ五分四厘ノ利子ヲ附ケテ、
此需給會計デヤッテ居ル、斯ウ云フコト
ハ有リ得ベカラザルコトデアル、震災
當時ノ米ノ費用ナドガ、特別會計ノ損
失ニ終ッテ居ルト云フ現狀ニナッテ居リ
マス、斯様ナコトデアルカラ、是ハ一
日モ早く改正ヲシナケレバナラヌモノ
デハナイカ、斯様ニ私ハ言フノデアリ
マスガ、是ハ大藏大臣モ農林大臣モド
ウ云フ風ナ御考デアルカ、此事ガハッ
キリシナイト、吾々ハ米穀法ノ對策ト

云フコトニ付テ、率勢米價ト云フヤウ
ナ、學者ノ空論ニ依ッテ提案サレテ、貴
重ナ時間ヲ費スノハ實ハ無駄ダト思
フ、斯ウ云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマ
スガ如何デスカ

會計ニ財源ナカリセバ、大藏大臣モ先
刻御話ノ通り、從來カラ引續イタル今
日マデノ損失デアリマスルカラ、已ム
ヲ得ズ交付公債ニ依テ特別會計ノ損失
ヲ補填シタイト思ッテ居リマス、ソレデ
ハ大藏大臣ガ先刻御話ノ通り、相當大
キナ恆久的財源ヲ要スルコトハ、私カ
ラ申スマデモナイコトデアル、此處ガ
御議論ノアル點ダラウト思ヒマス、ド
ウシテモ相當ナ、大キナ恆久的財源ガ
ナケレバナラヌカラ、行政財政ノ整理
ヲシテヤル考ヲ持ッテ居ルト大藏大臣
ガ御話ニナッタ、唯大藏大臣ノ御答ト私
ノ問トチヨット喰違ッタト見エマス、一
致シナカッタ點ノアルノハ、御尋ノ中ノ
事務費マデモ借入金デヤッテ居ルノハ
イカヌチヤナイカト云フ點ニ對シテ、
二ツノ議論ガアリマス、大藏大臣ノ言
ハレル通り、相當ノ基金ヲ持ッテ居ル
特別會計デ、基金ノ範圍内デ事務費ヲ
拂ヒ、而シテ米穀特別會計ノ建方ハ必
ズ損ヲスルト云フ建方デアリマセス、
場合ニ依レバ利益ヲ得ルノデアル、安
イ時ニ買ッテ、高イ時ニ賣ルト云フ、此
案ヲ立テタ當時ノ考カラ見マシテモ、
大正十年ニ於テハ、東君御承知ノ通り
安イ米ヲ買ッテ、高ク賣ッタガ爲ニ、百何
十萬圓ト云フ利益ノアッタ時代モアル
ノデアルカテ、其點カラ申スト、大藏
大臣ノ言ハレル通り、特別會計デア

アル、之ヲ根本的ニ變ヘズシテ、此調
紙會ヲ設置シタ條件ニハ少シモ副ッテ
居ラナイデハナイカ、斯様ナコトヲ東
郷委員カラ質問シタニ對シテ、今朝來
應答ガ續イテ居ルノデアリマス、ソレ
デアリマスカラ、是ハ不徹底デアルガ
已ムヲ得ナイ今日ノ狀況デアルト云フ
ナラバ、私共ハ餘リ深ク咎メルコトガ
出來ナイガ、然ラバ御互ニ相談シテ、
是ハ一日モ早クヤラナケレバナラヌモ
ノデアルト云フナラバ、其方針ニ進メナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、先ヅ
第一ニ井上大藏大臣ハ御承知デアルカ
知ラヌガ、此一億何千萬圓ノ中ニハ、大
正十二年ノ震災ノ金ガ含シテ居ル、震
災ノ時ノ七百萬圓ノ金ガアル、米ヲ食ハ
シテヤッタ、震災ノ時ニ國立倉庫ニアッ
タ米ノ爲ニ、東京ノ五十萬ノ人ハ生命
ヲ救ハレタ、斯様ニ有利ニ使ハレテ居ル
ガ、此金モ五分四厘ノ利子ヲ附ケテ、
此需給會計デヤッテ居ル、斯ウ云フコト
ハ有リ得ベカラザルコトデアル、震災
當時ノ米ノ費用ナドガ、特別會計ノ損
失ニ終ッテ居ルト云フ現狀ニナッテ居リ
マス、斯様ナコトデアルカラ、是ハ一
日モ早く改正ヲシナケレバナラヌモノ
デハナイカ、斯様ニ私ハ言フノデアリ
マスガ、是ハ大藏大臣モ農林大臣モド
ウ云フ風ナ御考デアルカ、此事ガハッ
キリシナイト、吾々ハ米穀法ノ對策ト

云フコトニ付テ、率勢米價ト云フヤウ
ナ、學者ノ空論ニ依ッテ提案サレテ、貴
重ナ時間ヲ費スノハ實ハ無駄ダト思
フ、斯ウ云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマ
スガ如何デスカ

會計ニ財源ナカリセバ、大藏大臣モ先
刻御話ノ通り、從來カラ引續イタル今
日マデノ損失デアリマスルカラ、已ム
ヲ得ズ交付公債ニ依テ特別會計ノ損失
ヲ補填シタイト思ッテ居リマス、ソレデ
ハ大藏大臣ガ先刻御話ノ通り、相當大
キナ恆久的財源ヲ要スルコトハ、私カ
ラ申スマデモナイコトデアル、此處ガ
御議論ノアル點ダラウト思ヒマス、ド
ウシテモ相當ナ、大キナ恆久的財源ガ
ナケレバナラヌカラ、行政財政ノ整理
ヲシテヤル考ヲ持ッテ居ルト大藏大臣
ガ御話ニナッタ、唯大藏大臣ノ御答ト私
ノ問トチヨット喰違ッタト見エマス、一
致シナカッタ點ノアルノハ、御尋ノ中ノ
事務費マデモ借入金デヤッテ居ルノハ
イカヌチヤナイカト云フ點ニ對シテ、
二ツノ議論ガアリマス、大藏大臣ノ言
ハレル通り、相當ノ基金ヲ持ッテ居ル
特別會計デ、基金ノ範圍内デ事務費ヲ
拂ヒ、而シテ米穀特別會計ノ建方ハ必
ズ損ヲスルト云フ建方デアリマセス、
場合ニ依レバ利益ヲ得ルノデアル、安
イ時ニ買ッテ、高イ時ニ賣ルト云フ、此
案ヲ立テタ當時ノ考カラ見マシテモ、
大正十年ニ於テハ、東君御承知ノ通り
安イ米ヲ買ッテ、高ク賣ッタガ爲ニ、百何
十萬圓ト云フ利益ノアッタ時代モアル
ノデアルカテ、其點カラ申スト、大藏
大臣ノ言ハレル通り、特別會計デア

アル、之ヲ根本的ニ變ヘズシテ、此調
紙會ヲ設置シタ條件ニハ少シモ副ッテ
居ラナイデハナイカ、斯様ナコトヲ東
郷委員カラ質問シタニ對シテ、今朝來
應答ガ續イテ居ルノデアリマス、ソレ
デアリマスカラ、是ハ不徹底デアルガ
已ムヲ得ナイ今日ノ狀況デアルト云フ
ナラバ、私共ハ餘リ深ク咎メルコトガ
出來ナイガ、然ラバ御互ニ相談シテ、
是ハ一日モ早クヤラナケレバナラヌモ
ノデアルト云フナラバ、其方針ニ進メナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、先ヅ
第一ニ井上大藏大臣ハ御承知デアルカ
知ラヌガ、此一億何千萬圓ノ中ニハ、大
正十二年ノ震災ノ金ガ含シテ居ル、震
災ノ時ノ七百萬圓ノ金ガアル、米ヲ食ハ
シテヤッタ、震災ノ時ニ國立倉庫ニアッ
タ米ノ爲ニ、東京ノ五十萬ノ人ハ生命
ヲ救ハレタ、斯様ニ有利ニ使ハレテ居ル
ガ、此金モ五分四厘ノ利子ヲ附ケテ、
此需給會計デヤッテ居ル、斯ウ云フコト
ハ有リ得ベカラザルコトデアル、震災
當時ノ米ノ費用ナドガ、特別會計ノ損
失ニ終ッテ居ルト云フ現狀ニナッテ居リ
マス、斯様ナコトデアルカラ、是ハ一
日モ早く改正ヲシナケレバナラヌモノ
デハナイカ、斯様ニ私ハ言フノデアリ
マスガ、是ハ大藏大臣モ農林大臣モド
ウ云フ風ナ御考デアルカ、此事ガハッ
キリシナイト、吾々ハ米穀法ノ對策ト

云フコトニ付テ、率勢米價ト云フヤウ
ナ、學者ノ空論ニ依ッテ提案サレテ、貴
重ナ時間ヲ費スノハ實ハ無駄ダト思
フ、斯ウ云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマ
スガ如何デスカ

會計ニ財源ナカリセバ、大藏大臣モ先
刻御話ノ通り、從來カラ引續イタル今
日マデノ損失デアリマスルカラ、已ム
ヲ得ズ交付公債ニ依テ特別會計ノ損失
ヲ補填シタイト思ッテ居リマス、ソレデ
ハ大藏大臣ガ先刻御話ノ通り、相當大
キナ恆久的財源ヲ要スルコトハ、私カ
ラ申スマデモナイコトデアル、此處ガ
御議論ノアル點ダラウト思ヒマス、ド
ウシテモ相當ナ、大キナ恆久的財源ガ
ナケレバナラヌカラ、行政財政ノ整理
ヲシテヤル考ヲ持ッテ居ルト大藏大臣
ガ御話ニナッタ、唯大藏大臣ノ御答ト私
ノ問トチヨット喰違ッタト見エマス、一
致シナカッタ點ノアルノハ、御尋ノ中ノ
事務費マデモ借入金デヤッテ居ルノハ
イカヌチヤナイカト云フ點ニ對シテ、
二ツノ議論ガアリマス、大藏大臣ノ言
ハレル通り、相當ノ基金ヲ持ッテ居ル
特別會計デ、基金ノ範圍内デ事務費ヲ
拂ヒ、而シテ米穀特別會計ノ建方ハ必
ズ損ヲスルト云フ建方デアリマセス、
場合ニ依レバ利益ヲ得ルノデアル、安
イ時ニ買ッテ、高イ時ニ賣ルト云フ、此
案ヲ立テタ當時ノ考カラ見マシテモ、
大正十年ニ於テハ、東君御承知ノ通り
安イ米ヲ買ッテ、高ク賣ッタガ爲ニ、百何
十萬圓ト云フ利益ノアッタ時代モアル
ノデアルカテ、其點カラ申スト、大藏
大臣ノ言ハレル通り、特別會計デア

アル、之ヲ根本的ニ變ヘズシテ、此調
紙會ヲ設置シタ條件ニハ少シモ副ッテ
居ラナイデハナイカ、斯様ナコトヲ東
郷委員カラ質問シタニ對シテ、今朝來
應答ガ續イテ居ルノデアリマス、ソレ
デアリマスカラ、是ハ不徹底デアルガ
已ムヲ得ナイ今日ノ狀況デアルト云フ
ナラバ、私共ハ餘リ深ク咎メルコトガ
出來ナイガ、然ラバ御互ニ相談シテ、
是ハ一日モ早クヤラナケレバナラヌモ
ノデアルト云フナラバ、其方針ニ進メナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、先ヅ
第一ニ井上大藏大臣ハ御承知デアルカ
知ラヌガ、此一億何千萬圓ノ中ニハ、大
正十二年ノ震災ノ金ガ含シテ居ル、震
災ノ時ノ七百萬圓ノ金ガアル、米ヲ食ハ
シテヤッタ、震災ノ時ニ國立倉庫ニアッ
タ米ノ爲ニ、東京ノ五十萬ノ人ハ生命
ヲ救ハレタ、斯様ニ有利ニ使ハレテ居ル
ガ、此金モ五分四厘ノ利子ヲ附ケテ、
此需給會計デヤッテ居ル、斯ウ云フコト
ハ有リ得ベカラザルコトデアル、震災
當時ノ米ノ費用ナドガ、特別會計ノ損
失ニ終ッテ居ルト云フ現狀ニナッテ居リ
マス、斯様ナコトデアルカラ、是ハ一
日モ早く改正ヲシナケレバナラヌモノ
デハナイカ、斯様ニ私ハ言フノデアリ
マスガ、是ハ大藏大臣モ農林大臣モド
ウ云フ風ナ御考デアルカ、此事ガハッ
キリシナイト、吾々ハ米穀法ノ對策ト

云フコトニ付テ、率勢米價ト云フヤウ
ナ、學者ノ空論ニ依ッテ提案サレテ、貴
重ナ時間ヲ費スノハ實ハ無駄ダト思
フ、斯ウ云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマ
スガ如何デスカ

會計ニ財源ナカリセバ、大藏大臣モ先
刻御話ノ通り、從來カラ引續イタル今
日マデノ損失デアリマスルカラ、已ム
ヲ得ズ交付公債ニ依テ特別會計ノ損失
ヲ補填シタイト思ッテ居リマス、ソレデ
ハ大藏大臣ガ先刻御話ノ通り、相當大
キナ恆久的財源ヲ要スルコトハ、私カ
ラ申スマデモナイコトデアル、此處ガ
御議論ノアル點ダラウト思ヒマス、ド
ウシテモ相當ナ、大キナ恆久的財源ガ
ナケレバナラヌカラ、行政財政ノ整理
ヲシテヤル考ヲ持ッテ居ルト大藏大臣
ガ御話ニナッタ、唯大藏大臣ノ御答ト私
ノ問トチヨット喰違ッタト見エマス、一
致シナカッタ點ノアルノハ、御尋ノ中ノ
事務費マデモ借入金デヤッテ居ルノハ
イカヌチヤナイカト云フ點ニ對シテ、
二ツノ議論ガアリマス、大藏大臣ノ言
ハレル通り、相當ノ基金ヲ持ッテ居ル
特別會計デ、基金ノ範圍内デ事務費ヲ
拂ヒ、而シテ米穀特別會計ノ建方ハ必
ズ損ヲスルト云フ建方デアリマセス、
場合ニ依レバ利益ヲ得ルノデアル、安
イ時ニ買ッテ、高イ時ニ賣ルト云フ、此
案ヲ立テタ當時ノ考カラ見マシテモ、
大正十年ニ於テハ、東君御承知ノ通り
安イ米ヲ買ッテ、高ク賣ッタガ爲ニ、百何
十萬圓ト云フ利益ノアッタ時代モアル
ノデアルカテ、其點カラ申スト、大藏
大臣ノ言ハレル通り、特別會計デア

○町田國務大臣 大體ハ大藏大臣ノ言
ハレル通りデアリマス、私個人ノ農林
當局トシテノ考ヘテ申シマスト、先刻
大藏大臣ノ言ハレタ通り、之ヲ一般會
計ノ財源ヲ以テ損失ヲ補填スル考ガ一
番宜シイデアリマセウ、併シ若シ一般

○東委員 農林大臣ノ御考ヘテ伺ヒマ
ス
○西村委員長 チョット東君ト東郷君
ニ申上ゲマスガ、御兩君ノ要求デ大藏
大臣御出席ニナッタノデアリマスガ、減
稅委員會ハ先刻カラ開イテ、大藏大臣
ノ出席ヲ待ッテ居ルサウデアリマス、願
クハ大藏大臣ニ對スル質問ダケハ、此
際成ベク簡明ニ御願シタイ
○東委員 若シ御急ギナラバ保留願ッ
テ又出テ貰フヨリ仕方ガナイ、私共ハ
マダ盡キマセス

○西村政府委員 御兩君トモ今申上ゲ
タヤウナ事情デアリマスカラ、簡單ニ
ドウカ御願シタイ

○井上國務大臣 簡單ナラバドウゾ：

○東委員 只今私共ノ質問ニ對シテ
モ、大藏大臣ト農林大臣トノ意見ニ喰
違ガアル、是ハ基金ヲ持タナケレバ特
別會ガ成立タヌト云フ大藏大臣ノ意見
デアルシ、又之ハ國家的ノ施設デア
カラ、當然一般會計カラ負擔シテ差支
ナイモノデアアル、斯ウ云フ意見ノ喰違
ガアルノデアアル、ソコデ此特別會計ノ
方法ヲ整理スルト云フコトハ、何ヨリ
モ急務デアルト云フコトハ、恐ク大藏
大臣モ農林大臣モ御異論ハ無カラウト
思フ、サウ致シマススト云フト、是ヲ整理
スルニハ、非常ニ財政ガ窮迫シタ申
シマスカ、今日交付公債ヲ以テ之ヲ一
時整理スルト云フヨリ外ニ途ハ、幾ラ
考ヘテモナイト思フ、若モ此基金制度
ニ依ルト云フヤウナ方法ヲ立ツルナラ
バ、此損失ヲ此儘重ネテ置イテ、サウシ
テ此儘引移シテモ宜イコトモアル、ソ
レニハ第一項ノ米穀法ト云フモノ、改
正ヲ徹底的ニヤラナケレバナラヌ、此
改正ヲ徹底的ニスルニハ、今拓務大臣
モ御出デニナツテ居ルガ、私共ハ拓務大
臣ナドニモ質問ヲ致シテ、朝鮮ノ統制
ヲスルト云フコトモ一ツ考ヘテ戴キタ

イ、又外米ノ許可制限ヲ執ッテ居ルガ、
之ヲ管理スルト云フヤウナコトモ一ノ
方法デアアル、サウスレバ損失ヲ多少持ッ
テ居ッテモ、今後之ヲ償還スル方法モア
ルト思フ、ケレドモ今ノ建前デハドウ
シテモ損失ガ重ナツテ、雪達摩ノヤウニ
大キクナツテ、遂ニハ拾收スベカラザル
モノニナツテ來ル、何故ニ前内閣、前々
内閣ニ於テ之ヲ整理シナカッタカト云
フト、其時ハ損失ガ少ナカッタ、最近人
口ガ殖エ、食糧問題ガヤカマシクナッ
テ、米ノ供給ト需用ガ非常ニ擴大サレ、
其結果損失ガ重ナツテ來タノデアリマ
スガ、此狀態デ置クナラバ、今後數年
デ非常ニ大キナ額ニナツテ、損失ガ一般
會計ニ及ンデ來ル、寧ロ思切ッテ、交付
公債デ——政策ノ破綻ト云フコトモア
リマスカ、交付公債ヲ以テ整理スルヨ
リ途ハナイ、唯大藏大臣ノ御心配ニナ
ルノハ、利子支拂ノ點デアアルガ、是ハ
差當リ五六百萬圓モアレバ結構ダト思
フ、此金モ中々容易デナイト云ヘバソ
レマデバアリマスカ、サウスルト米穀
法ノ改正ト云フモノハ何等根柢ノ核心
ニ觸レテ居ラヌト思フ、先程カラノ私
等ノ議論ハ、ソコニ於テ出發スルノデ
アル、此點ニ付テ大藏大臣ナドハ、本
當ニヤルト云フコトナラバ、交付公債
ヲ以テヤルヨリ途ハナイ、之ヲドウシ
テヤラナカッタカ、又其意思ハナイカ、

此儘ニシテ置クト云フコトナラバ、愈々
問題ハ面倒ニナツテ來ル、斯ウ私共ハ考
ヘテ居ル、之ニ對シテハ、モウ少シ大
藏大臣ガ御考下スタ方ガ宜イト思フ、
農林大臣モ恐ラク其點ニ付テハ御同感
デアラト思フ、ケレドモ私共ガ質問ス
ルト、根本的改正ヲヤッタノダト言ウ
テ、吾々ヲ胡麻化サントシテ居ラレル、
此點ニ付テ尚ホ御考ガアルナラバ承リ
タイ

○井上國務大臣 東君ノ只今ノ御質問
ハ、先刻カラ度々御答申シタ次第デア
リマシテ、一億五千萬圓ノ交付公債ヲ
渡スニ致シマシテモ、利拂ヒ或ハ減債
基金デ一千萬圓以上ノ金ガ要ルノデア
リマス、恆久財源ニ年々ソレダケ要ル
ノミナラズ、今後ノ損失モ一般會計デ
負擔スルト云フ以上ハ、ソレモ豫算ニ
計上シテ安全ヲ圖ルノガ本當ノ途デア
ラウト思ヒマス、サウ致シマススト、今
日ノ財政狀態デハ餘裕ガナイ、斯ウ申
上ゲテ居ル次第デアリマス

○東委員 大藏大臣ノ私ニ對スル答辯
ハ、先刻來ノ答辯ノ範圍ヲ出ナイノデ
アリマスカ、農林大臣ハ此私ノ質問、
東郷委員ノ質問ニ對シテ、米穀法ノ改
正ハ根本精神ノ改正ヲシタモノデア
ルト尙ホ斷言シ得ルカドウカ、其點ヲハッ
キリ御答辯願ヒマス

一寸觸レテ居リマシタガ、東郷委員ノ
御尋ハ米穀法出動ノ基準ガ主トナツテ
居ルノデアアル、ソコデ米穀法ノ改正ハ
根本的改正デナイト云フヤウナ御意見
ガアッタニ對シテ、從來ノ米穀法ニ於キ
マシテハ、或ハ效果ガ十分ナラズト世
ノ中ガ見テ居ルモノモ少クナイノデア
リマス、而シテ米穀法出動ノ場合ガ一
切之ヲ當局者ノ裁量ニ委シテアッタガ、
今後ハ法律ニ於テ米穀法出動ノ基準ヲ
設ケテ、其間ヲ當局者ノ責任トスル領
分ヲ餘程縮メテ、法律ノ上ニ出動ノ基
準ヲ作ルト云フコトハ、根本的改正ノ
一ツデハナイカト云フ意味デ答辯ヲ致
シテ居ルノデアリマス、モウ一ツノ特
別會計ニ關スル根本改正ハ、屢、申シタ
通り、此損失ヲ補填スルコトガ一ツノ
根本問題デアリマス、之ヲ補填スル方
法モ、或ハ一般會計ニ之ヲ引繼グカ、
一般會計ノ財源ヲ以テ之ヲ補填スル
カ、已ムヲ得スケレバ交付公債ヲ以テ
之ヲヤル、併シソレニハ相當ノ恒久的
財源ヲ要スル、今日ノ事情ハ他日行政
財政ノ整理ヲ致シタ時デナケレバいか
スカラ、大藏大臣モ大體ノ方針ハアナ
タ方ノ御尋ト何等變リマセヌガ、財政
ノ現狀ニ於テハ、暫ク時ヲ假シテ貰フ
ヨリ仕方ガナイ、實情ヲ打解ケテノ大
藏大臣ノ御話ニ對シテハ、私共同感デ
アルコトハ申スマデモアリマセヌ、併

○町田國務大臣 先刻大藏大臣カラモ

シ米穀法ノ根本的改正ト云フコト、米穀特別會計ノ損失ヲ根本的ニ改正スル、改メルト云フコトハ、必ズシモ一緒デナケレバ根本的改正ニナラヌト云フノハ、是ハ御意見トシテハ承リマスガ、吾々ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ

○東委員 大藏大臣ニ對スル質問ハ、私ハモウ是デ宜シウゴザイマス、又何レ此審査ノ上ニ於キマシテ必要ナ時マデ保留シテ置キマスカラ、御差支ヘナイ時ニ御答辯願フ機會ガアルカモ知レマセヌ

農林大臣ニ伺ヒマスガ、私ハ先程カラ大藏大臣ニ質問シタ、アナタハ此改正ハ、根本精神ノ改正ヲヤッタノダト云フコトヲ仰シヤルノデアアルガ、之ヲ逆算シテ考ヘテ見テモ、米穀法ノ本法ガアツテ、此特別會計ハ附隨法デアアル、本法ノ改正ヲシテ、サウシテソレニ若シ損失ガ重ナツテ行ケバ、資金會計ニ於テ損失ガ起ツテ來ル、サウスルトソレニ付テノ資金ガ缺乏スレバ、又更ニ米穀法ヲ改正シナケレバナラヌト云フコトニナルカラ、是ハ因果關係、不可分ノモノデアルト云フコトヲ先程カラ申シテ居ル、八千萬圓ヲ擴張シタト云フコトヲ以テ、詰リ米穀法ノ運用ハ、今後未來永久是デ足リルト御考ニナツテ居ルカ、其點ヲ御答辯下サレバ私ノ質問ハ明カニナルト思ヒマス

○町田國務大臣 此米穀法ヲ改正シマシテ、基準ガ定マツテ、米穀法運用ノ當局者ガ働キ出ス基準ハ、米穀法ニ依ッテキマリマスガ、ソレニ依ッテ米穀特別會計ノ八千萬圓デ今後長キニ互ッテ、ソレデ不足ヲ生ズル虞レガナキヤ否ヤト云フ御尋ニ對シテハ、今後ノ米作ノ模様ニモ依リマス、人口等ノ關係ニモ依リマス、臺灣朝鮮カラハイリマス米ノ關係、内地ニ於テ農業倉庫ヲ利用シテ、低利資金ヲ運用シタ場合ニ依ッテ自ラ異リマスガ、達觀致シマス、此八千萬圓ダケデ將來長ク米穀法ヲ運用出來ルトハ想像シテ居リマセヌ

○西村委員長 尙ホ東委員、東郷委員ニ申シマスガ、拓務大臣ガ貴族院ヘ御出席ニナツテ居ルノヲ、殊更ニ此席ニ御出席ニナツテ居リマスカラ、願クハ拓務大臣ヘノ御質問ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○東委員 此問題ヲモウ少シヤラナケレバ拓務大臣ヘノ質問ガ出來マセヌカラ……

○西村委員長 ソレデハ其御含ミデ……

○東委員 八千萬圓ト云フモノハ、是ハツマリ何年トカ云フ想像モ付カヌケレドモ、是デハヤツテ行ケヌト云フ考ヲ以テ見レバ、是ハ私ハ臨時應急のノモノダト斯ウ考ヘル、此點ニ付テ臨時應

急のノ御考デ八千萬圓ノ擴張ヲスル、又之ヲ以テ米穀特別會計ト云フモノハ——當分未來永劫ト云フコトハ出來マセヌガ、今後五年八年ハ是デ賄ヘルト云フ御考ヲ持ッテ居ルノカ、之ヲドウカ御答辯願ヒタイ

○町田國務大臣 今後七年八年ハ是デ資金ニ缺乏ヲ來サズニ、米穀法ノ精神ガ實現シ得ラレ、バ結構デアリマス、斯様ナコトハ希望致シテ居リマスガ、既往ノ經驗ニ依リマス、此特別會計ノ缺損ヲ、大藏大臣ガ言ハル、意味ニ於テ整理セザル限りハ、連モ七年八年是デ保ツコトハ出ナイト思ヒマス、所謂根本的特別會計ヲ整理スルマデノ間ノ應急的方法ト考ヘルヨリ致シ方アリマセヌ

○東委員 サウスルトヤハリ私ノ質問ニ略ニ近付イテ來タ、是ハ應急のデアアル、今後五年八年ト云フコトハ想像出來ヌト云フコトニナレバ、是ハ根本的改正デナイト云フコトハ是ハ逆算シテ十分推論スルコトガ出來ル、此點ニ付テハ恐ラク議論バナカラウト思フ、今度ノ提案ハ臨時應急のデ——唯率勢米價ト云フモノハ切離シテ、是ハ完璧ナモノデナイト農林大臣ハ仰シヤルガ、ソレハ私ハ承認致シマス、農林大臣ノ御意見ハ尊重致シマス、私ハ別ナ意見ヲ持ッテ居リマスガ、此米穀會計ト云フモノ

ト米穀法ト云フモノハ、是ハツマリ根本的ノ改正デナイト云フコトハ是ハ恐ラク明瞭ニナツタト思フ、更ニ御伺ヒスルノデアリマス、ヤハリ特別會計デアリマスガ、是ハ又東郷君モ質問スルダラウト思ヒマスガ、關聯シテ居ル此場合ニ御聽キシタ方ガ宜イト思フ、此八千萬圓ト云フモノヲ立案シタ基礎ハ何處カラ出タノガ、應急的對策ト云フモノハ何處カラ出タノカ、何年間ドウ云フ方法ヲ以テヤルカト云フコトガ凡ソナケレバナラヌト思フ、唯握ミ計算デ、是ダケアッタラ今年カ來年位ハ大丈夫ダト云フヤウナ考デヤッタモノトハ考ヘラレナイ、其點ヲ御答願ヒタイ

○町田國務大臣 サッキノ御話ノ中ニ、根本的改正デナイト云フ意味合ハ——其點ヲ先ヅ以テ申上ゲタラ宜カラウト思ヒマスガ、東君ハ米穀法モ根本的デナイ、特別會計モ根本的デナイト云フコトニ私ガ同意シタカノ如ク聽取ツタガ、私ノ考ハ米穀法ハ根本的改正ヲヤツテ居ル、米穀特別會計ハ、東君ノ言ハレタル應急的方法ダト御解釋下サツテモ宜シウゴザイマス、此度八千萬圓ニ増シタト云フコトハ、何ニ依ッテ立テタカト申シマスレバ、是ハ見方ガ二ツアリマス、私ハ見方ヲ二ツ併用シタ積リデアリマス、即チ東君ガ農林省ニ御出デニナツタ時ニ七千萬圓カ増サレタノデア

リマス、其時ノ意味ハ私承知致シマセ
ス、併シ特ニ在野黨トシテ之ニ賛成シ
タ意味ハ明ニ申シタ通り、當時凡ソ七
千萬圓位ノ損失ガアルカラ、此程度デ
七千萬圓ヲ増スト云フコトデアレバ損
失ヲ補填スル、將來根本的ニ補填スル
ニ先ダツテ、一時應急的ニ之ヲ裝填シテ
置クト云フ意味ト、七千萬圓位アレバ
當分米穀法ノ目的ヲ達スル、運用ガ出
來ルト云フ意味デ其當時モ賛成致シタ
ノデアリマス、此度ハ當年ノ三月ニナ
リマスレバ、約ソ一億五千萬圓近イ損
失ノ總高トナル、其中ノ七千萬圓ハ前
内閣時代ニ増サレタ時ニ對シテ吾々ガ
損失ヲ裝填スル意味ニ於テ御同意ヲシ
タガ、殘ル八千萬圓ハ、先ヅ此處デ之
ヲ裝填シテ、此八千萬圓アレバ今現存
シテ居リマス米穀法デモ今吾々ガ改正
ニ付テ御協賛ヲ願フテ居ル米穀法ニ依
テモ、之ヲ運用スルニハ約ソ八千萬圓
竝ニ今マデ持ッテ居リマスル資金ヲ合
シテ、米穀ノ暴落暴落及ビ需給關係ヲ
整ヘテ行クノニ十分デアルト云フ考カ
ラ八千萬圓ト云フコトヲ出シタノデア
リマス

○東委員

サウシマスト云フト、私ノ
質問ニ對スル御答辯ハ、前内閣ノ當時
七千萬圓増シタ、是ハ損失ガ漸ク七千
萬圓ニ達シテ居ッタ故ニ、損失ヲ裝填ス
ル意味デ協賛ヲ與ヘ賛成シタノデア

ル、今度ノ八千萬圓ノ擴張ハ、是ハ一
億五千萬圓ノ損失ガ三月マデハ明カニ
ナッタ、一億五千萬圓損失スルコトガ明
カニナッタラ、前ニ七千萬圓補填シタカ
ラ是デハ八千萬圓ノ擴張ヲシタラ、一億
五千萬圓ト云フモノ、補填ガ先ヅ出來
ルト云フ意味デ此八千萬圓ト云フ、其
基礎ヲ大體ノ標準トシテ居ル、斯ウ云
フ御答辯ノヤウニ承ッタノデアリマス
ガ、私ノ質問ハソレナラソレ宜シウ
ゴザイマスガ、モウ少シハッキリ此點ヲ
伺ヒタイト思ヒマス、次ニ私ノ質問ト
シテノ大體ノ要點ハ、此八千萬圓ニ對
スル基礎ト云フモノハ唯目安デ一億五
千萬圓デアアル、又七千萬圓前内閣増
シテ居ルカラ、今八千萬圓補填シタラ
宜カラウト云フコトデヤッタノデア
カ、是ハ何年ノ間ニ此八千萬圓ノ運用
ヲスレバ十分デアアル、運用ノ資金ガ充
實スル、或ハ二年トカ三年トカ、ハッキ
リシタ數字ガアリ、若クハ米ハ一箇年
ドノ位ノ基準ニ依ッテ、出動スル石數等
ハ大體此位ノ程度ニ於テ見込ガ立ッタ
ト云フコトデナケレバナラスト思ヒマ
スガ、此點ニ付テ何カ立案ノ基礎ガア
リマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

○町田國務大臣

先刻私ノ答ノ中ニ、
此八千萬圓ヲ増シマシタニ付テ二ツノ
意味ガアルト明カニ申シマシタガ、二
ツノ意味ト云フコトハ損失ガ八千萬圓

アルカラト云フ意味ト、現在ノ米穀法
デモ吾々ガ改正シヨウト思フ新ナル
米穀法ニ依ッテモ、ソレヲ運用スルニハ
凡ソ八千萬圓デ出來ルト達觀シタノデ
アリマス、併シ損失ヲ補填シテモ又米
穀法運用ノ目的ヲ達成致シマスニ資金
ガ必要ダトスルナラバ、必ズシモ損失
補填ノミナラズ更ニ資金ノ増加ヲ求メ
ルコトハ當然デアリマス、併シ私共ノ
此案ヲ作リマシタ當時ハ、凡ソ二百萬
石位買入レルノダケノ資金ハ、此増額
ニ俟タズシテ出來ル餘裕ヲ持ッテ居ル
ガ上ニ、更ニ八千萬圓加ヘマスルカラ、
從來ノ例ニ依リ、昨年就中大豐作ガ現
ハレタトシテ、ソレヲ推算致シテモ運
用ガ出來ル、更ニ今年モ昨年ノ如ク大
豐作ガアルト假定シテモ、此増加ニ依
テ運用ガ出來ルト云フ確信ノ下ニ八千
萬圓ト出シタノデアリマス、併シ昨年
ノ如キ大豐作ガ、今後三四年若クハ四
五年間ハ引續イテアルトスレバ、更ニ
此資金關係ニ付キマシテハ考慮致シ
テ、斯ル場合ヲ來サズ、米穀法運用ノ
目的ヲ達スル所ノ資金ヲ新ニ得ナケレ
バナラスコトハ申ス迄モアリマセヌ
ガ、之ヲ提出致シマシタ時ニハ、二百萬
石位買入レル資金ヲ持ッテ居ル、更ニ八
千萬圓ノ資金ガアレバ他ノ施設、朝鮮、
臺灣ニ對スル施設等ニ依ッテ、外國米ガ
出來ルダケ入ラナイ方法ヲ取り、今現

ニ持ッテ居ル古米ヲ出來ルダケ外國ニ
出ス、斯ウ云フ朝鮮等ノ農業倉庫ノ施
設ヲ合シマスレバ、此資金デ米穀法制
定ノ趣旨ヲ貫徹シ得ラル、ト云フ確信
ノ下ニ出シタノデアリマス

○東委員

八千萬圓アレバ、先ヅ運用
ガ出來ルト云フコトニ、大體承知シテ
宜イヤウナ御答辯デアリマシタガ、私
共考ヘルノニハ、八千萬圓擴張シテモ、
現在二百萬石ダケノ從來ノ資金ニ依ッ
テ買ッタ、兎ニ角百萬石ダケハ新ニ買ッ
タ、サウスルト今政府ノ所有米ト云フ
モノガ幾ラニナッテ居ルカ、先ヅ四百萬
石内外ノモノデアラウト思ヒマスガ、
サウシマスト、之ヲ一箇年貯藏スル
倉庫ノ倉敷其他ノモノヲ入レルト約一
千萬圓位ノ費用ガ掛ル、サウ致シマシ
テ段々計算シマス、細カイ數字ノ計
算ヲ致シテハ居リマセヌガ、假ニ三百
萬石買フトスレバ、只今ノ米價デア
ト六千萬圓掛ル、サウスレバ若シ來年
一年豐作デアッテ、三百萬石乃至四百萬
石買フトスレバ、八千萬圓ハ直グケシ
飛ンデシマフト云フコトハ極メテ明瞭
デアアル、ノミナラズ農林大臣ハ此八千
萬圓デ當分ヤレルト云フ御考デアッテ
モ、來年豐作デアアルカ凶作デアアルカハ、
是ハ天候ニ支配サレルノデアリマスカ
ラ神様デナイカラ分ラヌト仰シヤルデ
アラウガ、此數字ハ明白デアアル、政府

ノ古正米トシテ一千萬石ハ翌年ニ持越シテ行ク、ソコデ平年作デアッテモ四百萬石カ四百五十萬石ノ持越米ガアル、ソコヘ一千萬石持ッテ來ルカラ、來年ハ平年作デアッテモ古正米ガ現レテ來ルノハ極メテ明瞭デアル、サウスルト米穀法ノ建前カラ言ヘベ、來年一年シカ買上資金ガナイト云フコトハ、殆ド想像スルニ難クナイノデアル、ソレニ依ッテ考ヘテ見マシテモ、農林大臣ノ只今ノ米價基準價格ヲ設定シタカラ、之ニ依ッテ當分ノ間ハ間ニ合ハスト云フ私ニ對スル答辯ハ餘リニ不徹底デハナカラウカト考ヘル、其點ハドウ云フ御考デアルカ、尙ホ當分ノ間ハ是デ宜シイ、今後數年間ハ是デ持續スルト云フ御見込デアルカ、其點ヲハッキリ御答辯ヲ願ヒマス

○町田國務大臣 ソレハ此處デ結論ヲ得ルコトハ餘程困難ナ問題デアリマセウ、其第一ハ、今ノ東君ノ御尋ハ、當年ノ米作ハ昨年同様ニ非常ナル大豐作デアッタナラバ、果シテ此八千萬デ足ルカ、斯ウ云フ一ツノ御尋デアリマスガ、私ハ足ルト確信シテ居ルノデアリマス、是ハ問題ガ、餘程具體的ノ問題ト相成ッテ、他ノ委員諸君ニハ御迷惑カ知レマセヌガ、東君ノ御尋ネガ具體的ノ御尋ネデアリマスガ故ニ、私モ相當具體的ニ申上ゲナケレバナラヌト思ヒ

マス、御話ノ通り當年ノ剩餘米ガ需給ノ關係カラ一千萬石位ニナルト云フ推算ハ出來ルノデアリマス、而シテ東君ハ御承知ノ通り米穀政策ヲ立テル時ニハ端境期ニ幾ラ位ヲ殘スノガ一番穩當デアルト云フ問題ハ、東君モ曾テ御經驗ガアラウト思ヒマス、從來ノ例ニ依リマス、端境期ニ於テ七百萬石八百萬石殘シタ年モアリマス、政府米ト民間ニアル米ヲ合セテ五六百萬石トシテ米穀政策ヲ立テタ年モアリマス、此度ハ假リニ一千萬石ノ剩餘米ガアルト致シマシテモ、民間ノ自由賣買ヲセラル分量ハ先ヅ半分内外デ、殘リノ四百萬石以上ハ國家ガ之ヲ藏ッテ居リマスガ故ニ、政府ガ有ッテ居ッテ、米穀ヲ壓迫スルト云フ議論ハアルトシテモ、ソレハ別トシテ、市場ニ自由ニ賣買サレル總高ハ、先ヅ六百萬石カ五百萬石ノ間デアルト御推算下サッテ宜カラウト思ヒマス、其中ニ現ニ行ヒツ、アル所ノ、外國ニ向ッテ米ヲ賣出スト云フ事ハ相當進ンデ居リマス、恐ク今申ス一千萬石ノ中ニハ、外國ニ賣出ス數量ハ大體差引イテアルト思ヒマス、若シ一部分ガ入ッテ居ッテモ、現ニ進行シツ、アル外國ニ賣出ス分量ハ、御話ノ千數十萬石ノ中ニハ内地ニアルモノト計算シテ居ル答デアリマス、ソレカラ一千萬石餘ルト云フ計算ハ、朝鮮カラ

凡ソ九百萬石入ルト云フ推定ガ一ツノ基礎ヲ爲シテ居ルノデアリマスガ、其朝鮮カラ入ル米ハ拓務大臣モ御存ジデアリマスガ、低利資金其他ニ依ッテ、一時ニ殺到スルコトヲ防グ意味デ相當ノ效果ガアリマスガ、是ハ結局入ッテ來ル數量ニ違ヒアリマセヌ、而シテ内地ニ於キマシテハ、先刻來申上ゲテ居ル通り低利資金、初ノ貯藏等ニ依ッテ端境期マデニ調節スルト云フ米穀政策ヲ當年ハ立テタノデアルカ、當年又去年ノ如ク豐作デアッタラバドウスルカト云フ事ニ對シテハ、結局一千萬石内外ノ中四五百萬石ハ政府ノ買入デ、是ハ市場カラ除イテ、後ノ殘リハ多クテ六百萬石アリマセウ、之ヲ端境期ニ於テ殘存米トシテ計算スル部分デアリマス、之ニ若シ昨年ノ如キ大豐作ガ續イタト致シマスレバ、玆ニ又種々ナル施設ヲ致シマス同時ニ、當年三百萬石ヲ買入レタ其程度ノ買入ハ更ニ致サナケレバナラヌト思ヒマス、平年作デモ非常ナ金ガ要ルデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、平年作デアリマスレバ、昨年マデ少クトモ百七十萬石、多クテ五百萬石位入ッテ參リマシタ、外國米ヲ著シク制限スルコトガ出來マスガ故ニ、若シ當年ガ平年作デアリマスレバ、米穀法ニ依リ相當大キナ金ヲ出シテ買入レル必要アリヤ否ヤハ、他ノ經濟上ノ

事情ニ依ルコトデアルカラ豫メ期サレマセヌガ、米穀ノ需給關係ニ依ッテ生ズル米價ヲ調節スルコトノ必要ハ、今日ノ如ク多クハナイ、大體斯ウ云フ考ヲ有ッテ居リマス

○東委員 私ノ質問ハマダ盡キマセヌガ、先程ノ東郷君ノ質問ニ聯關シテ居ル事項デアリマシタカラ質問致シタノデアリマスガ、只今ノ如キ答辯デハ、私ハ少シモ満足出來ナイノデアリマスカラ、尙順位ガ來タ時ニ質問ヲ致スコトニシマシテ、東郷君ニ譲リマス

○東郷委員 拓務大臣ガ御見エニナッテ居リマスガ、其前ニ只今ノ繼續中ノ問題デ、モウ一ツ農林大臣ニ私御意見ヲ伺ッテ、ソレカラ拓務大臣ニ御伺ヒシヨウト思ヒマス、先程來私ト大藏大臣、農林大臣乃至ハ東委員ト兩大臣トノ御質問應答ニ依ッテ色々ノ結論ニ到達スル譯デアリマスガ、ソコデ私ハモウ一ツ此點ニ付テ御意見ヲ承リタイノハ、先程來問題ニナッテ居ルヤウニ、一昨年ノ議會デ七千萬圓ノ資金増額ニ協賛ヲ與ヘル場合ニ、色々各方面カラ、今ノ儘デハイケナイ、根本的ニヤラナケレバナラヌ、其中デモ今マデノ損失ヲ何トカシナケレバナラヌト云ッタコトガ、非常ナ重大ナ問題デアッタコトハ、是ハ繰返スマデモアリマセヌ、私ハ先程來申シマスヤウニ、米穀調査會ニ政府ガ

御諮問ニナツタ問題モ、其處ニ重點ガ置イテアツタと思フ、又調査會ガ御諮問ニ答申シタ五項ノ中デモ、先程モ言フヤウニ、從來ノ米穀需給調節特別會計ノ損失ヲ一般會計ニ移サナケンバナラヌ、是ハ特別會計ノ過去ノ損失ヲ今更自分デドウスルコトモ出来ナイカラ、米穀法改正ノ際ニ、之ヲ一般會計ニ移サナケレバナラスト云フコトガ、滿場一致デ――滿場一致ト云フコトハ語弊ガアルカモ知レマセヌ、阪谷男爵ガ唯一人反對サレマシタガ、併シ他ノ總會ニ於テ出席サレタ總テノ人ガ是ニ贊成サレテ御答申ニナツタ、サウ云フヤウナ行掛リカラ考ヘマシテモ、今度米穀法ヲ改メル時分ニハ、此問題ヲ解決シナケレバナラヌ筈ダ、所ガ先程來大藏大臣ハ、財政ノ都合云々ト云フコトデ此際ドウモ出来ナイ、將來ハヤリタイガ、今見當ハ付カナイト云フ話デアリマス、サウ云フ實狀ニアルノニ、此米穀法ヲ特ニ改正ヲ御急ギニナリ、而モ基準案ノ根柢トナルベキ色々ノ條件ガアルガ、ソレモ急ニハ間ニ合ハヌカラ、暫定的ニ率勢米價デ行クノダト云フテ、率勢米價一本デ改正ニナルト云フ理由ハ何處ニアルカ、非常ニ吾々ハ之ニ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、斯様ナ實狀ニアルノニ、率勢米價一本デ暫定的ニ至急之ヲヤルト云フ、此御改正ノ

理由ガ一體何處ニアリマス、其御急ギニナル理由ヲ此際改メテ御伺ヒ致シテ置キマス

○町田國務大臣 御答申ノ一項ハ、米穀特別會計ノ損失ヲ一般會計ニ移スト云フコトデアツタガ、直ニ今日實行ノ出来ナイト云フコトハ私トシテモ遺憾デアリマス、併シ財政ノ事情ガ、主義トシテハ無論御同意デアルガ、直ニ之ヲ實行シ得ナイ實情ハ、大藏大臣ヨリ赤裸々ニ御答致シマシタカラ御了解下サツタコト、思ヒマス、率勢米價一本ニ依ラズニ、一面ニハ家計費及生産費ヲ調ベテ、此三ツヲ以テ米穀法出動ノ基礎ト致シタイコトハ申ス迄モアリマセヌガ、幾ラ急イデモ數年ハ掛ル恐レガアル、私共ハ出來ルダケ此生産費生計費ノ調査ヲ急グ積リデアアルガ、併シ是ハ一年デ必ず出來ルト云フ言責ヲ持ッタ御答ガ出來ヌ事情ハ、東郷君モ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ大體米穀法ヲ運用スルノ基準ヲ定メテ、其基準ニ依ッテ動クノハ一般生産者及ビ消費

者ノ國民全體ニ對スル重大ナル食糧問題ノ動キ方トシテハ、ソレガ一番正シイト云フ意味カラ、率勢米價ヲ作ッタノデ、率勢米價ノ内容等ニ付キマシテハ過日來屢、此席デモ御質問ガアリ、私共モ極力御答ヲシテ居リマシタカラ、ソレデ盡キテ居ルト思ヒマスカラ、ソレニ依ッテ御了解ヲ得ルヨリ外ハアリマセヌ、率勢米價一本デ暫クヤルト云フコトノ意味ハ、先日來屢、申上ゲチ居リマスカラ、此處デ繰返シテ申上ゲル必要ハナササウニ吾々ハ考ヘルノデアリマス

○東郷委員 私ガ御尋致シマシタノハ、或ハ多少言ヒ方ガ惡カッタカモ知レマセヌガ、サウ云フ意味デナカッタノデアリマス、詰リ生産費、家計費、率勢米價、三ツデヤルノニ、後ノ二ツガ調査ニ暇ガ要ルカラ、差當リ率勢米價デ行クノダ、斯ウ云フコトノ意味ヲ御聽シタノデハナイ、今ノ米穀法ヲ御改正ニナル一ツノ目標モ、今ノ儘デアレバ資金ヲ幾ラ殖ヤシテモ損失ハ益殖エル一方ダ、又其損失ヲ何トカシテ置カナケレバ、法律ヲ改正シテモ中々ウマク行カナイ、斯ウ言ッタヤウナ理由ガ多分ニ含マレテ居ルノデス、ソレ故ニ此米穀法ガ改正ニナル時分ニハ、從來ノ特別會計ノ損失ヲ一般會計ニ移シテ貰ヒタイト云フ答申ニナツテ居ル、ソレデアアルノニ先程來兩大臣ハ財政ノ都合上特別會計ヨリ一般會計ニ移セナイノダ、斯ウ仰シヤル、ソレナラバ何モ急イデ、而モ率勢米價一本デ米穀法ヲ御改正ニナル必要ハ無いデハナイカ、若シ必要ガアレバ、是デ行ケバ從來ヨリハ損失ヲ少クスルコトガ出來ル

ト云フヤウナ、其處ニ御見當ガ無ケレバナラヌ筈デアアル、サウ云フ意味デ御急ギニナルノデハナイカト思フカラ御尋シタ譯デアリマス、ソレナラバ宜シウゴザイマス、後ノ生産費、家計費ノ調査云々ト云ッタヤウナコトハ、後デ私ハ御尋シマスガ、此場合ハ唯ソレダケノ關係ニ於テ、何カ理由ガアリハシナイカ、ソレヲ御尋致シマス

○町田國務大臣 率勢米價一本デアリマシテモ、今日以後ノ作合ノ模様ニ依ッテハ特別會計ヲ此儘ニシテ置ケバ、更ニ損失ガ多イ場合ガ無いトハ限リマセヌ、併シ唯當局者ノ常識ニ委スルニ止ッテ居ル從來ノヤリ方ヲ、三十年間ノ物價ノ趨勢竝ニ其物價ノ趨勢ニ對シテ、屢、申ス通り「レート」ヲ加ヘテ、米ノ生産者ノ利益ヲモ相當考慮シタ考カラ出テ居ル算法ニ依ル所ノ率勢米價ナルモノニ依ッテヤレバ、行使ノ上ニ、從來基準ガ無カッタ場合ニ比較シテ、此基準一本デモ相當公正ナル動キ方ガ出來ル、當局者モ茲ニ動クベキ基礎ガ出來ルカラ、米穀法ノ目的ヲ達スルニ都合ガ宜カラウ、假スニ數年ヲ以テスレバ、生産費、生計費ト云フ新ナル基準ノ一ツトナルモノガ生シマスガ故ニ、一層米穀法運用ニ何等ノ誤ガナクテ行クコトガ出來マセウシ、一本デヤッテモ天下ノ人ガ凡ソ此邊ニ行クト米ガ買ハレル、

此邊ニ行ケバ米ヲ賣ラナケレバナラヌト云フコトガ分リマスカラ、是ハ目的デハアリマセスガ、或ハ是ハ副産物トシテ、投機師ニ依ッテ屢、米ガ暴騰暴落ヲスルナド、云フコトモ、之ニ依ッテ餘程掣肘ガ出來ルダラウ、サウ云フ利益モ亦添ヘ得ラレルヂヤナイカト思ヒマス

○東郷委員

只今ノ御答辯デハ、私ハ

マダスツカリ諒解致シマセス、併シ是ハ後デ外ノ生産費、家計費ト關聯シテ御伺シ、又率勢米價其モノガ、マダ私共ニハハッキリ分ラナイノデスカラ、是ハ過日來質問ヲ保留シテアル次第モアルノデアリマスカラ、適當ナ機會ニ、適當ナ説明ヲ得タ上デ更ニ御尋ヲスルコトニ致シマス、拓務大臣ガ御急キダト云フコトデアリマスカラ、拓務大臣ヲ主トシテノ御尋ニ移リタイト思ヒマス、今回ノ米穀法ノ御改正、此中ニハ直接拓務大臣ノ御所管ニナッテ居ル各植民地ト直接ナ關係ハ何モナイノデアリマスガ、併ナガラ吾々ガ此處デ論議スルノハ、單ニ今御提案ニナッテ居ル二ツノ法案ノミヲ論ズルノデハナイ、我國ノ重要ナ國策デアアル所ノ食糧ノ問題、特ニ米穀ノ問題ニ付テ根本的ニ一ツ攻究シテ行キタイ、是ガ趣旨デアアルノデスカラ、隨テ此重要法案ヲ審議シテ行クノニハ、ドウシテモ拓務大臣ニ色

色ナ點ニ付テ御伺ヲシナケレバナラヌノデアリマスカラ、其意味デ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ私ハハッキリ致シテ置キマスガ、能ク米ノ問題デハ、人ニ依ッテ色々ナ議論ガアリマス、先般——今朝デシタカ農林大臣モ米穀調查會等ニ於テ東郷君デナカタカモ知レヌガ、農會代表者ノ人達ハ、朝鮮米ナドノ制限ニ付テ可ナリ強イ御意見ガアッタト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、ソレハ其通りデアリマス、私ハサウ云フ強イ意見ヲ有ッテ居ッタ一人デアアルカモ知レマセヌガ、此際ハハッキリ致シテ置キマス、私ハ何モ内地ノ農民ノ味方ヲスルモノデハアリマセヌ、或ハ臺灣朝鮮ノ農民ニ味方ヲスル者デモアリマセヌ、極メテ公平ナ國家的ノ大局ノ上ニ立ッテ論ジテ行クノデアリマスカラ、其意味デドウゾ御答辯ヲ御願ヒ致シテ置キマス、ソコデ米穀調查會デモ特ニ朝鮮ノ米ノ内地移入、比較的安イ生産費ニ依ッテ、生産サレタ朝鮮米ガ、安イ價格ヲ以テ内地ニ殺到スルノデ、ソレガ内地ノ市場ニ於ケル米價ヲ壓迫スル、故ニ之ヲ何トカシナケレバナラス、斯ウ云フノガ非常ニ重大ナ問題ノ一ツニナッテ居ル、小委員會等ニ於テ可ナリ是ハ強イ意見ガ出タサウデアリマスガ、併ナガラ其小委員會デ強イ意見ガ出タ時分ニ、政府ノ御註

文ニ依ッテ此問題ハ臺灣、朝鮮統治ニ深イ關係ガアルカラ、何トカスルカラ暫ク待ッテ欲シイト云フヤウナ御註文ガアリ、サウシテ然ラバ特別委員會開會中ニ朝鮮總督ガ責任ヲ以テ吾々ノ満足スルヤウナ程度ノ聲明ヲシテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナ條件デ特別委員會ニ移リ、特別委員會ニ松田拓相ガ來テ御説明ニナッタ、其結果ガ諮問第一號ニ對スル答申案ノ中ノ第三ヲ「内地ニ移出スル朝鮮米ノ數量ヲ月別平均的ニ調節スル爲メ速ニ朝鮮總督府ニ於テ適當ナル方策ヲ樹立スベシ」斯ウ云フコトデアリ、其説明ニモ「近時激増ヲ見ルニ至レル朝鮮米ノ内地移入ハ出來秋ニ一時ニ殺到スルガ爲メ米價ノ低落ヲ來シ、内地米ヲ壓迫スルコト大ナリ、ノミナラズ朝鮮米ニ對シテモ惡影響ヲ與フルコト尠カラズ、其移入ヲ調節スルハ單ニ内地ノミナラズ、朝鮮ニ對シテモ利益ナリ、仍テ内地ニ移出スル朝鮮米ノ數量ヲ月別平均的ニ調節スル爲メ速ニ朝鮮總督府ニ於テ適當ナル方策ヲ樹立スベキモノトス」、斯ウ云フ理由説明ガ付イテ居ルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、ソコデ私ハ此趣旨デ以テ拓務大臣ニ御伺ヒシテ行キタイノデアリマスガ、詰リ朝鮮カラ内地ニ來ル數量ヲ月別平均ニ調節スル爲メ朝鮮總督府ガ適切ナ方策ヲヤル、而シテソレハ

調査會ニ於テモ拓務大臣ガサウスルカラト言明デアリマス、就テハ此施設ニ對シテドウ云フ御計畫ガ出來テ居ルカ、ソレヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ私ハ御便宜ノ爲ニ分リ易イヤウニ御尋ネ致シテ置キマスガ、最近内地朝鮮ガ非常ニ豐作ノ爲ニ、特ニ朝鮮ガ非常ニ豐作ノ爲ニ、特ニ今年ノ豐作ニ對スル應急策トシテヤラレタ事モアリマセウガ、ソレハ切離シテ置イテ、説明ハ御願ヒシマセヌ、當時的ノ月別平均移出ニ關スル調節ノ施設、之ヲ極ク分リ易イヤウニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○松田國務大臣 米穀調查會ニ於テ答申ヲ、東郷君ガ今申シマシタヤウニ、私ニ答辯ヲ求メラレタノデアリマスガ、其當時私モ米穀調查會ノ小委員會デアリマシタカ出マシテ、朝鮮總督府ニ於テ適當ナ方法ヲ樹テルト云フ事ハ申シテ置キマシタ、ソレハドウ云フ事ヲシタカト申シマシレバ、昨年から五年間デ農業倉庫商業倉庫ニ於キマシテ約百萬石ノ朝鮮米ヲ調節スル、ソレカラ第二計畫トシテ百五十萬石ノ調節ヲスル、サウ云フ計畫ヲ樹テマシテ、第一計畫ハ帝國議會ニ提出シマシテ、豫算ヲ取ッテ今進行中デアリマス、是ガマダ完成シナイカラ總月別的ノ平均ハ今ハ見マセヌケレドモ、斯ウ云フ計畫ガ

完成シマスレバ、月別平均ノ事モ出來得ルコト、考ヘテ居リマス、其第一計畫第二計畫ノ二ツノ計畫ヲヤツテ居リマス

○東郷委員 ソレハ玄米デゴザイマスカ、粉デゴザイマスカ

○松田國務大臣 玄米デアリマス

○東郷委員 第一計畫百萬石、ソレガ昭和五年カラ將來五ヶ年間デ完成スル斯ウ云フ譯デスネ

○松田國務大臣 サウデス

○東郷委員 ソレカラ第二計畫ガ百五十萬石、是ハ何時カラ何時迄デゴザイマスカ

○松田國務大臣 第一期ガ濟ンダ後十ヶ年、即チ昭和十年カラ十ヶ年デス

○東郷委員 サウシマスト昨年カラ丁度約十五年後マデ掛ッテ總計二百五十萬石ノ玄米ヲ貯藏スル倉庫ガ出來ル、ソレニ依ッテ内地ニ來ル米、特ニ出來秋ノ殺到ヲ調節スル、斯ウ云フ御計畫ト拜承致シマス、是レ以外ニハ無イトナルト、私拓務大臣ニ御伺ヒシテ見ナケレバナリマセスガ——度々米穀調査會ノ事ヲ引出シテ恐縮デスケレドモ、先程申シタヤウニ、内地ノ米ヲ特ニ出來秋ニ叩クノハ朝鮮米デアルカラ、之ヲドウシテモ移入ヲ制限スルトカ何トカ云ッタコトヲシナケレバナラヌト云フ強イ意見ガ小委員會ニ於テ出テ、ソコ

デ先程申シタヤウニソレデハ色々困ルカラト云フ御注意ニ依ッテ、小委員會ハ決定ヲ見ルニ至ラナカッタ、特別委員會ニ於テ其御聲明ガアッタ、而モ其御聲明ハ、最初ニ松村殖産局長ガ總督ノ名ニ依ッテ御出席ニナッテ御聲明ニナリマシタ、私共ソレヲ拜承シテ居ルト、丁度今拓務大臣ガ御説明ニナッタヤウニ、農業倉庫ヲ造ッテ一時ソレニ貯藏ヲシテ、月別平均デ行クヤウナ遣リ方ヲスル、是程詳シイ計畫デハナカッタガ、大體此趣旨デヤツテ行クノダト云フ御説明デアッタ、ソコデ吾々委員ハ、サウ

云ッタヤウナコトデ、内地ヘ來ルモノヲ調節スルコトハ出來ナイダラウト云フヤウナ不安ノ念ガアッタ爲ニ、ドナタガ質問サレタカ、今日スッカリ名ハ記憶致シマセスガ、色々ノ委員ノ方ガ、ソレデ吾々ノ要求スルヤウナ調節ガ出來マスカト云フ質問ヲシタ、之ニ對シテ總督府ノ名ニ依ッテ説明サレタ松村殖産局長ハ、是デ確ニ出來マスト云フ御答辯デアッタ、ソコデ私モ非常ナ懸念ガアリマシタカラ、質問ヲ致シマシタ、自分モ長イ間植民地ニ居ッテ經驗カラ言ッテモ、内地ト違ッテ植民地デハ色々ナ意味ニ於テ吾々ノ施設ヲ遂行スル上ニ都合ノ好イコトモアルガ、只今御話ノヤウナ、アノ位ノ程度ノ農業倉庫ナリ、一般倉庫ノ設備ダケデハ、到

底吾々ノ満足スルヤウナ調節ハ出來ヌト思フガ、ソレデモ尙ホ總督ノ名ニ依ッテ出來ルト仰シヤルノハ、何カ他ニ出來ルヤウナ特殊ナ理由ガアリマスカ、アルナラバソレヲ伺ハナケレバ吾

吾ハ安心出來ナイト言ッたら、村松局長ハ確ニ出來マスト御聲明ニナッタ、ソコデ吾々ハ甚ダ不滿ナルコトデアルト思ッテ居ルト、其後或ル機會ニ於テ拓務大臣自ラ御出席ニナッテ、改メテ特別委員會ニ御話ガアッタ、要點ヲ申上ゲレバ、拓務大臣ノ其時ノ御話ハ、朝鮮總督府ニ於テ責任ヲ以テアナタ方ノ満足スルヤウナ施設ヲシテ行クカラト云フコトデアッタ、ソレニ對シテ亡ナレタ三輪委員ガ、ソレデハドウ云フ方策ガアルカ聽キタイ、斯ウ云フ意味ノ質問ヲサレルト、拓務大臣ハ、ドウモソレハ言ヘナイ、サウ云フコトヲ此處デ言フ、朝鮮統治ノ上ニモ非常ニ機微ナ影響ガアルカラ、ソレハ言ヘナイト云フ御話デアッタ、スルト三輪君カラ、此特別委員會デソレガ言ヘヌト云フノハ不都合ダ、ソレナラバ方策ガナイノデセウ、ナイモノナラバ御話ハ出來ヌ答ハナガ、アルナラバ話スコトガ出來ヌ答ハナイト云フ質問ガアルト、拓務大臣ハ遂ニ方策ガナイト云ッタヤウナ御話ヲナサッタ、ソレデ私非常ナ疑問ヲ抱イタ、ソコデ私モ立ッテ拓務大臣ニ質問シタ、

ソレハワカシイ、此間松村局長ガ總督ノ名ニ依ッテ此特別委員會ニ於テ責任ヲ以テ聲明ナサレタ所デハ、農業倉庫ノ施設ニ依ッテオ前達ノ希望スルヤウニ立派ニ調節ヲシテヤルノダト言ハレタガ、ソレハ間違ヒダッタノカ、ドウ云フノダ、斯ウ言フト拓務大臣ハ、私ガ拓務大臣トシテ總理大臣ナリ其他關係ノ大臣トモ相談ヲシテ此處ニ言フノダカラ、ソレハ間違ヒアリマセヌ、ソレデハワカシイデハナイカ、松村サンガ嘘ヲ言ッタノデアルカ、嘘ヲ言ッタノデハナイケレドモ、私ガ責任ヲ以テ言フノダカラ私ヲ信ジテ貰ハナケレバナラヌト話デアアル、是ハ私申上ゲタクハナイケレドモ、今ノ御答辯ヲ聽イテ言ハナケレバナラヌ、サウスルト拓務大臣ハ、自分ガ責任ヲ以テ言フノダカラ、松村局長ノ言ッタコトハマア本當ノ責任アルモノデハナイト云フヤウナ御話デアアル、所ガ今御伺スルト、何ゾ圖ラン、吾々特別委員會ノ希望スルヤウナ朝鮮米ノ移入ニ對スル、所謂月別平均ニ調節スルト言ッタヤウナ、此重大問題ノ對策トシテハ、松村局長ガ言ハレタコト、チットモ變ッテ居ナイ、私ニハ是デ

吾々ガ期待スルヤウナ調節ガ出來ルノダカ、非常ナ疑念ヲ有タザルヲ得ナイガ、拓務大臣ハアノ當時ニ顧ミテ、此計畫ヲ以テ、重キヲ置イタ特別委員會

ノ期待ニ副フヤウナ立派ナ成績ヲ御舉
ゲ下サルコトガ出來マス、其御信念
ガアルカドウカ、其點ヲハッキリ致シ
テ置キタイト思ヒマス

○松田國務大臣

アノ當時ハ農業倉庫、
商業倉庫ニ依ッテ調節スルト云フコト
ガ、マダ完全ニ成立ッテ居ラナカッタノ
デアリマス、ソレデ松村殖産局長ノ言
フコトニ付テ確定シテ居ラナイカラ、
私ハ其事ヲ申サナカッタデアリマス、
其後ニ研究シマシタ結果、農業倉庫ト
商業倉庫ニ依ッテ、第一期計畫ガ百萬
石、第二期計畫ガ百五十萬石、斯ウ云
フコトデ調節ヲシヨウ、是モサウ完全
デアリマセヌ、ソレハ財政上ノ點モ
アリマシテ、サウ完全ナコトヲ直ニヤ
ル譯ニモ參リマセヌデ、月別のニ之ガ
完全ニ平均スルト云フコトモ出來マセ
ヌケレドモ、出來秋ニ殺到スルコトハ
稍、調節スルコトガ出來ルデアリマシ
テ、十一月カラ三月マデニ殺到スルノ
ガ多イデアリマスカラ、其時分ハ稍、
之ヲ調節スルコトガ出來ルト云フコト
デ、先ヅ第一期計畫ハ百萬石、二期計
畫ガ百五十萬石ト、斯ウ云フ計畫ヲ樹
テタノデアリマシテ、十分満足スルヤ
ウナコトハ、財政ノ關係モアッテ出來
マセヌケレドモ、之ヲスレバ出來秋ニ
殺到スルダケノハ調節ガ出來ルト云フ
ヤウナ考ヘデ、第一計畫ト第二計畫ヲ

樹テタ次第デアリマス

○東郷委員

吾々ハ松村局長ガ、アノ
時説明サレタノト同趣旨ノ此計畫ガ、
満足ナ、吾々ノ希望ニ副フヤウナ成績
ヲ舉ゲ得ルトハ、ドウシテモ考ヘラレ
ナイノデアリマス、即チ一寸考ヘテモ、
最初ノ五年間ニ百萬石ノ能力ノアル倉
庫ヲ造ルト云フカラ、今後五年ノ後ニ
行ッテ初メテ百萬石シカ收容ガ出來ナ
イ、ソレガ更ニ其後第二次計畫ニナッ
テ、十年掛ッテ百五十萬石ノ收容力ヲ
持ッテ居ル倉庫ガ出來ルカラ、今後十五
年後ニ至ッテ二百五十萬石ノ收容ガ出
來ル、是ダケデハ中々私ハ目的ヲ達シ
得ナイト思フノデス、尙ホ財政ノ都合
デ、サウ急ニハ行カヌト仰シヤッタ、ソ
レハ、其通り、所ガ何シロ今日モウ急ニ
迫ッテ居ル、是カラ段々朝鮮米ガ内地米
ヲ壓迫スルカラ、今カラ其準備デ斯ウ
ヤッテ、サウシテソレヲ調節スルト云フ
豫備的ナル、其増加ニ伴フ所ノ計畫デ
アレバ是デ宜イ、所ガモウ現在困ッテ居
ル、其困ッテ居ルノヲ月別ニ調節スルト
云フ總督ノ責任アル言明ニ對シテ、斯
ウ云フヤウナ非常ナ姑息ナ計畫デ、私
共ハ到底目的ヲ達スルモノデナイト信
ズルノデアリマス、デスカラ是ハ是デ
目的ヲ達スルト仰シヤレバ、ソレデ宜
イカモ知レマセヌガ、事實ガ明瞭ニ證
明致シマセウカラ、將來ノ成績ニ待ツヨ

リ仕樣ガナイ、併シ私ハ本當ニ拓務大

臣ガ内地朝鮮ヲ通ジタ此食糧政策ニ對

シテ、根本的ノ御考ヲ持ッテ御考ヘニ

ナルナラバ、モット適切ナル施設ガアリ

得ナクチャナラヌト思フノデアリマ

ス、其意味ニ於テ私ハ、是デハ満足ノ

出來ナイ御計畫デアルト言ハザルヲ得

マセヌ、併シ是ハ意見ニナリマスカラ

是レ以上申上ゲマセヌ、ソコデ私ハ、

本年特ニ豐作デアッタ、斯ウ云フ事ニ對

シテ、特ニ此内地移入ノ殺到ヲ調節ス

ル爲ニドウ云フ御施設ヲ爲スツカ、ソ

レモ極ク簡單デ宜ウゴザイマスガ、大

體ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松田國務大臣

是ハ低利資金ヲバ借
リマシテ、其總額ガ千八百五十萬圓、
サウシテ是ハ概三百萬石ヲ調節スル計
畫ヲ立テタノデアリマス、モウ少シヤ
リタイト思ヒマシタケレドモ、低利資
金モサウ澤山借リラレマセヌデ、千八
百五十萬圓ノ低利資金ヲ融通致シマシ
テ、概三百萬石ノ調節ヲ致スト云フコ
トヲ計畫シテ實行シツ、アリマス、而
シテ先程ノハ、東郷君ハ満足致シマセ
ヌデセウガ、財政上ノ關係モアリマス
ルシ、又平年トシテ出來秋ニ百萬石
ノ調節ガ出來レバ稍、其目的ヲ達スル
コトモ出來マセウシ、豐年ノ時ニ、今
ノ臨時ノ施設等ヲシマシテ、斯ウ云フ
コトヲ相對シテ調査研究シマシテ、又

新シイ計畫等モ作リタイト、折角今調

査致シテ居リマスカラ、其點ハ特ニ御

諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○東郷委員

臨時的ニ概三百萬石、所
謂玄米百五十萬石ヲ貯藏スル御施設ヲ
爲スツカ、サウシマストソレガ完全ニ行
ハレ、バソレト、ソレカラ當時的ニ御
計畫ニナッテ居ル最初ノ計畫、五箇年デ
百萬石ヲ御計畫ニナッテ居リマスガ、其
百萬石御計畫ノ第一次計畫ノ出來上ッ
テ居ル倉庫收容力ハ幾ラアリマスカ、
ソレハ分ッテ居リマスカ
○殖田政府委員 私カラ御説明申上ゲ
マスガ、當時ノ對策ヲ今昭和五年度カ
ラ始メマシテ、今六年ハ第二年ニ將ニ
入ラウトスル所デアリマスガ、今マデ
出來テ居リマスノハマダ非常ニ僅カデ
アリマシテ、當リ前ノ手續ヲ進行シテ
居リマスレバ、殆ド御話ニナラヌ程度
デアッタノデアリマス、最初ノ豫定ハ此
五年度ニ於キマシテ二十五萬石ヲ收容
スル倉庫ヲ建テルト云フニ止マッテ居ッ
タノデアリマスガ、今年ノ大豐作ニ際
シマシテ、ソレデハ迫モ十分ナ效果ヲ
舉ゲルコトガ出來マセヌノデ、急遽此
既設ノ倉庫竝ニ既定ノ計畫ヲ變更致シ
マシテ、サウシテ此應急對策ヲ立テマ
シタ次第デアリマス、ソレニ依リマス
ト、今マデ出來上ッテ居リマシタモノ
ガ、甲種倉庫ニ於キマシテ——是ハ御

承知ノ農業倉庫ノ方デアリマスガ、甲
種倉庫ニ於キマシテ五百坪デアリマ
ス、ソレニ對シマシテ更ニ今度ハ新ニ
三千六百坪ヲ殖ヤシマシタ、ソレカラ
其出來上リマシタ倉庫ニ對シマシテ下
屋ヲ付ケマシテ、是ハホンノ「バラック」
デアリマスガ是亦七百二十坪ヲ殖ヤシ
マシタ、ソレカラ農會ニ於キマシテ臨
時ニ約七千坪借庫サセマシテ、サウシ
テ合計幾ラニナリマスカ、一萬千八百
坪バカリヲ農業倉庫ニ充テマシタノデ
アリマス、更ニ乙種倉庫ト申シマスル
マスカ

デゴザイマス

○東郷委員 今ノ御説明ハ、私ハ一寸
分リ兼ネマスガ、此當時計畫ヲ應急計
畫ニ變ヘタノダト仰シヤイマス、ド
ウ云フコトニナリマセウ、全然計畫ガ
變タ譯デゴザイマスカ、先程來應急的
ニハ千八百五十萬圓ノ低利資金ヲ融通
シテ、粗三百萬石ノ貯藏ヲスル、斯ウ
云フ御話デシタガ、ソレトハ別ニ、粗
ニ換算シテ百四十四萬石デシタカ、ソ
レヲ收容スルモノガ出來タノデゴザイ
マスカ

○殖田政府委員 大變説明ガ混雜致シ
マシテ申譯ガアリマセスガ、大體此年度
カテ始メマシタ當時計畫ヲ、急ニ應急
對策ニ襲用致シマシタ爲ニ、計畫自體
ガ實ハ大分混雜ヲ致シテ居ルノデアリ
マス、御分リニクカッタカト思ヒマス
ガ、初メノ計畫ニ依リマスレバ、當時
對策デハ玄米ヲ二十五萬石收容出來ル
程度ノ倉庫ガ出來ル豫定デアッタノデ
アリマス、ソレヲ利用致シマシテ、且ツ
擴張致シマシテ、應急對策ト致シマシ
タノデ、粗ト致シマシテ、百四十四萬
四千石ヲ貯藏スルコトニナリ、之ヲ玄
米ト致シマスレバ、七十二萬二千何百
石トナリマスノデ、約五十萬石ノカラ
臨時ニ殖ヤシタコトニナッタ譯デアリ
マス

○東郷委員 ハッキリシテ置キタイト
思ヒマスカラ伺ヒマスガ、當時計畫デ
ハ二十五萬石ノ倉庫ガ出來テ居ル、其
他ニ低利資金ヲ融通シテ俄カニ殖ヤシ
テ、其他ニ粗デ百四十四萬四千石收容
スル倉庫ガ出來タ、斯ウ云フ譯デスネ、
ソコデ玄米ニスレバ、當時的ノ二十五
萬石ト、其他ニ應急的ニ出來タ七十何
萬石トガ貯藏ガ出來ル、斯ク解釋シテ
宜シウゴザイマスカ

○殖田政府委員 ソレデ實ハ當時的計
畫ト應急的計畫ガ同時ニ始マリマシタ
ノデアリマスカラ、計畫自體ガ多少混
雜致シテ居ルノデアリマス、ソレデ其
當時對策ニ依リマスル倉庫ト申シマシ
テモ、マダ建設濟ミデハナカッタノデア
リマス、ソレヲ臨時對策ニ利用致シマ
シタ爲ニ、例ヘバ初メノ計畫ニ依リマ
スレバ倉庫ガ一箇所二百五十坪ノ甲種
倉庫ヲ建テルト云フ豫定デアリマシタ
ノデ、多少單價ヲ引下ゲマシテ、其坪
數ヲ殖ヤシマシテ、一箇所三百六十坪
ニスル、或ハ其倉庫ニ持テ行ッテ下屋ヲ
繼足ス、或ハ又臨時ニ借庫ヲスル、斯
ウ云フコトヲヤッタノデアリマス、更ニ
又乙種倉庫ニ致シマシテモ、最初ノ計
畫ニ依リマスレバ、借庫ガ二千五百坪、
ソレカラ新ニ建テマシタリ、或ハ買収
致シマス倉庫ガ千坪ノ豫定デアッタ
ノデアリマスガ、ソレヲ借庫ハ其儘ト
致シマシテ、新設又ハ買収スル方ノ分

ハ之ヲ千五百六十坪ニ殖ヤシマシタ、
ソレニ下屋ヲ繼足シマシテ、三百二十
二坪殖ヤシ、其外ニ又全然新ニ三千八
百六十坪ヲ借入レマシタ、斯ウ云フヤ
ウナコトニナッタ居リマシテ、其間多少
計畫ガ混雜致シテ居リマス、併シ大體
ニ於キマシテハ只今東郷サンノ御話ノ
如キ筋合ニナルト思ヒマス

○東郷委員 ハッキリシテ置キタイト
思ヒマスカラ、更ニ私申上ゲマスガ、
色々應急ノ御計畫デ變タコトハ御話
デ分リマスガ、併シ總督府ガ自ラ總督
府ノ豫算ヲ以テオヤリニナル當時計畫
ト、ソレカラ低利資金ノ融通ヲ受ケラ
レテ應急的ニヤラレルモノトハ、是ハ
會計法ノ上カラ言ッテモ、全然別ナモノ
デハナイカト思ヒマス、ソレガゴタ混ゼ
ニナッタ居ルノデゴザイマスガ、ソレガ
ハッキリ分リマセスカ

○殖田政府委員 當時對策ノ方ハ、國
庫ガ豫算ヲ出シマシテ、ソレニ依ッテ實
行致シタノデアリマスガ、應急對策ニ
當リマス分ハ、其豫算ノ範圍デ出來マ
シタ分ダケハ、其豫算デ賄ヒマスガ、然
ラザル分ハ、別段資金ヲ出シテ居ラス
ノデアリマス、低利資金デ融通ハ致シ
マスガ、其倉庫計畫其モノニハ何等國
庫ガ金ヲ出シテ居ル譯デハナイノデア
リマス、詰リ金ヲ出サズニ、出來ルダ
ケノコトヲシタ譯ナノデアリマス、ソ

○東郷委員 當時對策ノ方ハ、國
庫ガ豫算ヲ出シマシテ、ソレニ依ッテ實
行致シタノデアリマスガ、應急對策ニ
當リマス分ハ、其豫算ノ範圍デ出來マ
シタ分ダケハ、其豫算デ賄ヒマスガ、然
ラザル分ハ、別段資金ヲ出シテ居ラス
ノデアリマス、低利資金デ融通ハ致シ
マスガ、其倉庫計畫其モノニハ何等國
庫ガ金ヲ出シテ居ル譯デハナイノデア
リマス、詰リ金ヲ出サズニ、出來ルダ
ケノコトヲシタ譯ナノデアリマス、ソ

○殖田政府委員 當時對策ノ方ハ、國
庫ガ豫算ヲ出シマシテ、ソレニ依ッテ實
行致シタノデアリマスガ、應急對策ニ
當リマス分ハ、其豫算ノ範圍デ出來マ
シタ分ダケハ、其豫算デ賄ヒマスガ、然
ラザル分ハ、別段資金ヲ出シテ居ラス
ノデアリマス、低利資金デ融通ハ致シ
マスガ、其倉庫計畫其モノニハ何等國
庫ガ金ヲ出シテ居ル譯デハナイノデア
リマス、詰リ金ヲ出サズニ、出來ルダ
ケノコトヲシタ譯ナノデアリマス、ソ

對策ヲ應急對策ニ利用致シマシタ經過
○東郷委員 ハッキリシテ置キタイト
思ヒマスカラ伺ヒマスガ、當時計畫デ
ハ二十五萬石ノ倉庫ガ出來テ居ル、其
他ニ低利資金ヲ融通シテ俄カニ殖ヤシ
テ、其他ニ粗デ百四十四萬四千石收容
スル倉庫ガ出來タ、斯ウ云フ譯デスネ、
ソコデ玄米ニスレバ、當時的ノ二十五
萬石ト、其他ニ應急的ニ出來タ七十何
萬石トガ貯藏ガ出來ル、斯ク解釋シテ
宜シウゴザイマスカ

○殖田政府委員 ソレデ實ハ當時的計
畫ト應急的計畫ガ同時ニ始マリマシタ
ノデアリマスカラ、計畫自體ガ多少混
雜致シテ居ルノデアリマス、ソレデ其
當時對策ニ依リマスル倉庫ト申シマシ
テモ、マダ建設濟ミデハナカッタノデア
リマス、ソレヲ臨時對策ニ利用致シマ
シタ爲ニ、例ヘバ初メノ計畫ニ依リマ
スレバ倉庫ガ一箇所二百五十坪ノ甲種
倉庫ヲ建テルト云フ豫定デアリマシタ
ノデ、多少單價ヲ引下ゲマシテ、其坪
數ヲ殖ヤシマシテ、一箇所三百六十坪
ニスル、或ハ其倉庫ニ持テ行ッテ下屋ヲ
繼足ス、或ハ又臨時ニ借庫ヲスル、斯
ウ云フコトヲヤッタノデアリマス、更ニ
又乙種倉庫ニ致シマシテモ、最初ノ計
畫ニ依リマスレバ、借庫ガ二千五百坪、
ソレカラ新ニ建テマシタリ、或ハ買収
致シマス倉庫ガ千坪ノ豫定デアッタ
ノデアリマスガ、ソレヲ借庫ハ其儘ト
致シマシテ、新設又ハ買収スル方ノ分

○東郷委員 ハッキリシテ置キタイト
思ヒマスカラ、更ニ私申上ゲマスガ、
色々應急ノ御計畫デ變タコトハ御話
デ分リマスガ、併シ總督府ガ自ラ總督
府ノ豫算ヲ以テオヤリニナル當時計畫
ト、ソレカラ低利資金ノ融通ヲ受ケラ
レテ應急的ニヤラレルモノトハ、是ハ
會計法ノ上カラ言ッテモ、全然別ナモノ
デハナイカト思ヒマス、ソレガゴタ混ゼ
ニナッタ居ルノデゴザイマスガ、ソレガ
ハッキリ分リマセスカ

○殖田政府委員 當時對策ノ方ハ、國
庫ガ豫算ヲ出シマシテ、ソレニ依ッテ實
行致シタノデアリマスガ、應急對策ニ
當リマス分ハ、其豫算ノ範圍デ出來マ
シタ分ダケハ、其豫算デ賄ヒマスガ、然
ラザル分ハ、別段資金ヲ出シテ居ラス
ノデアリマス、低利資金デ融通ハ致シ
マスガ、其倉庫計畫其モノニハ何等國
庫ガ金ヲ出シテ居ル譯デハナイノデア
リマス、詰リ金ヲ出サズニ、出來ルダ
ケノコトヲシタ譯ナノデアリマス、ソ

○東郷委員 當時對策ノ方ハ、國
庫ガ豫算ヲ出シマシテ、ソレニ依ッテ實
行致シタノデアリマスガ、應急對策ニ
當リマス分ハ、其豫算ノ範圍デ出來マ
シタ分ダケハ、其豫算デ賄ヒマスガ、然
ラザル分ハ、別段資金ヲ出シテ居ラス
ノデアリマス、低利資金デ融通ハ致シ
マスガ、其倉庫計畫其モノニハ何等國
庫ガ金ヲ出シテ居ル譯デハナイノデア
リマス、詰リ金ヲ出サズニ、出來ルダ
ケノコトヲシタ譯ナノデアリマス、ソ

レガ臨時借庫ニナリマシタリ、或ハ其建築費ノ單價ヲ切下ゲマシタル所以デアリマス

○東郷委員 ソレデハ最後ニハッキリ確メテ置キタイト思ヒマスカラ、ソレ等ノ今御話ニナッタヤウナモノヲ全部引括メテ、現在ノ倉庫能力、貯藏能力ガ何十萬石デアリマスカ、ソレヲ承リタイ、先程來七十二萬石トカ二十五萬石、是ガ併セテ幾ラト云フコトヲハッキリ數字ヲ仰シヤツテ戴キタイ

○殖田政府委員 ソレハ今マデ申上ゲマシタノハ、此當時對策ヲ應急對策ニ利用致シマシテ、兩者合セテノ御話ヲ申上ゲマシタノデアリマスカ、應急對策ハ此處ニマダゴザイマス、ソレハ只今申上ゲマシタノハ、當時對策ヲ利用シタル應急對策デアリマシテ、此外ニマダ金融組合デゴザイマストカ、或ハ水利組合等ヲ利用致シマシテ、新ニ倉庫ヲ設ケシメマシタリ、或ハ御承知ノ如ク朝鮮ニハ倉庫ガ不自由デアリマスコデ、特ニ野積ト致シマシテ、サウシテ兎ニ角全部ニ互リマシテ、三百十萬六千石ノ粗ヲ貯藏スルト云フ準備ヲ致シタノデアリマス、總計三百十萬六千石ノ粗ニ對シマシテ、低利資金ヲ、詰リ時價ノ八掛ト致シマシテ、千八百六十三萬八千圓ノ低利資金ノ融通ヲ受ケタ、是ガ詰リ全體トシテノ應急對策デゴ

ザイマス、ソレデ倉庫ダケト致シマスレバ、只今申上ゲマシタ外ニハ、金融組合ノ倉庫ガ約六千坪、其外ハ水利組合、地主組合、或ハ產業組合等ガ適宜合、民間ノ倉庫——不完全ナモノデアリマセウガ、少レ等ヲ出來ルダケ集メマシテ借入レマシテ、ソレニ積マセル、或ハ倉庫ヲ、ソレ等ノ組合デ借リマセ

スモノハ倉庫ニ預ケサセマシテ、サウシテ保管證ニ依ツテ、ソレニ更ニ保證人ヲ加ヘマシテ、サウシテ兎ニ角ソレニ對シテ低利資金ヲ融通スル、或ハ其倉庫ノアリマセヌモノハ、已ムヲ得ズ只今申上ゲマシタヤウニ野積ニ致シマス、先程申シマシタ當時對策、ソレカラ金融組合ノ取扱ノ倉庫、或ハ水利組合等ノ倉庫ト云フヤウナモノハ、大體只今申上ゲマシタヤウニ三萬坪モアル

アリマセヌ、兎ニ角何デモ彼デモ三百十萬石ダケハヤル、斯ウ云フ決心ヲ以テヤリマシタモノデ、倉庫ノ坪數等ガ明瞭ニナリマシタ分ハ、先程申上ゲマシタ分デアリマス、後ノ分ハ實ハ明瞭デアリマセヌ

○東郷委員 諄イヤウデスケレドモ、是ハ非常ニ私共カラ見ルト大切ナ問題デスカラ、次カラ次ト政府委員ノ御説明ガ殖エテ行クノデ、非常ニ恐縮デスガ、ドウモ頭ガ惡イ爲ニハッキリシナイ

ノカ知レマセヌガ、ソレデハ斯ウ云フコトヲ一ツハッキリ言ツテ下サイ、倉庫デナクテモドウデモ宜イ、要スルニ政府ガ内地ニ出ル米ヲ調節スル爲ニ、或ル期間貯藏サセルト云フ御計畫デア

ルデスカラ、其御計畫デ、全部デドレダケノ石數ニナルカト云フコトデゴザイマス、ソレヲハッキリ承リタイト思フ、ソレカラモウ一ツ私御願致シマスガ、是非此當時のナ第一次計畫、第二次計畫ノ内容ヲ、表デ以テ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ應急ニ千八百五十萬圓ノ低利資金ヲ融通シテ、

粗三百萬石ヲ貯藏サレルト云フコトノ御計畫デアリマスカラ、其御計畫ノ内容、ソレカラ實際ドウ云フ風ニ實現シテ、現在斯ウ云フ能力ヲ發揮シテ居ルト云フコトノ、ハッキリ分ルヤウナ表ヲ作ツテ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、ソレガ出來ルマデ、私ハ頭ガ惡イノデ御説明ダケデハシツカリ分リマセヌカラ、此問題ハ質問ヲ保留シテ置キマス

○殖田政府委員 只今東郷サンノ御話ハ、實ハ御手許ニ差上ゲマシタ朝鮮ニ於ケル米穀倉庫竝ニ米穀問題應急對策ニアルノデゴザイマス、之ニ書イテアル積リデアリマス、急ニ斯ウ云フ仕事ヲ始メマシタモノデスカラ、當時對策ト、應急對策トガコンガラガッテ居リマ

ス、其邊ハドウゾ惡シカラズ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ只今御話ノ、效果ニ付テ一寸申上ゲマスカ、應急對策ハ、先程申上ゲマシタル如ク粗三百十萬石ヲ豫定致シマシテ、之ニ對シテ時價ノ八掛ノ低利資金ヲ融通シテ、大體十一月カラ二月末マデハ、成

ルベク内地ヘ寄越サナイヤウニスル、ソレカラ後ニ徐々ニ月別平均的ニ内地ヘ移入セシメル、斯ウ云フ積リデヤツテ居ルノデアリマシテ、今日マデノ実績ニ依リマスレバ、最近ノ數字ハマダ手許ニ參ッテ居リマセヌノデ御報告出來

マセヌガ、既ニ此計畫ヲ樹テ、直ニ著手致シタノデアリマスカ、其結果昨年未マデニ於キマシテ、既ニ粗二百萬石ハ貯藏出來テ居ルノデアリマス、ソレデ之ニ對シマシテ資金ノ融通ガ約八百萬圓ダケハ融通サレテ居ルノデアリマス、其後モ著々ハ是ハ進ンデ居ルノデアリマシテ、今日デハ此數字ハ餘程殖エテ居リマセウト存ジマス

○東郷委員 誰カ朝鮮總督府ノ方ノ細カイコトガ分ッテ居ル人ノ御出席ガ願ヘル機會ガアリマセウカ

○殖田政府委員 朝鮮總督府デモ是レ以上細カクハ分リマセヌ

○小坂政府委員 一寸今東郷サンノ御質問ト、殖田君ノ御答ノ間ニ何カ御分リニナラヌコトガアツタカト思ヒマス

ガ、應急對策ト常時對策ノ間ニ色々混
ガラカッタ所ガアルヤウデスガ、是ハ斯
ウ云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイ、常時
對策デハ、二百五十萬坪ノ倉庫ヲ十箇
所ツ、年々造ツテ、十萬石ヅ、米ヲ收容
シテ、五年デ五十萬石、ソレガ農業倉
庫ノ方デアリマス、ソレカラ商業倉庫
ノ方デハ、借入若クハ増築ニ依ッテヤハ
リ五十萬石ヅ、米ヲ收容スル倉庫ヲ造
ル、是ガ、常時對策ノ根本ニナツテ居
マス、百萬石ヲ五年ノ間ニ貯藏スル、
斯ウ云フヤウニナツテ居リマス、其常時
對策ノ分デ、二百五十萬坪ヅ、十箇所デ
二千五百坪デアアルノガ、今年三千六百
坪ニナツタノハ、物價低落ノ爲ニソレダ
ケ殖ヤスコトガ出來ル關係デアリマ
ス、五十萬石ノ豫定ノガ、モット澤山收
容出來レバ、其方ガ結構デアリマスカ
ラ、坪數ヲ殖ヤスコトニシマシタ、其
以外ニ今年收容力ガ殖エタノハ、出來
ルダケノ力ヲ盡シテ、借入倉庫ヲ致シ
タ、斯ウ云フ結果、倉庫ニ收容スル量
ガ非常ニ殖エタ關係ニナツテ居リマス、
常時對策ト應急對策ガ全ク混淆シテシ
マッタト云フ譯デハナイノデアリマス
カラ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス
○東郷委員 ソレデハ一應此參考書ヲ
拜見致シマシテカラ、更ニ若シ疑ガア
レバ御尋スルコトニ致シマス
○殖田政府委員 一寸其前ニ大體此計

畫ノ骨組ダケ申上ゲテ置キタイト思ヒ
マス、「朝鮮ニ於ケル米穀倉庫計畫」ト
申シマスノハ、先程申上ゲマシタ常時
對策ノ方デゴザイマス「米穀問題應急
對策ノ綱要」ト致シマシタ方ガ、本年
ノ應急對策ヲ記シタノデゴザイマス、
サウシテ、常時對策ト致シマシテノ倉
庫計畫ノ概要ヲ申シマスレバ、先程御
話ノアリマシタ通り、第一期ト第二期
ニ分レテ居リマス、第一期ハ五箇年ヲ
以テ完了シ、第二期ハ十箇年ヲ以テ完
了スル、其第一期ト第二期トヲ分チマ
シタノハ、第一期ハ今日ノ米穀生產狀
況ニ於テハ是デ宜カラウ、第二期ヲ立
テマシタノハ、御承知ノヤウニ大正十
五年以來始マツテ居リマスル產米増殖
計畫ガ進行致シマスノデ、ソレニ應ズ
ル爲ニ第二期計畫ヲ必要トスルト云フ
譯ニナツテ居ルノデアリマス、サウ致シ
マシテ、第一期計畫ガ百萬石ノ玄米ヲ
收容スル、ソレカラ第二期計畫ガ百五
十萬石、總計二百五十萬石ト致シマシ
タ根據ハ、先づ最初ノ百萬石ニ付テ申
上ゲマスレバ、最近ノ昭和二年三年四
年ノ三年間ノ平均ヲ取ツテ見マスルノ
ニ、十一月十二月一月二月、此四箇月
間ニ約三百萬石ノ米ガ内地ニ移入サレ
テ居ルノデアリマス、所ガ之ヲ一箇年
ヲ通ジテノ平均ヲ取ツテ見マス、月別
ニシテ五十萬九千石、其四箇月分ヲ集

メマスト二百三萬六千石、ツマリ現實
ニ此四箇月ニ入ッテ來マス數量ハ三百
萬石デアアルニ拘ラズ、平均ニ依リマス
レバ、ソレハ二百萬石デ済ム、其間百
萬石ノ差ガアルデヤナイカ、隨テ此百
萬石ヲ一時倉庫ニ貯藏シテ置キマシ
テ、其後ノ期間ニ分布スレバ平均スル
デハナイカ、斯ウ云フ建前ニナツテ居
ルデアリマス、第二期計畫ニ依リマス
ル百五十萬石ノ方モ、ヤハリ同ジャウ
ナ計算ニ依リマシテ、將來二百五十萬
石ノ玄米ヲ、出來秋ニ於テダケデモ朝
鮮ニ留メテ置カウト云フ考ニ基イテ居
ルノデアリマス、サウシテ此兩期ヲ通
ジテ倉庫ノ種類ヲ二種トシテ、甲種、乙
種トシテ居リマス、甲種倉庫ト申スノ
ハ米穀生產地ニ成ベク多數設ケヨウ、
隨テ比較的小規模ノ倉庫デアツテ、之ヲ
利用スル者ハ多ク農民デアリマス、ソ
レカラ乙種倉庫ト云フノハ生產地デナ
クシシテ、米ノ移出ヲスル場所ニ設置
シヨウ、是ハ比較的大規模ノモノニナ
リマスノデ、農民ガ一旦手離シマシタ
米穀ヲ一時ニ今度商人ガ放賣スルト云
フコトノナイヤウニ、集散地ニ於テ之
ヲ留メテ置カウト云フ爲ニ、倉庫ノ種
類ヲ其目的ニ隨ヒマシテ二種類ニ分ツ
テ居ルノデアリマス、サウシテ第一期
計畫ニ於テハ、甲種倉庫ヲ一萬二千五
百坪、收容力五十萬石ノモノヲ造リ、

乙種倉庫ハ、同ジク一萬二千五百坪デ
收容力五十萬石、總計百萬石、斯ウ云
フ計畫ニシテ居ルノデアリマシテ、第
二期ニ於キマシテハ乙種倉庫ヲ新設致
シマセヌデ、全部甲種倉庫ノミヲ造ル、
サウシテ其坪數ハ三萬七千五百坪、收
容力百五十萬石、斯ウ云フ建前ニナツ
テ居リマス、此兩期ニ於ケル倉庫計畫
對シテハ、國庫ガ大部分ノ負擔ヲスル
ト云フ建前ニナツテ居リマシテ、例ヘバ
甲種倉庫ニ於テハ建設費ノ七割ヲ、乙
種倉庫ニ於テハ建設費ノ六割、或ハ借
上費ノ六割ヲ補助スルコトニナツテ居
リマスノデ、第一期計畫ニ於キマシテ、
國庫ノ負擔スル金額ハ二百七十二萬九
千圓、ソレカラ第二期計畫ニ於キマシ
テ國庫ノ負擔スル金額ガ五百五十三萬
六千圓、總計八百二十六萬五千圓ノ經
費ヲ支出スル考デ居ルノデアリマス、
サウシテ此兩倉庫共ニ、及ビ兩期ノ計
畫共ニ、結局大體時價ノ八掛見當ノ低
利資金ヲ融通シマシテ、之ヲ鮮内ニ喰
止メヨウ、斯ウ云フ計畫ヲ立テマシテ、
先づ第一期計畫分ヲ昭和五年度カラ始
メタノデアリマス、昭和六年度ノ豫算
ニモ、ヤハリ昭和五年度ト同様ニ、約
五十萬圓ノ經費ヲ計上シテ居ルト考ヘ
テ居リマス、然ルニ今年ノ大豐作ニ當
面致シマシタノデ、此計畫ヲ進メルト
共ニ、應急對策ヲ講ジナケレバナラス、

所ガ應急對策ニシテモ、常時對策ニシテモ、詮ズル所倉庫ヲ造ッテ、低利資金ヲ融通スルト云フコトヲ出デナイノデアリマスカラ、隨テ今著手シタバカリノ常時對策ヲ、直ニ應急對策ニ利用シタ、斯ウ云フコトナノデアリマス、サウシテソレハ出來ルダケ利用スルガ、ソレデモ尙ホ且應急對策トシテハ不十分デアル、隨テ今ノ政府ノ考ヘテ居リマス甲種乙種ノ倉庫以外ニ、更ニ金融組合ニモ一臂ノ力ヲ致サセル、其外ニ水利組合ナリ、地主組合ナリ、或ハ產業組合ニモ力ヲ致サセル、斯ウ云フコトニ致シマシテ、兎ニ角昭和五年度ノ此大豐作ニ對シマシテハ、臨時ノ施設ヲスル、其臨時ノ施設ト、常時ノ施設トノ間ガ、自然ソコニ混淆致シマシタ次第デアリマス、臨時ノ方ダケノ分ヲ茲ニ抽出致シマシテ御話スルコトハ非常ニ難シイコトデアリマシテ、ソコデ混淆致シタノデアリマス、ソコデ今度昭和五年度ノ分、是ハ常時對策ト、臨時對策、即チ應急對策ト一緒ニナッテ居ルモノト御考ヲ願ヒタイノデアリマス、サウ致シマシテ、其一緒ニナリマシタモノヲ、假リニ應急對策ト致シマシテ御説明申上ゲタ次第ナノデアリマス、其應急對策ヲ、モウ一遍繰返シテ申上ゲマスレバ、詰リ昭和五年度ニ始メマシタ既定計畫ニ依リマスル計畫ヲ擴張	スル、其外ニ又金融組合ナリ水利組合ナリノ助ケヲ依頼スル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、其擴張致シマス分ガ、先程申上ゲマシタヤウニ、甲種倉庫ノ利用擴張ガ既ニ出來上ッテ居ル分ガ五百坪アリマスガ、新ニ倉庫ヲ建テル手段ニナッテ居タノデアリマスカラ、其建テルベキ倉庫ヲ元ノ計畫ニ依リマスレバ、一箇所二百五十坪デアリマシタノヲ、單價ヲ切下ゲマシテ、特ニ三百六十坪ノ倉庫ニ致シマシテ、今年ダケハ特ニ氣張リマシテ、二千五百坪ノ所ヲ三千六百坪ニスル、ソレデモ足りナイカラ下屋ヲ付ケマシテ七百二十坪殖ヤス、其外ニ又農會ヲシテ臨時借庫ヲサセマスノハ七千坪デアリマス、ソレガ大體甲種倉庫ニ當ル分デアリマス、ソレカラ乙種倉庫ニ當リマス分ハ、即チ乙種倉庫ハ、今年建テル積リノモノハ、詰リ買収致シマスガ、新設致ス積リノ分ハ、千百坪デアッタノデアリマス、其千百坪ノ分ヲ千五百六十坪ニ殖ヤス、之ニ下屋ヲ三百十二坪設ケル、其外ニ乙種倉庫ト致シマシテハ、借庫ヲスル分ガ二千五百坪、是ハ豫定計畫ニナッテ居ルカラ、其豫定通りニ借庫ヲスル、ソレデモ不十分ナ爲メ、更ニ臨時ニ三千八百六十坪ヲ借庫致シマシテ、結局甲乙兩方合併致シマシテ、二萬五十二坪ヲ、詰リ常時對策ニ依リ	マス計畫ヲ利用擴張致シマシテ、是ダケノモノニ作り上ゲタノデアリマス、併シ是デハマダ粗ト致シマシテノ收容力ハ、百四十四萬四千石ニ過ギマセヌノデ、兎モ今日ノ大勢ヲ是デ防グ譯ニ行カナイノデ、金融組合或ハ水利組合等ニ相談ヲ致シマシテ、ソレ等ノ持ッテ居ル倉庫ヲ成ベク利用シ、或ハ倉庫ヲ持タナイ分ハ借入レヲスル、借入レモ出來ナケレバ、野積ヲスルト云フコトニ致シマシテ、金融組合ニ於テ先ヅ粗四十五萬石ヲ何トカシテ保管シヤウ、ソレカラ水利組合ナリ、地主組合ナリ、或ハ產業組合ナリニ依リマシテ、倉庫ヲ借リルコトモアリマセウシ、或ハ野積ヲスルコトモアリマセウガ、是等ノ手ニ依リマシテ、兎ニ角百二十一萬二千石ノ粗ヲ保管シヨウ、結局米穀倉庫ニ依リマス分ガ、百四十四萬石、ソレカラ金融組合ニ依リマス分ガ四十五萬石、水利組合ノ斡旋ニ依リマス分ガ八十八萬二千石、地主組合ノ斡旋ニ依リマスノハ三十萬石、產業組合ノ斡旋ニ依リマスノハ三萬石、總計三百十萬六千石ノ粗ヲ、今年ダケ兎ニ角朝鮮デ喰ヒ止メヤウ、之ニ對シテ時價八掛ニ致シマシテ、千八百六十三萬八千圓ノ低利資金ガ必要デアルト云フ計畫ヲ樹テマシタノデ、此低利資金等モ大體ニ於キマシテ、大藏省ニ於キマシテハ融通	スルニ定ッタノデアリマス、是等ノ、今申上ゲマシタ説明ニ依リマシテ大體御分リト思ヒマスガ、ソレデハ此臨時對策ガドウ云フ風ナ成績ヲ擧ゲテ居ルカト申シマスレバ、先程申上ゲマシタ通り、昭和五年ノ十二月末マデニ於キマシテ、既ニ粗ヲ約二百萬石ダケハ保管致シテ居リマス、サウシテ之ニ對シマシテ資金ヲ約八百萬圓融通致シテ居リマス、其後著々保管量モ殖エテ居リマス、資金ノ融通量モ殖エテ居リマス、殊ニ朝鮮ニ於キマシテハ、朝鮮ノ產業經濟全般ニ互ル大問題デアリマスカラ、金融業者ナドモ之ニ對シテ非常ニ協力ヲ致シマシテ、平常デアリマスナラバ、野積ミノ粗ナドニ金融ヲスルコトハ、非常ニ危險視シテ居リマスガ、此際ハ特ニ進ンデ、相當ノ危險ヲモ顧ミズ、粗ノ貯藏ニ對シテ金融ヲスル決心ヲシテ居リマス、隨ッテ低利資金ノ貸出ガ遅レマシタガ、其遅レマシタ分ハ金融業者自ラノ資金ヲ持出シテ之ヲ賄ッテ居ルト云フ狀態デアリマス、大體ニ於キマシテ今年ノ成績ハ、先ヅ以テ豫期ノ如ク進行シテ居ルモノト考ヘテ居リマス、殊ニ御承知ノ如ク本年ノ米作ハ千九百十八萬餘石デアリマシテ、例年ニ較ベマスト、非常ナ大豐作デアリマスガ、昨年十一月カラ本年二月、最近マデニ朝鮮カラ内地ヘ移入サレマ
---	---	--	---

シタ實際ノ米穀量ヲ見マスルト、約二百三十何萬石デアリマシテ、不作デアリマシタ昨年ノ同期ニ較ベマシテモ別段殖エテ居リマセヌ、隨テ大豐作ニ因リマス過剩米ハ兎ニ角「チエック」出來テ居ルモノト考ヘルノデアリマス

○東郷委員 御話ハ分リマシタガ、併シ今殖田サンノ御説明ノ所ト、私達ガ農林省カラ貫ッテ居リマス統計數字ト違ッタ所ガアリマスカラ、是カラ農林省ノ方ニ御尋致シマス、農林省カラ頂戴シマシタ昭和六年度ノ米穀需給推算ノ中ニ、朝鮮カラノ移入高ヲ八百萬石ト御推定ニナッテ居リマスガ、是レハ間違ナイノデセウナ

○町田國務大臣 細カイ數ハ農務局長カラ御答致シマセウガ、朝鮮總督府ト打合セノ上ニ八百萬石ト定メタ筈デアリマス

○東郷委員 ソコデ先程モ拓務當局ガ、此出來秋ニ内地ニ穀到スルノヲ防グ爲ニ色々ノ御苦心ヲナスッテ居ル説明ヲ拜聽致シマシタ、サウシテ最後ニ殖田サンハ、昨年ヨリモ非常ナ豐作デアアルノニ、最近マデノ移入高ヲ比較シテ見ルト、昨年ヨリモ減ッテ居ル、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、是ハ何時マデノ御統計カ知リマセヌガ、農務當局ノ御示シニナリマシタ昨年十一月米穀年度ニ入ッテカラ二月ノ上旬マデノ朝

鮮カラノ移入總額ハ二百七十一萬三千六十八石デアッテ、前年度ノ同期ニ比シテ十三萬四千八百十五石殖エテ居ルト云フ、是ハ何方ガ正シイノデアリマスカ、或ハ政府委員ノ御説明ハ、時ガ違ッテ居ル爲ニサウ云フ相違ヲ來タシタカト思ヒマスガ……

○殖田政府委員 私モ實ハ減ッテ居ルト申上ゲタイノデゴザイマスガ、減ッテ居リマセスカラ、其事ハ申上ゲナカッタノデアリマスガ、其數字ハ今農林當局カラ伺ヒマシタノデ、大體ニ於キマシテ違ヒハナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其邊デ御諒承ヲ願ヒマス

○東委員 一寸議事進行ニ付テ、私此事ニ付テ聯關シテ居リマスカラ——是ハ本會議ニ於キマシテ政府ハ千八百萬圓ノ低利資金ヲ以テ朝鮮米ノ内地米ニ對スル壓迫ヲ防グト云フコトヲ盛ンニ宣傳シテ居ルケレドモ、事實是ハ中ッテ居ラスデハナイカト云フコトヲ、私ガ本會議ノ施政演說ニ對シテ質問ヲ致シタ、サウ致スト、町田農相ハ何ヲ聽違ヘタカ、數字ノ間違ダラウト思ヒマス、百萬石モ東君ガ朝鮮カラ移入ガ増加シテ居ルト云フコトハ何ノ統計ニ基イテ居ルカ、怪シカラスト云フヤウナ語氣デ、アナタハ私ノ質問ニ答ヘラレタ、是ハ速記録ガアリマスカラ何シマス

ガ、其時ニ町田農林大臣ハ、東君ハ何ノ統計ニ依ッテサウ云フ間違ッタコトヲ言フカト言ウテ私ノ質問ニ答ヘラレテ、同時ニ非常ニ減ッテ居ッテ、今數字ハ何十萬ト言ッタカ知ラスガ、何十萬石カ減ッテ居ル、昨年ノ豐作ニ拘ラズ減ジテ居ルト云フコトヲ言ッテ、私ノ說ニ對シテ一矢ヲ加ヘラレタ、私ハ再質問ヲシヨウト思ッタケレドモ、疑ヲ質サウト思ッタケレドモ、餘リ長クナリマスノ

デ、御迷惑デアラウト思ヒマシタカラ差控ヘマシタガ、何レ委員會ニ於テ之ヲ質サウト言ッテ置イタノデアリマスガ、丁度只今ノ東郷君ノ御話ニ聯關シテ居リマスカラ、此點ニ付テ、農林大臣ガ、果シテ私ノ演說ガ間違ッテ居ルノカ、アナタノ此間ノ答辯ガ間違ッテ居ルノカ、是ヲ一ツ是正ヲ願ヒタイ、私ハ今東郷君ノ言フヤウナ風ニ、朝鮮デ有ユル施設ヲシテ居ル、有ユル低利資金ヲ運用シテ、政府ハ之ニ依ッテ盛ンニ宣傳シテ、千八百萬圓ト云フ低利資金ニ依ッテ、朝鮮ノ米ノ統制ヲ圖ッテ居ルト云フコトヲ大變大手柄ノヤウニ言ッテ居ルガ、事實私ハサウハ思ハナイ、マダ應急策モ、永久策モ立ッテ居ラス、ヤハリ昨年ニ比シテ十三萬石増加シテ居ル、是ハ數字ニ依ッテ明カデアルト思フガ之ヲ農林大臣ハ、本會議ニ於テノ私ノ申上ゲタ質問ガ正シイト云フ御考

事ヲ願ヒタイ

○町田國務大臣 何レ速記録ヲ見マスレバ、應答ガ能ク分ルト思ヒマス、アナタノ御話ト、當時私ノ考ガ違ッテ居ッタノデアリマス、私ノ得タ統計デハ、其當時減ッテ居ッタデス、其統計ヲ以テ私が申上ゲタノデアッテ、アナタハ非常ニ増シテ居ルト云フヤウナ意味ノ御演說デアッタヤウニ私ハ思ヒマシタカラ、吾々ノ調ベニ依ッテ、種々ナル朝鮮ニ施設ヲ致シテ居リマスル故ニ、季節的ニ十一月カラ二月頃マデノ間ニ朝鮮米ガ非常ニ殺到シテ來ル、之ガ爲ニ内地ノ米價ヲ壓迫スルコトガ、昨年ノ大豐作ニ拘ラズ相當ノ施設ヲヤッタガ爲ニ、減ッテ居ル、斯ウ申シタニ相違アリマセヌ、其數字ハ農務局長カラ申上ゲマス

○石黑政府委員 私ガ此處ニ端紙ニ書イテ持ッテ居リマスノガ、多分其時ニ大臣ニ御目ニ懸ケタ覺ト思ヒマスガ、十一月及ビ十二月ノ移入ノコトガ、其當時明カニナッテ居リマシタノデ申上ゲタノデアリマス、十一月及ビ十二月ヲ、昨年度ノ同期ニ比較致シマスと云フト十一月ハ減ッテ居リ、十二月ハ極メテ僅カ殖エテ居リマスガ、合計致シマシテ十五萬石バカリ減ニナッテ居リマス、此事ヲ御話ニナッタコト、覺エテ居リマ

ス

○東委員 ソレデ減ニナッテ居ルト言

ハレルガ、アナタ方ハ都合ノ好イ答辯ヲスル、吾々ノ演説ニ對シテ都合ノ好イ統計ヲ何時デモヤッテ、分り切ッタモノデモ殖エテ居ルモノヲ減ッタ言ッタリ、減ッテ居ルモノヲ殖エタト云フヤウニ、自分等ノ利益ニナルヤウナ統計ヲ取ッテ居ル、其當時ニ私等ノ調査シタ時ニモ、此處ニ數字ガアリマスガ、ヤハリ増加ト云フコトハ分ッテ居ル、ソレデ只今ノ二月マデノ政府ノ發表シタモノガ、ヤハリ明カニ増加ニナッテ居ル、十三萬何千石ト云フモノハ明カニナッテ居ルノデアリマス、根據ノナイ左様ナモノヲ以テ、アナタ方ハ、ハッキリシナイ以前ノ、減ニナッテ數字ダケヲ取ッテ、サウシテ答辯ヲシタト云フコトハ、苟モ一國ノ農林大臣ガ、施政ノ方針ニ對スル質問演説ニ對シテ、オ前ノ演説ハ間違ッテ居ルト云フコトヲ言フ以上ハ、非常ナ確ナ根據ガナケレバナラヌ筈デアル、然ルニモ拘ラズ都合ノ好イコトヲ言ッテ反駁シテ置イテ、サウシテ後ニナレバ、ソレハ其時ノ數字ガ古イ數字デアッタト云フコトハ、是ハドウモ答辯ニナラヌト思フ、一時ノ責任免レダト思フガ、今現在モヤハリサウデアリマスカ、私ハ只今ノコトヲ拓務大臣ニモ御聽キシタノデアリマスガ、斯ノ如ク

ヤッテ居ッテ、成程朝鮮ノ米ハ產額ガ殖エテ居ルカ知ラヌケレドモ、是ダケ今ノ内地ノ米價ニ壓迫ヲ與ヘテ、現在二月十一月カラ二月ト云フ一番移入最盛期デアル、其時ニ蹶起シナイデ何ノ益ガアル、是カラ後ニ倉庫ヲ拵ヘテヤッテ何ノ效果ガアル、ソレヲ現政府ハ、昨年中低利資金一千八百萬圓ヲ融通シテヤッタト云フコトハ、非常ニ農林大臣ノ御手柄ナリト思ッテ吾々ハ讚美シテ居ル、然ルニ實際ノ效果ト云フモノハチットモ現レテ居ラヌケレドモ之ヲ言ヘバ、米ハ非常ニ過剩ダ、豐作デアルカラト、斯ウ云フコトヲ言フ、丁度井上大藏大臣ガ不景氣ニナッタノハ世界的不況ノ爲ダト云フヤウナ答辯ヲスルノ相違ガナイト思フ、第一私ノ施政方針ニ對スル當時ノ質問演説ニ對シテ、アナタハ非常ニ逆襲サレタガ是ハドッチガ正シイノカ、モウ少シハッキリ説明ヲ承リタイ

○町田國務大臣

是ハ速記録ヲ能ク讀ンデ御答辯致シマスガ、確カ東君ガ餘程朝鮮カラ米ガ多ク移入サレテ居ルデヤナイカト云フ御演説ガアッタガ爲ニ、實際吾々ノ手ニシテ居ル統計ニ依レバ、朝鮮ニ於テ季節的ニ殺到シテ内地ノ米價ヲ壓迫スルコトニ對シテ、極力防イデ居ルガ爲ニ、今日マデ吾々が得タ所ノ統計ニ依レバ、一昨年ノ出來高

ニ對シテ、凡ソ五百萬石位移入シテ居ル、一昨年カラ昨年ノ春ニカケテ……ソレヨリモ千九百萬石ト云フ大豐作ニアルニ拘ラズ、其施設ニ依ッテ朝鮮カラ内地ニ入ッテ來ル米ヲ、季節的ニ調節シタコトガ多イガ爲ニ、内地米ヲ壓迫スルコトガ餘程減少サレタ、其證據ニハ十一月ト十二月ニ於テ平年作ヨリモ以下ト云ハレル前年ヨリモ、大豐作ニ於テノ二ヶ月ノ移入高ガ少ナイト云フ意味ヲ申シタノデアッテ、何等惡意モナク、唯、實際ノ事情ヲ私ハ申上ゲタニ過ギマセヌ

○東委員

大體揚足ヲ取ルヤウダケレドモ、是ハ國務大臣ノ施政ノ演説ノ時

ナンデアリマスカラ、私ハ之ヲ質シテ置ク必要ガアラウト思フ、斯ウ云フ答辯ガアッタ「昨年來政府ガ朝鮮米ノ内地ニ移入スルコトニ調節ヲ加ヘテ居ルニ拘ラズ、殆ド百萬石位多ク移入シタト申サレマシタ、恐ラク是ハ何等カノ調査ノ、失禮ナガラ誤謬デアルト私ハ思フ」是ハ百萬石ト云フコトヲ言ッテ居ルガ、私ハ十萬石ト云ッテ居ル、ソレヲ百萬石ト御聽キニナッタノデアリマスガ、是ハ宜シウゴザイマス「私共ノ調査シタ所ニ依リマスレバ、昭和六年ノ米穀年、即チ昨年十一月ヲ初メトシテ朝鮮ヨリ内地ニ入リマシタ米穀數量ハ、朝鮮ノ作合一昨年ニ比シテ昨年

ハ五百萬石ノ增收アリシニ拘ラズ、内地ニ移入シタ分量ハ一昨年ニ比シテ十數萬石少ナイト云フ事實ダケヲ申上ゲテ、現ニ朝鮮ガ低利資金ニ依ッテ内地ニ殺到スル所ノ米穀ヲ調節シ、之ニ依ッテ朝鮮及内地ノ米價ノ變動ノ差ヲ出來ルダケ少ナクスルト云フ政策ガ、稍、效ヲ奏シツ、アルト私共ハ信ジテ居リマス」斯ウ云フコトヲ言ッテ居ラレル、所ガ昨年十二月現在ノ輸入高ハ、前年ヨリ増加シテ居ル、増加シテ居ルコトハ新聞ニ依ッタノデス、私ハ新聞ヨリ材料ガ無いノデアリマスカラ、羊頭ヲ懸テ狗肉ヲ賣ルト云フ見出シノ材料デ、私ハ此統計ヲ見タ、所ガ最近政府ガ發表シタモノヲ見テモ、ヤハリ増加シテ居ル、十二月ニモ殖エテ居ル、ソレデア

ルカラ農林大臣ハ私ノ統計ガ非常ニ間違ッテ居ルト言ハレルノデアアルガ、ヤ

ハリ私ハ自分ノ言ッタコトハ間違ッテ居

ラスト信ズル者デアリマスガ、是ハ政

府委員デ宜シウゴザイマスカラ答辯ヲ

御願ヒシマス

○殖田政府委員

私ノ先程申上ゲマシ

タコトヲ、モウ一遍確メテ申上ゲタイ

ト思ヒマスガ、本年ノ一月、昨年ノ十

二月、昨年ノ十一月ノ數字ヲ集計致シ

マスレバ二百三十七萬九千九百九十二石

ガ移入サレテ居ルノデアリマス、之ヲ

昨年同期ニ較ベマスと一萬六千三百六

十六石ノ減ニナッテ居リマス、是ハ此一
月末マデバアリマスガ、二月上旬デ大
分殖エマシタ、ソレカラ私此處ニ持ッ
テ居リマスノハ備忘ノ數字デアリマス
カラ、或ハ多少違フカモ知レマセヌガ、
一寸申上ゲマス、一月中旬マデニ致シ
マスレバ、昭和六年度ニ於キマシテハ
昭和五年ノ十一月ガ五十七萬八千九
十八石、十二月ガ九十四萬四千九百九
十八石、サウ致シマシテ一月中旬ガ四
十五萬二千五百五石、斯ウナッテ居リマ
ス、所ガ昭和五年、詰リ昭和四年十一
月ハ八十八萬四千七百三十一石、ソレ
カラ十二月ガ八十八萬七千六百六十石、
ソレカラ昭和五年一月中旬ガ三十八萬
八千八百七十七石、詰リ六年度ニ於キ
マシテ、只今ノ期間ヲ合計致シマスレ
バ百九十七萬四千石、五年度ニ於キマ
シテ只今ノ期間ノ數字ヲ合計致シマス
レバ二百十五萬九千石、斯ウナッテ居
リマシテ、ヤハリ一月中旬マデニ致シ
マスレバ十數萬石今年ノ方ガ實ハ減ジ
テ居ルノデアリマス、所ガ下旬ニナリ
マシテカラ殖エマシテ、漸ク一バイ一
バイニナリマシテ、二月下旬ニナリマ
シテハ更ニ殖エマシテ今ハ十數萬石今
年ノ方ガ多イ事ニナッテ居リマス

キヲ得テ居ル、サウシテ内地ノ市場ヲ
昨年ヨリ壓迫シタヤウナ事實ハ無イト
言ハレタ、故ニ私ハ昨年ヨリ數十萬石
減ジテ居ルト云フコトハ事實間違ヒデ
ハナイカドウカ、ソレハ今政府委員ノ
答辯ニ依ッテ間違ヒデアルト云フコト
デアリマス、即チ一月二十五日ノ當時
ノ集計ニ依ッテ間違ヒナラバ、之ヲドウ
カ御訂シテ願ヒマス

○殖田政府委員 一月中旬マデノ數字
ニ致シマスレバ、五年度ニ於キマシテ
ハ二百十五萬九千石、本年度ニナリマ
シテハ百九十七萬四千石、約十數萬石
ヤハリ今年ノ方ガ減ニナッテ居リマス、
是ハ一月二十日マデノ數字デス

云フヤウナコトヲ言ハレルノガ過チデ
アッタト云フナラバ宜シイ、調査ガ杜撰
デアッタ、統計ガ出來ナカッタト云フナ
ラバ差支ヘアリマセヌガ、此點ヲ明瞭
ニシテ置ク意味ナノデス、アナタノ御
苦心ノ點ヤ、效果ガアッタカドウカト
云フ問題デハナイ

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○東委員 諄イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○町田國務大臣 東君ノ御演說ノ日ヲ
假リニ二十五日ト仰シヤルガ、二十六
日デアアルカ私モ能ク記憶シテ居リマセ
ス、其時ニ朝鮮カラ入ッテ居ル米ガ昨
年ノ春ヨリモ當年ノ春ノ方ガ少ナイモ
ノトシテモ、極ク僅ノ差デアリマシテ、
ハッキリ分リマセヌ、併シ私ノ申上ゲマ
シタ統計ハ十日毎ニ計算シテ居ルノ
デ、二十日マデノ——中旬ノ計數ニ依
レバ一昨年ヨリ十何萬石少ナイ、東君
ノ演說サレタ日ハ二十五日ダカラ其日
ノ數ハドウカト云フコトハ、是ハ御議
論ハアリマセウガ、何レニシテモ致方
ガナイトシテ、大體ニ於キマシテ一昨
年ヨリモ昨年ハ殆ド四百數十萬石朝鮮
ダケデ米ガ多イ、而シテ朝鮮ハ内地ニ
米ヲ賣ルコトガ朝鮮ノ唯一ノ財政經濟
ノ事情デアアルニ拘ラズ四百萬石、當
年ノ春ニ於テモ入り方ガ大體差引ナク
昨年、一昨年同様ニ入ッテ來ルト見テ
モ、是ハ朝鮮ニ於テ相當ナ施設ヲスル
コトニ吾々モ盡力モシ、現内閣モ骨ヲ
折ッタ爲ニ殺到シナカッタト云フ大體ノ
趣意ハ御諒察下サルモノト思ヒマス

○町田國務大臣 私人ノ申シタコトモ、
速記録ニ依ッテ世ノ中ガ誤解スルガ爲
ニ、東君ノ名譽ヲ傷ツケタト云フ結果
ガ生ズルナラバ、私ハ左様ナ東君ノ名
譽ヲ傷ツケル考ハ毛頭ナイト同時ニ、
東君ガ演說サレタ二十五日ハ總督府ニ
於テモ、農林省ニ於テモ、十日毎ニ取
ル統計ハ一月ノ二十日マデヨリ間ニ合
ハナカッタ、東君ノ御話ハ二十四、五日
頃デアッタガ、其五日間ニ東君ノ數ニ達
シタカ、吾々ノ二十日ノ計算ニ依ッテ十
數萬石不足デアッタト云フコト、是ハ見
ヤウニ依レバ東君ノ御考ト吾々ノ考ハ
兩立シテ居ルカモ知レマセヌ、私ノ申
スコトモ事實、東君ノ御話モ或ハ事實
カモ知レマセヌガ、其意味ニ於テ私ハ
何等東君ノ名譽ヲ傷ツケル考ハ更ニナ
カッタト申シテ置キマス

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○町田國務大臣 東君ノ御演說ノ日ヲ
假リニ二十五日ト仰シヤルガ、二十六
日デアアルカ私モ能ク記憶シテ居リマセ
ス、其時ニ朝鮮カラ入ッテ居ル米ガ昨
年ノ春ヨリモ當年ノ春ノ方ガ少ナイモ
ノトシテモ、極ク僅ノ差デアリマシテ、
ハッキリ分リマセヌ、併シ私ノ申上ゲマ
シタ統計ハ十日毎ニ計算シテ居ルノ
デ、二十日マデノ——中旬ノ計數ニ依
レバ一昨年ヨリ十何萬石少ナイ、東君
ノ演說サレタ日ハ二十五日ダカラ其日
ノ數ハドウカト云フコトハ、是ハ御議
論ハアリマセウガ、何レニシテモ致方
ガナイトシテ、大體ニ於キマシテ一昨
年ヨリモ昨年ハ殆ド四百數十萬石朝鮮
ダケデ米ガ多イ、而シテ朝鮮ハ内地ニ
米ヲ賣ルコトガ朝鮮ノ唯一ノ財政經濟
ノ事情デアアルニ拘ラズ四百萬石、當
年ノ春ニ於テモ入り方ガ大體差引ナク
昨年、一昨年同様ニ入ッテ來ルト見テ
モ、是ハ朝鮮ニ於テ相當ナ施設ヲスル
コトニ吾々モ盡力モシ、現内閣モ骨ヲ
折ッタ爲ニ殺到シナカッタト云フ大體ノ
趣意ハ御諒察下サルモノト思ヒマス

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○町田國務大臣 東君ノ御演說ノ日ヲ
假リニ二十五日ト仰シヤルガ、二十六
日デアアルカ私モ能ク記憶シテ居リマセ
ス、其時ニ朝鮮カラ入ッテ居ル米ガ昨
年ノ春ヨリモ當年ノ春ノ方ガ少ナイモ
ノトシテモ、極ク僅ノ差デアリマシテ、
ハッキリ分リマセヌ、併シ私ノ申上ゲマ
シタ統計ハ十日毎ニ計算シテ居ルノ
デ、二十日マデノ——中旬ノ計數ニ依
レバ一昨年ヨリ十何萬石少ナイ、東君
ノ演說サレタ日ハ二十五日ダカラ其日
ノ數ハドウカト云フコトハ、是ハ御議
論ハアリマセウガ、何レニシテモ致方
ガナイトシテ、大體ニ於キマシテ一昨
年ヨリモ昨年ハ殆ド四百數十萬石朝鮮
ダケデ米ガ多イ、而シテ朝鮮ハ内地ニ
米ヲ賣ルコトガ朝鮮ノ唯一ノ財政經濟
ノ事情デアアルニ拘ラズ四百萬石、當
年ノ春ニ於テモ入り方ガ大體差引ナク
昨年、一昨年同様ニ入ッテ來ルト見テ
モ、是ハ朝鮮ニ於テ相當ナ施設ヲスル
コトニ吾々モ盡力モシ、現内閣モ骨ヲ
折ッタ爲ニ殺到シナカッタト云フ大體ノ
趣意ハ御諒察下サルモノト思ヒマス

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○町田國務大臣 東君ノ御演說ノ日ヲ
假リニ二十五日ト仰シヤルガ、二十六
日デアアルカ私モ能ク記憶シテ居リマセ
ス、其時ニ朝鮮カラ入ッテ居ル米ガ昨
年ノ春ヨリモ當年ノ春ノ方ガ少ナイモ
ノトシテモ、極ク僅ノ差デアリマシテ、
ハッキリ分リマセヌ、併シ私ノ申上ゲマ
シタ統計ハ十日毎ニ計算シテ居ルノ
デ、二十日マデノ——中旬ノ計數ニ依
レバ一昨年ヨリ十何萬石少ナイ、東君
ノ演說サレタ日ハ二十五日ダカラ其日
ノ數ハドウカト云フコトハ、是ハ御議
論ハアリマセウガ、何レニシテモ致方
ガナイトシテ、大體ニ於キマシテ一昨
年ヨリモ昨年ハ殆ド四百數十萬石朝鮮
ダケデ米ガ多イ、而シテ朝鮮ハ内地ニ
米ヲ賣ルコトガ朝鮮ノ唯一ノ財政經濟
ノ事情デアアルニ拘ラズ四百萬石、當
年ノ春ニ於テモ入り方ガ大體差引ナク
昨年、一昨年同様ニ入ッテ來ルト見テ
モ、是ハ朝鮮ニ於テ相當ナ施設ヲスル
コトニ吾々モ盡力モシ、現内閣モ骨ヲ
折ッタ爲ニ殺到シナカッタト云フ大體ノ
趣意ハ御諒察下サルモノト思ヒマス

○東委員 薩イヤウデアリマスガ、數
字ヲ以テハハッキリ答ヘ、私モ數字ヲ以テ
質問シテ居ル、ソレデアアルカラ、アナタ
ガ私ノ數字ガ間違ッタト非難シ一蹴シ
タカラ、私ハ名譽ノ爲ニ言ウテ居ルノ
デス、ソレデアアルカラ是ハドウカ今ノ
政府委員ノ説明ニ依ッテ見テモ、一萬石
内外ノモノガ多イトカ少ナイトカ云フ
ノデアアルガ、十數萬石ヤ、數十萬石ト

○西村委員長 一寸東君ノ質問中デスカラ……

○東郷委員 今年ノ二月上旬マデノ合計ナラバ昨年ニ比シテ十三萬四千石餘リ既ニ増加シテ居ルト云フコトハ是ハ間違ヒナイコトヲ拓務當局モ御認ニナッタト思ヒマス、ソコデ私御尋致シマスガ、農林當局ト拓務當局ト御協定ニナッテ今年ノ朝鮮カラノ移入米ハ八百萬石ト云フコトニシヨウ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、サウスレバ今後本年度内ニ八百萬石ハ朝鮮カラ入ッテ來ルコトニナリマセウガ、既ニ二月ノ上旬マデ二百七十一萬三千六百八十八石入ッタルスレバ、將來本米穀年度ノ末期マデニ尙ホ朝鮮カラ入ル得ベキ數量ハ差引イテ見ルト五百二十八萬六千九百三十二石ト云フコトニナルヤウデス、是ダケノモノガ今年ノ十月マデノ間ニ内地ニ入ッテ來ル、斯ウ見ナケレバナラス、サウスシマス、此五百二十八萬六千九百三十二石ト云フ殘サレタ朝鮮米ヲ月別平均ニシテ見マスルト——是ハ月別平均ニ致シマシテモ、二月上旬マデハ既ニ計算サレテ居リマセウガ、其區別ハ私ノ方デハ材料ガナクテ計算ガ出來マセヌカラ、假ニ二月モ將來ニ入レテ宜イト思フ、サウスルト其結果ハ月別ニハ少シ少イ數字ガ出ル譯デアリマスガ、ソレハ假ニ讓ッテモ、二月カラ十月

マデノ九箇月ノ平均ヲ出シテ見ルト一箇月約五十八萬七千四百三十七石ニナルヤウデス、今後月別ニ朝鮮カラ來ルトシテモ、毎月足ケノ米ガ入ッテ來ルト云フコトハ是ハ當然ナコトデアリマスガ、サウスシマス、將來ノ月別平均デ入ッテ來ル朝鮮米ノ石高ヲ過去ノ事實ニ徴シテ見テモ例ヘバ昨年朝鮮カラ入ッテ來ル米ノ月別ヲ見マシテモ、二月ハ五十萬石以上ニナッテ居リマスガ、三月ハ四十八萬五千石餘、四月ニハ三十萬石餘、五月ガ三十八萬三千石、六月ガ二十七萬石餘、七月ガ同ジク二十七萬石餘、八月ガ十八萬石餘、九月ガ十八萬八千石、十月ハ少シ殖エテ二十八萬九千石、斯ウ云フコトニナッテ居ル、三月以後ニ毎月來ル數ハ比較的少イ、一回タリトモ五十萬石以上ニナッタコトハ三月以降ニハアリマセヌ、サウスルト内地米ハ將來此朝鮮米ノ移入ニ付テ非常ナ壓迫ヲ受ケルコトニナルコトハ爭ヘナイ事實デアリマス、サウスルト是ガ入ッテ來ルコトノ善惡ハ茲ニ論ジマセヌガ、何シロ事實ヲ申サナケレバナラス、サウスルト内地デハ先程來農林大臣其他ガ熱心ニ御説明ニナッタヤウニ低利資金三千萬圓ヲ出シテ盛ニ内地ニ穀ノ貯藏ヲ獎勵シテ居ラレル、ソレデ御豫定ハ穀一千萬石ノ貯藏、玄米ニスレバ五百萬石ニナリマセウガ、

サウス云フモノヲ一生懸命ニヤッテ、而モ端境期ヲ越シテ來年度マデ持越サセルト云フ御奮發ナノデアリマス、是ガ現在ドレダケノ成績ヲ舉ゲテ居ルカラ御尋スルト、ソレハ分ラヌト仰シヤル、假ニ御熱心ニ宣傳サレテ居ル數量ノ五百萬石ニナッタト假定致シマス、ソレカラ既ニ第一次二百萬石、第二次百萬石、計三百萬石ノ米ヲ御買上ゲニナッタ、之ヲ農林大臣ハ非常ニ御自慢ニナッテ、未ダ曾ッテ出來秋ニ是ダケノ米ヲ買ッタ實例ガ何處ニ一體アルカト言ッテ非常ニ御自慢ニナリマシタガ、内地ニ於テハ三百萬石ヲ買上ゲ、玄米ニシテ五百萬石ヲ民間ニ貯藏サセテ、サウスシテソレヲ端境期ヲ越シテ來年度迄持越サセルト云フノデ熱心ニ御盡力ニナルガ、ソレト同時ニ同ジク八百萬石ノ朝鮮米ガ内地ニ入ッテ來ルコトハ御肯定ニナッテ居ラレル、詰リ内地デ八百萬石ノ買上及ビ貯藏ヲシテ居ラレルガ、其代リニ八百萬石ノ朝鮮米ガボカッテ入ッテ來ル、斯ウ云フコトニナッテ來ル理窟デアリマス、サウスルト價格ノ安イ朝鮮米ガ内地ニ入ッテ來テ内地ノ市場ヲ壓迫スルト云フコトニナリマスカラ、政府ガ内地ニ於テ苦心サレテ買上ゲラレ、民間ニ非常ニ獎勵シテ無理算段ヲシテ貯ヘサセテ、數量ノ調節、價格ノ調節ニ努力シテ居ル時ニ遠慮ナク今後毎月平均

五十八萬石ノ朝鮮米ガ入ッテ來ルト云フコトニナレバ、非常ニ市場ヲ壓迫スルデヤナイカ、斯ウ考ヘマス、之ヲ物ニ譬ヘテ見ルト、丁度空巢狙ヒミタヤウナモノデハナイカ、重イ荷物ヲ背負ッテ一生懸命働イテ居ル其留守ニ、何モ持タナイ足袋跳足ノ輕裝ヲシテ居ル空巢狙ヒガヒヨット入ッテ來テ物ヲ搔拂ッテ行クヤウナコト、同ジ譯デアリマス、此場合ニ於テハ朝鮮米ガ空巢狙ヒヲヤル、斯ウ云フ理窟ニナル、是カラ考ヘテ見ルト御苦心ニナルコトハ非常ナ馬鹿々々シイ結果ヲ見ルノデヤナイカ、勿論私ハ朝鮮米ガ入ッテ來ルコトヲイケナイトハ申シマセヌガ、併シ事實ハサウス云フコトニナリハセヌカト思ヒマス、ソレニ付テ何カ農林當局ニ於テ御考慮ガアリマスレバ承リタイト思ヒマス

○町田國務大臣 只今ノ朝鮮米ト内地米ノ關係ノ御話ニ付テハ、大體ニ於テ朝鮮米ガチャント内地ニ月割ニ調節サレズニ、季節の二一時ニ殺到スルガ爲ニ内地米ヲ壓迫スルト云フコトノ事實ハ今日モ尙ホアルノデアリマス、併シ内地米ヲヒドク壓迫スルト云フ意味ハ、同時ニ朝鮮ノ農民モ自分ノ米ヲ安ク賣ルト云フ結果ニ相成リマスカラ、其點ハ内地ト朝鮮ノ農民ガ同ジ利害ノ下ニ居ルト云フ風ニ私ハ常ニ考ヘテ居

リマス、ソレカラ内地デ斯様ナ數量ヲ調節シテモ朝鮮カラ八百萬石入ッテ來レバ一向其效果ガナイデハナイカト云フ意味ニ私ハ御話ヲ了解シマシタガ、私ノ聽取違アルカ知レマセヌガ、若シ左様デアリマスレバ、是ハ斯ウ御考ヘ下サレバ宜イノデス、平年作デドウシテモ朝鮮、臺灣カラ相當ニ多量ナ米ヲ内地ニ移入シナケレバ、内地一般ノ國民ノ生活ハ安定セヌノハ長イ間ノ事實デアルト第一ニ失禮ナガラ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ當年ノ如キ内地デ六千八百八十萬石ノ大豐作デアルトシテモ、朝鮮、臺灣カラ相當ナ米ガ入ラナケレバ、内地ノ人口増加ニ伴フ需給ノ關係ハ旨ク平均セナイ、此大豐作デサヘモ左様ナ事情ノ下ニア、斯ウ云フ意味デアルトハ御承知ノ通りデアリマス、併シ昨年ノ米穀政策ヲ立テマスルニ付キマシテハ、朝鮮カラ八百萬石ノ米ガ入ッテ來ルノニ、之ヲ五百萬石トカ四百萬石ニ法制ノ上デ朝鮮カラ入ッテ來ル米ヲ制限スルト云フコトニナリマスレバ、朝鮮統治ノ上ニ由タシキ大事ガ起ルコトハ申ス迄モアリマセヌ、此間ニハ差別的待遇ヲ決シテヤラナイト云フノハ、歴代内閣モ左様デアリマセウシ、現内閣ハ斷ジテ此間ニ差別的待遇ヲ致サスト云フ大方針ノ下ニ、米價對策ヲ立テ、居リマス、

故ニ朝鮮ノ大豐作ノ爲ニ朝鮮カラ八百萬石入ルコトハ、是ハ認メテ米價對策ヲ作ッタデアリマス、唯、例年ノ如ク十一月、十二月、一月、二月ト云フ四箇月ノ間ニ、大部分ガ一時ニ殺到シテ來ルト、内地ノ米ヲ非常ニ壓迫シテ暴海ヲ來スト同時ニ、其暴落スルコトガ直ニ朝鮮ノ農民ガ米ヲ賣ルニモヤハリ安クスルカラシテ、之ヲ調節スルコトガ内地、朝鮮ヲ通ジテ、農民共同ノ利害カラ必要デアルト考ヘテ、朝鮮ニ於ケル低利資金ノ施設ヲヤッタデアリマス、而シテ内地ニ於キマシテハ、朝鮮カラ八百萬石入ルモノトシテ、茲ニ一千萬石以上ノ過剩米ガ生ズル、此事實ハ朝鮮カラ八百萬石入ルト見テノ大體ノ調節策ヲ考ヘタノデアリマス、斯様十年ハ、實ハ朝鮮カラ入ル米ガ少イコトヲ希望スルノデアリマス、對策ヲ立テルニモ朝鮮カラ入ル米ガ少ナケレバ、對策ハ立テ易イノデアリマス、併シ法制ノ力ニ依ッテ朝鮮カラ入ル米ヲ制限スルト云フコトハ、朝鮮統治ノ上ニ決シテ致スベキコトデナイト云フコトハ東郷サンモ御理解デアルト思ヒマス、故ニ此八百萬石ハ朝鮮カラ入ルモノトシテ、或ハ移入制限、或ハ輸出ヲ獎勵シ、或ハ内地ニ於テモ莫大ノ低利資金ニ依ッテ貯藏ヲ端境期マデ致サセ、政府モ僅ニ二箇月、三箇月ノ間ニ、

從來ニナイ短イ期限ニ於テ三百萬石ト云フ大量ノ米ヲ買入レ、有ユル施設ヲ竝ビ行ッテ、一面ハ農民ノ苦痛ヲ出來得ルダケ緩和シ、此調節ヲ有效ナラシムルコトニ努力シツ、アル次第デアリマス、朝鮮カラ八百萬石入ルト云フコトヲ前提ニ置キマシテ、米穀對策ヲ立テルノハ已ムヲ得マセヌ、吳々モ申シマスガ、出來ルナラバ斯様ナ内地ノ豐作ノ時ニハ、朝鮮カラ入ル米ガ少イコトヲ望ムノデアリマス、併シ朝鮮モ豐作デアッテ之ヲ内地ニ賣ラナケレバ朝鮮ノ經濟ガ成立タスト云フ點カラ甚ダ苦心ヲ致シマシタガ、差別的待遇ヲ致スト云フコトハ致サズニ、出來ルダケノ施設ヲ致シテ居ル、斯ウ御諒解ヲ願ヒマス

○東郷委員 農林大臣ハ只今朝鮮カラ來ル米ヲ法制ノ力ヲ以テ之ヲ制限スルト云フコトハ差別待遇デ、ソレハ出來コトハ望マシイコトデアルケレドモ、已ムヲ得ナイト云フ御話デアリマシタ、先程私ガ申上ゲマシタ此八百萬石カ來ルコトハ善イカ惡イカハ別問題デスガ、併シ事實ガサウナリハシナイノデスカ、斯ウ御尋シタノデアリマス、即チ内地ニ於テハ本年ハ平年作ヨリモ六百何十萬石モ餘計穫レテ居ルノデアリマス、ソレガ故ニ非常ニ御苦心ニナッテ、此數量ヲ調節スル爲ニ、玄米デ五百萬石モ民間ニ貯藏サセテ、翌年度ニ持越サセヨウト云フ計畫ニナッテ居ルシ、ソレカラ三百萬石モ既ニ御買上ニナッテ、彼此レ八百萬石ト云フモノヲ市場カラ取除イテ御苦心ニナッテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス

ソコデ朝鮮ニ於テハ今年ハ非常ニ豐作デアリマス、ソレ故ニ其生産米ノ消化ニ御苦心ニナッテ居ルコトハ御同情ニ堪ヘナイノデスガ、出來ルナラバ、内地モサウ云フ豐作デアリマスカラ――朝鮮ニ於テモ昨年ハ五百萬石餘デアリマスノデ、サウ云フヤウナ最近ノ内地移入ヲ基礎トシテ、ソレニ何トカモツト内地ニ來ル此數量ヲ他デ消化スル方法ハナカッタラウカ、斯ウ云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、ソレハ後デ拓務當局ニ伺ヒマスガ、要スルニソレハ兎モ角トシテ、私ガ先程申シマシタヤウニ、内地ノ米ヲ非常ニ苦心ヲシ、生産者自體モ無理ヲシテ、六年度マデ繰越スト云フ苦心ヲシテ居ル際ニ、今言ッタヤウナ今後朝鮮米ガ平均五十七萬石内地ニハ來ルト云フコトデアッタナラバ、ソレハ内地ノ市場ヲ壓迫スルト云フ結果ニナリハセヌカ、此事實ヲドウ見ルカ、八百萬石入ルノガ善イカ惡イカ其可否ハ申シマセヌガ、此事實ガ日本ノ内地ノ米ノ相場ニ非常ナ壓迫ヲシハセヌカ、ソレヲ御伺シタイ

ノデアリマス

○町田國務大臣 先刻來機會アル毎ニ

當年ノ米穀年度ニ於ケル米價對策ハ申上ゲテアル筈デアリマス、千萬石以上過剩米ガ生ズルト云フコトハ、何故ニ千萬石以上ノ過剩米ヲ生ズルカト言ヘバ、其中ニ朝鮮カラ入ッテ來ル八百萬石ヲ加ヘタル意味ニ於テノ過剩米ガ一千萬石ヲ越スノデアリマス、併シ季節的調節ガ出來マスルマデニ、一年ヲ通ジタル所ノ朝鮮カラ移入スル米ヲ制限シテ是以上朝鮮カラ入ッテ來ルコトハイカナイゾト云フ法制ノ力ニ依ッテ、左様ナコトハヤル時期デアリマセヌカラ、私共ハ朝鮮總督府ノ報告ヲ信ジテ八百萬石ハ入ルモノトシテ、之ニ依ッテ米穀對策ヲ考ヘル、即チ一昨年ニ於テハ二百萬石近イ外國米ガ入ッテ來タケレドモ、内地ガ豐作デアリマセバ入ルコトモ減リマセウガ、更ニ法制ノ力ニ依ッテ外國米ノ輸入ヲ極力減ジ、一方ニハ政府ノ所有米ヲ出來ルダケ多ク歐羅巴、南洋、東洋其他有ユル方面ニ供給スルヤウニ努力シテ居リマス、今日ニ於テ三箇月ノ間ニ既ニ七十萬石ヲ外國ニ出シテ居リマスガ、是ハ引續イテヤル積リデ居リマス、恐ラクハ此外國ニ出スコトノ爲ニ一千萬石以上ノ過剩米ノ中、相當ナ分量ハマダ減ジ得ラレト思ヒマス、其上ニ三百萬石ハ政府ガ既ニ買ッタ

東郷サンガ先刻五百萬石ト仰シヤッタノハ概ノ計算デアッタラウト思ヒマスガ、私共ノ方ノ計算デハ、概デ四百六十萬石、玄米デ二百三十萬石ト大體端境期マデ參ル分ヲキメテ居リマス、端境期マデ之ヲ賣出サセヌ分量ハモウ少シアリマセウガ、内輪ニ見積ッテ二百三十萬石トシテ居リマス、ソレデ政府ガ買入レタモノハ既ニ三百萬石、千萬石ノ中カラ之ヲ差引イテ殘ル所ガ先ヅ五百萬石ト六百萬石ノ間デアアル、市場ニ賣出サルベキ殘存米トシテ全國農家若クハ商人ノ手ニアルモノハ、此端境期ニ於テ五百數十萬石、而シテ先刻モ申シマシタ通り歷代内閣ノ中ニ、或ハ八百萬石ノ殘存米ノアッタ年モアレバ、五百萬石ノ年モアル、吾々ハ政府ノ持ッテ居ルモノト端境期マデ民間ノ低利資金ニ依ッテ縛ラレテ居ルモノヲ差引クト、外國ニ今後賣出ス數量ガ多クナレバナル程殘存米ガ少クナリマスガ、現狀ニ於テ見マシテモ五百數十萬石ト云フモノハアルノデアリマス、ソレ故ニ經濟上ノ他ノ原因カ何カ突發シタナラバ其時ニハ別ノ對策ヲ講ズル必要ガ生ジマスガ、米穀對策トシテハ今吾々ガヤッテ居ルコトニ依ッテ——或ハ概ニシテモマダ完全ニ行ハレズニ進行中ノ所モアリ、百萬石ノ政府米ガマダ民間ニアッテ政府ノ手ニ移ッテ居ラヌモノモアリマ

スガ、ソレガ進行スルト相當米價ヲ維持スルコトガ出來ルト云フ信念ノ下ニ此對策ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、故ニ朝鮮カラ參リマス八百萬石ハ出來ルナラバ五六百萬石ト云フコトニナッテ欲シイノデアリマス、左様ニナリマスレバ米穀對策ヲ講ズルニハ幾分容易ニナリマスケレドモ、朝鮮統治ノ大局ノ上カラ見マシタナラバ此八百萬石ハ内地ニ入ルモノトシテノ對策ヲ講ズルノ已ムヲ得ザル事情モ御諒承下サルコトガ出來ヨウト思ヒマス

○東郷委員 私ハ八百萬石ヲ朝鮮カラ

御入レニナルコトノ可否ハ先程カラ御尋シテ居ナイノデアリマス、ソレカラ内地ニ於ケル米ノ數量ヲ色々ナ方法ニ依ッテ調節サレテ行クト云フヤウナコトモ御尋シテ居ナイ、サウ云フコトハ無論爲サルコトデアリマセウガ、ソレハ兎モ角トシテ八百萬石今年内地ニ入ッテ來ル、而モ外國カラノ輸入ヲ差引イテ月別ニシテ五十七萬石ヅ、入ッテ來ル、未ダ曾テ見タコトノナイ二月以降ノ月別移入デアアルガ、ソレガ内地ノ市場ニ於テ市價ニ惡影響ヲ與ヘナイカドウカ、ソレニ對スル御意見ヲ承ッテ居ルノデアリマス、即チ今マデハ朝鮮カラハ出來秋ニ餘計來タ、ソレガ出來秋ノ市價ヲ叩クカラ調節シナケレバナラヌト云フノデ、先程來拓務當局モ言ハレ

ルヤウニ苦心サレテ居ルヤウデアリマスガ、其苦心ノ結果ガドウデアラウト、ソレヨリ今年ハ昨年ノ出來秋ノ時代ニ比較シテ二月上旬マデニハ餘計ニナッテ居リマス、其成績ハ兎ニ角トシテサウ苦心サレテ居ルノデアリマスガ、出來秋ニ殺到スルコトガ、從來出來秋ノ内地ニ於ケル市價ヲ叩クカラ之ヲ調節スル、斯ウ云フコトデアリマスケレドモ、從來ナラバ出來秋ニ殺到シテ出來秋ノ市價ヲ大ニ叩イタカモ知レスガ、其後ハ大ニ移入ノ數量ガ減ッテ來タカラ段々端境期マデ行クト影響ハシナイ、所ガ今度ハ平均シテ五十七萬石ト云フモノハ端境期ニ至ルマデ月別ニ入ッテ來ルカラ、端境期マデ朝鮮ノ米ガ内地ノ米ノ市價ヲ支配シハシナイカ、其處ニ内地ノ米價ガ上ラナイト云フ惡影響ハナイカ、此點ヲ如何ニ御考ニナルカ御答ヲ願ヒタイ

○町田國務大臣 今ノヤウナ御意見ノ立方ニ依リマス東郷サンノヤウナ觀方モアリマセウ、併シ大體ニ於テ昭和六年ノ米穀年度ニ對スル政府ノ米穀對策ハ朝鮮カラ八百萬石入ルコトヲ基礎數字ノ主ナルモノトシテ此對策ヲ考ヘテ居ルコトハ先刻申上ゲタ通りデアリマス

ソレカラ從來朝鮮デ低利資金其他ノ施設ヲヤラナイ場合ニハ出來秋ニハ

ドッザリ入ッテ來ルケレドモ、ソレハ二月頃デ止ッテ、三月以後ニ及ボス影響ハ少イ、今度ノヤリ方ハ出來秋ニ一時ニ殺到スルコトガ減ッタ代リニ、ズット端境期マデ引續イテ朝鮮カラ入ッテ來ルカラ之ガ内地ノ米價ヲ餘程壓迫シハセスカト云フコトデアリマス、他ノ事情ヲ同一ナリトシテ其點カラバカリ御考ヘニナレバ左様デアリマス、併シ其結論ニ達スル前ニハ斯ウ御考ヘ下サイ、出來秋ニ内地ノ農民ガ納稅其他ニ最モ困難ヲシテ居ル十二月カラ一月二月ニ掛ケテ、朝鮮カラ一時ニ多量ノ米ガ殺到シタ爲ニ米價ノ暴落ヲ來シテ、之ガ爲ニ納稅其他ニ不利益ヲ來シタ場合アリト假定シテ、其不利益ト比較シマズレバ、三月以後月割ニシテ四五萬石入ッテ來タガ爲ニ内地ノ米ニ影響ヲ及ボスコトアリトシテモ、其輕重ハ如何デアリマセウカ、此點モ考ヘテ結論ニ達スルヤウニ御互ニ努メタイト思ヒマス、而シテ吳々モ申上ゲマスガ、十二月カラ一月ニ掛ケテ多量ノ米ガ殺到シタコトアリトシテ當年ノ米價ヲ見マスト、恐クハ左様ナ場合ニナッタナラバ此米ノ暴落ハ吾々ガ今日實驗シテ來テ居ル以上ノ大暴落ヲ來ス、之ガ爲ニ内地ノ農民ガ非常ニ困難ナル地位ニ立ッソレヲ避ケル爲ニ餘程ノ效力ガアルト思ヒマス

○小坂政府委員 先程東郷サンノ御尋ノ中ニ内地デハ貯藏ノ五百萬石ヲ賣ル、尙ホ二百萬石ヲ買上ゲテ居ル、朝鮮カラ今後續々入ッテ來ル以上ハ其效果ヲ空シウスルモノデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマシテ、洵ニ御尤モナコトノヤウニ考ヘルノデアリマス、併シ朝鮮ニ於キマシテハ八百萬石ハ入ルト考ヘテ居リマスケレドモ、其中成ルベクソレヲ少クスル爲ニ種々施設ヲシテ居リマス

第一ハ外米ガ絶對ニ入ルコトヲ禁止シタノデアリマス、昨年一昨年ニ於テハ外米ガ四五百萬石入ッテ來タ、ソレヲ全然入レナイヤウニシタノデ、ソレダケ朝鮮米ノ消費量ガ殖エルコト、思ヒマス

ソレカラ第二ハ粟ハ朝鮮人ノ常食ニナッテ居リマスガ、粟ノ値段ト米ノ値段ガ非常ニ接近シタコトデアリマス、前年ハ粟ガ丁度米ノ半値位デアッタノガ、米ガ十四圓前後、粟ガ十一二圓前後、斯ウ云フ風ニ接近シテ居リマス、併シ粟ヨリハ米ガ旨イノデアリマスカラ、粟ノ輸入ガ自然ニ減ッタ結果、米ノ消費ガ殖エハシナイカ、斯ウ云フコトモ想像サレルノデアリマス

第三ハ低利資金ヲ融通シテ、出來ルダケ朝鮮ノ米ヲ止メタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、内地ノ地主モ金ノ融通

サヘ付ケバ、何モ此安イ時期ニ捨賣リヲセズニ、何トカ相場ノ良クナルマデ持チ耐エテ、資金ヲ借りテ年度ヲ越シテ持タウト云フ氣分ガアルト同様ニ、朝鮮ノ地主モ金ノ都合ガ付ケバ、安イ所デ捨賣リヲセズニ持チ耐ヘタイト云フ希望ガ多イノデアリマスカラ、是ハ先程ノ臨時施設ノ中デ野積ミノ分ダケハ是ハ雪融ケニナッテ——野積ミガ銀行デ信用シナイカラ、融通出來ルカドウカ知レマセヌガ、倉庫ニ入ッタモノニ對シテハ出來ルダケ融通ヲ圖ッテ、向フニ足ヲ止メタイト考ヘテ居リマス、是ハ將來ノコトデドウナルカト云フ豫想ハハッキリ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、此三ツノ理由デ思ヒノ外朝鮮カラ米ノ來ルコトヲ抑ヘラレハシナイカト云フ風ニ思ッテ居ルノデアリマス

○東郷委員 丁度私ソコマデ進ンデ行ッテ御伺ヒシヨウト思ッテ居ル所ニ、政府委員ノ方カラ御説明ガアリマシタガ、ソレデハ進ンデ御尋シタイト思ヒマス、先程私申上ゲマシタヤウニ、此八百萬石ト云フノハ農林大臣ナリ、今ノ小坂政府委員ノ御述べニナッタヤウニ、是ハ私ノ豫定デシタ、果シテ是ダケ來ルカ來ナイカハ無論來テ見ナクテハ分ラナイ、併シ是ダケノモノガ内地トシテハ來ルモノトシテ色々御苦心ガアリ、朝鮮トシテハ是ダケノモノハ出テ

行クモノトシテ、色々需給計畫ヲ立テ、居ルノデアリマス、拓務省カラ頂戴シテ居ル參考書類ニモ、朝鮮ニ於ケル米穀需給一覽表ノ中ニ、ヤハリ八百萬石内地ヘ出スヤウニ御計畫ニナッテ居ル、デスカラ今度朝鮮ノ立場カラ御尋致シマス、今年ハ朝鮮ガ千九百萬石餘リノ大豐作デスカラ、御困リノコトハ同情致シマス、私モ殖民地ニ於テ產米ノ問題ヲ取扱ッテ、時々内地カラ無理ナ注文ヲ受ケテ困ッタ實例モ持ッテ居リマスカラ、朝鮮當局ニ對シテ非常ニ御同情申上ゲルノデスガ、私ハイモ言フヤウニ、此問題ハ内地ダ、朝鮮ダ、臺灣ダト言ハズニ、日本ノ國家ノ大局カラ議論シテ行カナケレバナラス、其點カラ行ケバ餘程苦心シテ、朝鮮ニ於ケル米ノ需給モ御豫定ニナッタノデアラウト思ヒマス、今ノ輸入禁止、粟ノ問題等モアラウト思ヒマスガ、ソコデ私御伺ヒ致シタイ、朝鮮デノ消費額ハ六年度デハ千二百二十九萬三千三百三十五石ニナッテ、前年度ヨリ餘程殖エテ居リマス、是ハ一人當リニシマストドノ位ニナル計算デアリマス

○小坂政府委員 自分ノ方デ作ッタ統計ニ疑問ヲ持ッノハ相濟マス譯デスガ、人口ガハッキリシナカタノデ、此統計モ……

○東郷委員 御示シナッテ居ル參考

資料、米ノ消費總額及ビ一人當リ消費額ニハ大正十年カラ昭和五年マデ御示シニナツテ居ル、之ヲ調べ見マス、ト、年々違ッテ居リマスガ、大正十年邊リガ寧ロ多イ、一人當リ六斗六升六合、此位ノ數字ガ十三年マデ續イテ、大正十四年ガ五斗二升八合、昭和四年ニ四斗五升ニナリ、昨五年ハ四斗八升二合ニナツテ居リマス、米ガ安クナレバ消費ガ殖エルダラウ、高クナレバ減ルダラウト云フ御計算デ色々計畫ヲ立テラレ

ルナラバ、今ノ御話ノヤウニ統計ガハッキリシナイト云フコトデハ、甚ダ困ルノデスガ、六年度ノ一人當リノ消費額ハ分ラヌデセウカ

○小坂政府委員 今ノ御話ハ御尤モデスガ、實際内地デモ此頃漸ク人口ガハッキリシテ來タヤウナ譯デ、内地ノ米ノ數量ナドモ實ハ正確ナコトハ疑問ダト思ッテ居リマス、朝鮮ニ於テモ人口ガ漸ク此頃明カニナツテ、米ノ數量モ最近稍完全ニナツテ來タノデアリマスガ、一體文化ガ進ンデ、米ノ消費ダケガ文化ノ進ムニ隨ッテ減ッテ來ルト云フノハ理窟ニ反スルコトダト思ッテ居リマス、今年ノ消費額ハ今計算シテ申上ゲマス

○東郷委員 ソレヲ計算シテ戴カナイト、後質問スルノニ非常ニ困ル……

○小坂政府委員 漸ク材料ガ見付カリマシタカラ申上ゲマス、昭和六年四月

米ノ推定人口ガ千九百六十二萬千八百九十人トシ、其一人當リ五斗五升七合、即チ昭和五年度ノ一人當リ四斗五升八合ニ比シ、二割一分六厘ノ増加ヲ見込

○殖田政府委員 只今申上ゲマシタ通りノ計算デハ出來テ居リマス、所ガ國勢調査ノ結果ニ依リマシテ、人口ハモット多クナツテ居ルノデアリマス、人口ガ二千百萬ニナツテ居リマス、結局ヤハリ四斗八升何合ト云フ計算ニナルヤウデゴザイマス

○東郷委員 粟ノ問題デスガ、是ハ米穀調査會等デモ粟ヲ入レルノヲ何トカ抑ヘテ、サウシテ其代リニ朝鮮米ノ消費ヲ殖ヤシタラドウダラウト云フ御意見モアリ、ソレニ對シテ小坂委員アタリモ將來ノ事情ヲ縷々述べラレテ居

○東郷委員 サウシマス、私ハ非常ニ面白イ數字ガ出タト思ヒマスガ、推定人口カラ御計算ニナツテモ、六年度ニ於テハ一人當リ五斗五升七合ト云フコトニナルシ、ソレカラ國勢調査ノ結果人口ガ殖エテ、四斗八升二合ト云フコトニナレバ、モット朝鮮ニ於テ消費量ヲ多ク御見積ニナル餘地ガアルノヂヤナイカ、斯ウ考ヘマス、ト云フノハ米モ朝鮮デハ安クナツタノデアリマセウカラ、サウ云フ自然ノ結果ガ出ヤシナイカ、サウスレバ一人當リ幾ラカ御豫定ヨリモ殖エレバ、結局朝鮮内ニ於ケル消費總額ハ殖エマスカラ、隨テ内地ニ持ッテ來ル額ガ減ル、サウ云ツタヤウナコトニナルカモ知レス、サウ考ヘルトモット此朝鮮ノ消費量ヲ御殖シニナツテ置カレタ方ガ適切デナカッタカト思ヒ

○小坂政府委員 御尤モノコトデアリマスガ、此朝鮮ノ民度ガ御承知ノ通り所謂窮民ガ多數デアリマスカラ、少シ値ガ下ツタカラト云フ著シク殖エルト云フコトハドウカト思フノデアリマス、ソレカラ粟トノ値段ガ二圓乃至三圓ノ開キガアルカラ、内地人ノ考カラ言ッたら、粟ヲ止メテ、當然米ニ移ッテ

シマヒサウナモノダト考ヘラレマスガ、朝鮮人ハ長イ習慣デ、粟ヲ旨イト思ッテ居ル、況ヤ炊キ殖エガ非常ニ多イト云フヤウナ考カラ粟ヲ食フ習慣ガ止マヌモノデアリマスカラ、サウ著シク殖エルト云フコトハヤハリ困難デアラウト思フノデテリマス、漸次物ノ安イコト、生活ノ向上、此二ツノ點カラシテ朝鮮ニ於ケル產米増殖計畫ノコトナドハ、隨分御懸念ニナツテ打切ッテハドウカト云フ御議論モアリマスガ、十五年間ニ八百萬石殖エル位ナコトハ、内地ニ來ルモノヲサウ殖ヤサズシテ朝鮮デ消費スルヤウニ漸次ナリハセスカト云フコトヲ私モ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、此際至急ニ朝鮮米ノ消費量ヲ朝鮮デ殖ヤスト云フコトニ付テハ名案モ持チ合セマセヌノデアリマス、今ノ外米ヲ抑ヘル、外米ヲ少シモ入レナクシテ朝鮮米ヲ買入レセシメルコト、ソレカラ粟ニ付テ成ベク抑制ノ

方法ヲ取ル、此二點デ行クヨリ外ニ途ガナイヤウニ今考ヘテ居ル次第デアリマス

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニナツテ粟ノ輸入ガ非常ニ減ッタカ何ト

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上ゲマスガ、昭和四年ニ百五十六萬二千石、昭和五年ニ百六十四萬七千石入ッテ居リマスカラ、八萬石バカリ殖エテ居リマス、最近ノ數字ハ實ハ手許ニアリマセヌ、探シマシタガ分リマセヌカラ……

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニナツテ粟ノ輸入ガ非常ニ減ッタカ何ト

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

○東郷委員 數字ガナクテモ何カ書面ノ報告ト云ツタヤウナモノデ、今年ニ

○殖田政府委員 粟ノ輸入ニ付テ申上

カ云フ事實ヲ承ルダケノ材料ハアリマ
セヌカ
殖エテ、内地ニ來ル米ノ量ハ減ル、思
ル、而シテ内地デハ此豐作ヲ少シデモ
調節シヨウト云フノデ、政府當局ガ持
只今米穀法ノ移入禁止ノ方面ダケガ施
行サレテ、買上ノ方ガ施行サレテ居リ
マセヌカラ朝鮮米ニサウ云フ機會ヲ與
ヘルコトガ出來ナイノハ甚ダ遺憾ニ
思ッテ居ル次第アリマス

○殖田政府委員 數字ガゴザイマセヌ
ノデ實ハ確ニ申上ゲラレマセヌノデス
ガ、最近朝鮮デ米雜穀ノ商賣ヲシテ居
ル者ガ出テ參リマシテ、米ガ安クナッ
爲ニ粟ノ輸入ガ全クナクナッテ非常ニ
苦シデ居ルト云フコトヲ實ハ言ッテ參
タ事實デゴザイマス、今數字ヲ求メタ
イト思ヒマシタノデスガ、間ニ合ヒマ
セヌデシタノデ御諒承ヲ願ヒマス
○東郷委員 只今ノハ數字ガナイノデ
スカラ責任アル御答辯デヤナイ譯デス
ガ、サウ云フ傾向デアルナラバ、小坂
政府委員ノ御話デモアリマスケレド
モ、無理ニ粟ヲ米ニ代ヘルト云フ御政
策ヲ御執リニナラヌデモ自然ニ殖エテ
來ヤシナイカ、又開キガ非常ニ少イト
云フナラバ成ベク内地モ困ッテ居ルノ
ダシ、朝鮮モ困ッテ居ルノデアリマス
カ、滿洲ノ粟ヲ入レナイヤウナ適當ナ
方法ヲ執ラレト云フコトモ、此際已
ムヲ得ナイ處置デハナイカト思ヒマス
ガ、當局ハサウ御考ニナリマセヌカ
○小坂政府委員 先程申上ゲマシタ通
リ、朝鮮米ノ消費量ノ殖エル理由トシ
テ、外来輸入禁止、粟ト米ノ値開キノ
近イコト、ソレカラ資金ノ融通、此點ニ
付テ申上ゲタノデアリマシテ、私ハ減
ルト思ッテ居ルノデス、相當ノ消費量ガ

テ居リマスケレドモ、何分の確ノ據ル
ベキ材料ヲ持タヌノデアリマス、ソレ
カラ粟ノ輸入關稅ノコトニ付テハ目下
朝鮮總督府ト色々相談シテ居ルノデア
リマス、是ハ朝鮮ノ民心ニドウ云フ影
響ガアルダラウカト云フコトヲ深ク考
ヘナケレバ、單純ニ米ノ問題バカリヲ
考ヘテ決スル譯ニハ行カヌノデアリマ
シテ、北部ノ朝鮮ノ貧民ハ大分粟ヲ常
食トシテ居ルノデアリマスカラ、此爲
ニ粟ノ値上リヲ起シテ、民心ニ非常ナ
波動ヲ起スト云フコトデアルト、統治
上ニモ非常ナ困難ヲ來スノデアリマス
カラ、今頻リニ其點ニ付テ相談ヲシテ
居ル最中デゴザイマス
○東郷委員 ソレデハ次ニ承リマス
ガ、參考資料ノ中ニ六年度ノ需給關係
ニ於テ外國輸出額ヲ一萬石ト御豫定ニ
ナッテ居リマスガ、是ハ間違ヒゴザイマ
セヌカ
○殖田政府委員 左様デゴザイマス、
是ハ據ルベキ基礎ガ餘リゴザイマセヌ
ノデ、大體前年、前々年ノ數字ヲ見マ
シテ一萬石デアラウト云フ見込ヲ立テ
タノデゴザイマス
○東郷委員 此點ハモウ少し御考ニナ
ル餘地ハナカッタカト考ヘマス、ト云フ
ノハ内地モ豐作、朝鮮モ豐作デ困ッテ居

ル、而シテ内地デハ此豐作ヲ少シデモ
調節シヨウト云フノデ、政府當局ガ持
米ヲ非常ニ御苦心ニナッテ海外ニ賣出
シテ居ラレル、農林大臣ノ仰シヤルヤ
ウニ、最近七十萬石モ出タト云フヤウ
ナ實情デアリマス、ソレ程マデシテ
内地ノ米ノ數量ノ調節ニ苦心サレテ居
ルノデアリマス、就テハ朝鮮ガ未曾有
ノ大豐作デアアルニモ拘ラズ、此輸出ヲ
前年ト同ジ一萬石程度ニ止メテ、何等
此點ニ御考慮ガナカッタト云フコトハ
ドウ云フモノカト思ヒマス、之ヲモウ
少し御奮發ニナッテ朝鮮米ヲ海外ニウ
ント賣リ出ス御苦心ハナカッタカ、サウ
云フコトヲ御考ニナッテ、少シデモ内地
ニ此影響ヲ及ボサナイヤウナ御考ナク
シテ、斯ウ云フ豫定表ヲ御作リニナッ
タノデアリマセウカ、御意見ヲ承リマ
ス
○小坂政府委員 其點ハ御尤モナ御尋
デアリマスガ、今日内地米ガ安イ所ニ、
更ニ外来ガ安イノデアリマシテ、之ヲ
輸出スルノニハ何カ相當ノ補償ヲスル
カ、或ハ損失ヲ他ノ何物カガ負擔スル
カデナケレバ輸出出來ナイト思フノデ
アリマス、此補償スル資金ガナイノデ
アリマス、内地ニ於テハ米穀法ガ利用
サレテ居リマシテ、米ノ賣買ニ付テ國
家ノ爲ニ多少ノ損失ヲスルコトハ已ム
ヲ得ナイモノトシテ、政府デ外國ニ賣

拂ッテ居ラレルノデアリマス、朝鮮米ハ
只今米穀法ノ移入禁止ノ方面ダケガ施
行サレテ、買上ノ方ガ施行サレテ居リ
マセヌカラ朝鮮米ニサウ云フ機會ヲ與
ヘルコトガ出來ナイノハ甚ダ遺憾ニ
思ッテ居ル次第アリマス
○東郷委員 只今御話ノヤウニ内地ト
違ッテ米穀法モナシ、資金モナカッタカ
ラ、ソレデ何トモ出來ナカッタト仰シヤ
レバソレ迄デアリマスガ、併ナガラ此
大豐作——成ベク内地朝鮮ヲ通ジテ少
シデモ色々ノ打撃ヲ取除カウトスルニ
ハ何カ御考ニナラナケレバナラナカッ
タト思フノデアリマス、即チ平生デサ
ヘ朝鮮米ノ移入ガ内地ノ市場ヲ壓迫ス
ルカラ、ドウカシナクテハナラヌ、ソ
コニハ移入ノ制限迄シナケレバナラヌ
ト云ッタヤウナ鞏固ナ意見モ出テ居ル
今日デアリマス、デスカラ何トカシテ
少シデモ内地ノ市場ニ迷惑ヲ掛ケナイ
ヤウニ、此際苦心シヨウト云フヤウナ
御考デアッタナラバ、或ハ輸出ニ付テハ
獎勵金若クハ損失ノ補償トカ云ッタヤ
ウナ色々ノ方法モナイコトハナカラウ
ト斯ウ考ヘマス、ソレ等ノ事ヲ御考ニ
ナラズシテ、今云ッタヤウナ、何時モ
ヤウナ御考デ何等此點ニ御考慮ニナラ
ナカッタト云フコトヲ甚ダ遺憾ニ思フ
ノデアリマス
○殖田政府委員 只今ノ輸出ノ方ノ御

話デアリマスガ、輸出ノ非常ニ困難デアリマスコトハ只今小坂政府委員カラ御話ノ通りデアリマスガ、朝鮮ニ於キマシテハ輸出ガ左様ニ困難デアリマスノデ、已ムヲ得ズ外米ノ輸入ノ方法ニ付キマシテ、從來ハ内地ト異リマシテ朝鮮ニ於テ消費サレマスル飯米ニ付テハ外米ヲ輸入スル、内地ハ飯米モ輸入シナイ、而シテ朝鮮ニ於テ飯米ヲ輸入スル、其建前デ參ッテ居リマシタノデアリマス、隨テ毎年四十萬石ナリ或ハ三十何萬石ナリ入ッテ居ッタノデアリマスガ、昨年十月カラ一切此飯米ニ付キマシテモ從來ノ方針ヲ抛チマシテ、内地同様ニ全ク輸入ヲ止メルト云フ決心ヲ致シマシテ、此輸入ノ方法ニ付キマシテ、從來ノ三四十萬石ノ輸入ヲ今年ハ「暹羅」米ヲ制限ノ及バナイ五萬石程度ニ、何トカシテ喰止メヤウト云フ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ私先程申上ゲマシタコトガ間違ヒマシテ、甚ダ申譯ナイコトヲ致シマシタ、ソレハ人口ガ殖エマシタ結果、消費量ガ四斗八升ニ減ッタヤウニ申シマシタガ、ソレハ私ノ計算違デ、寔ニ申譯ゴザイマセヌデシタ、五斗三升五合弱デアリマス

常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ見ヲ申上ゲル譯ニハ行キマセヌケレドモ、輸出ノ方ヲモット御苦心アッテ然ルベキコトデアッタト考ヘマス、サウ云フ風ニ考ヘルトマダ、朝鮮ノ米ノ内地移入ニ付テハ御努力ニナレバ、八百萬石ヲモット少クシテ戴ク工夫ガアルデハナイカト考ヘマスガ、ソレハ此程度ニシテ置キマス

次ニ私矢張り非常ナ關係ガアリマスカラ御伺致シマスガ、朝鮮ニ於ケル產米計畫デスガ、之ヲ中止シタラドウカナゾト云フ議論モドナタカ先程仰シヤッタデスガ、私サウ云フ議論ハ茲ニ申シマセヌ、ソレガ善イカ惡イカハ他ノ問題ト併セテ考ヘナケレバナリマセヌガ、ソレハ別問題ト致シマシテ、是大正九年カラ十五箇年間ヲ期シテ、サウシテ先程モ御話ノヤウニ約八百二十萬石ノ產米ヲ増加シテ、サウシテ輸移出スル能力ヲ約一千萬石ニシヨウ、斯ウ云フ御計畫マデシタガ、輸出ハナカナカ骨ガ折レル、此非常ナ場合デモ僅ニ一萬石位シカ出セヌト云フコトデアリマスカラ、此大部分ハ内地ニ來ルコトデアラウト思ヒマスガ、大體ハサウ云フ計畫ガ順調ニ進ンデ居ルト考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

○東郷委員 今ノ輸入米ノコトハソレハ當然シテ行カレルコトヲ爲スッタコト、考ヘマス、内地ニ於ケル移入ヲ非常ニ制限スル方針ヲ取ッテ居ラレカ憶ハ八百二十萬石ノ増殖ノ計畫ヲ十五箇年ニ致シマシテ、其中ノ五百萬石ハ朝鮮内地ノ消費、三百萬石ハ内地ヘ移出スル、斯ウ云フ計算デアッタト記憶致シテ居リマス

シマス、サウシテ今度ハ先程御説明ニ
ナツタ所謂出來秋ニ於ケル朝鮮米ノ殺
到防除ノ一トシテ農業倉庫、其他ノ倉
庫ヲ御獎勵ニナツタ、ソレガ一次計畫ガ
昭和五年カラ昭和九年マデ、ソレカラ
二次計畫ガソレカラ十年間、前後十五
年デアリマスカラシテ、丁度昭和十四
年ニナリマス、昭和十四年ニナツテ初
メテ此計畫ノ通りニ行クトスレバ僅ニ
二百五十萬石ノ玄米ヲ貯藏スルダケノ
能力シカナイ計畫ニナツテ居リマスガ、
而モ現在ニ於テデサヘ、中々豫定通り
ニ此出來秋ノ殺到ヲ防グコトガ出來ナ
イノニ、昭和十年ニナツテ千萬石モ移入
ノ能力ガアル場合ニ僅ニ二百五十萬石
位ノ貯藏能力ヲ持ツテ居ルヤウナ倉庫
デ以テサウシテ内地ノ出來秋ノ殺到ヲ
調節スルト言ッテモ中々旨ク行カヌヤ
ウニ思ヒマスガ、是ハドウ云フモノデ
アリマセウカ

○小坂政府委員 只今產米増殖計畫ノ
最終年ヲ昭和十年トセラレタガ、ソレ
ハ十四年ニナリマス、是ハ大正十四年
カラ十五年計畫デアリマスカラ、昭和
十四年ニナルノデアリマス、ソレデ
只今ノ御話ノ通り調節計畫ハ非常ニ小
規模デナイカ、此御疑念ハ御尤モニ思
フノデアリマス、何分財政逼迫ノ折柄
デアリマシテ吾々モ之ヲ以テ満足ナ計
畫トハ決シテ考ヘテ居ラスノデアリマ

ス、出來ルナラ財政ノ幾ラカナリ餘裕
ガ出來タラ此計畫ヲ擴張シタイ考ヲ
持ツテ居ル次第デアリマス、當時是ガ内
地ト朝鮮ト共ニ便宜ナ問題デアルカラ
一般會計カラ今少シ補助ヲ得テヤリタ
イ考デアリマシタガ、御承知ノ通りノ
財政狀態デアリマスカラ、朝鮮總督府
ニ於テ出來得ルダケノ金ヲ支出シテ、
取り敢ヘズ斯ウ云フ計畫ヲ立テタ、兎
ニ角今日ノ狀態デ見ルト丁度一月カラ
三月マデノ間——出來秋ノ前後ニ於テ
ノ米ノ移出量ハ平均ヨリカ百
萬石多イノデアリマスカラ、其百萬石
ダケヲ成ベク早く調節シタイ、斯ウ云
フ考カラシテ第一期計畫ヲ致シタ次第
デアリマス、ソレカラ第二期計畫ハ農
業倉庫ヲ成ベク地方ニ散在セシメテ、
地方ノ地主ノ米ヲ持堪ヘサセル力ヲ付
ケル、斯ウ云フ趣意ダカラ、此計畫ヲ
完全ナリトモ、十分ナリトモ考ヘテ居
リマセス、又財政ノ餘裕ガ出來次第、
此事業ヲ擴張致シタイト云フ希望ハ十
分持ツテ居ル次第デアリマス

○東郷委員 サウスレバ此計畫デハ現
在ニ於テモ中々十分トハ言ヘナイ、況
ヤ產米計畫ガ進ンデ豫定通りノ成績ヲ
舉ゲルト、ヨリ以上ニ十分ナルアルト、
御話ノヤウニ拜承シナケレバナラス、
サウスレバ拓務大臣ガ一昨年ノ秋米穀
調査會ニ御出デニナツテ、非常ナル責任

ヲ以テ内地殺到ノ此弊害ヲ防除スルニ
努メルト言ハレタ其御話ノコトハマダ
唯今ノ計畫デハ十分ニ實現シテ居ナイ
ト斯ウ拜承シテ宜カラウト思ヒマス
ガ……

○小坂政府委員 唯今私ノ申上ゲタノ
ハ今日ノ狀態デハ百萬石丁度出來秋ニ、
他ノ月ヨリカ、四箇月ノ間ニ多ク出ル
カラ四箇月ニ百萬石ヲ抑ヘレバソレデ
一時ハ補ッテ行ケル、斯ウ云フコトヲ申
シタノデアリマシテ、今日ハ是デ略宜
イト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガ
ラ是カラ先キ進ンデカラノコトハ更ニ
其時ノ狀態ニ依ッテ、是カラ十五年モ先
キノ事マデ此處デ安全ナリト云フコト
ハ出來ナイ、更ニ施設ガ十分ニ行ク方
ガ宜イト考ヘルノデアリマスガ、今日
デハ是デ宜カラウ、斯ウ云フヤウニ考
ヘテ居ル次第デアリマス

デモヤハリ米ノ安キ爲ニ此計畫ガ非常
ニ困難ニ陥ッテ居ナイダラウカ、例ヘバ
最初ノ御計畫ノ當時ノコトヲ私ハ記憶
シテ居リマスガ、タシカ穀一石十二三
圓ト云フヤウナコトヲ目安ニシテ御計
畫ニナツタ、所ガ今日ハ一石ガ六七圓ト
云フヤウナ風ニ暴落ヲ致シテ居リマス
カラ、ヤハリ内地ニ於ケル是ニ類似ノ
事業ガ非常ニ困難ヲ感ジテ居ルト同ジ
ヤウニ、朝鮮デモ御感ジニナツテ居ル
ノデナイカト思ヒマスガ、サウ云フコ
トハ事實ゴザイマスマイカ、是ハ色々
ノ點ニ於テ重大ナル問題デアリマスカ
ラ御尋致シマス

○小坂政府委員 唯今東郷サンノ御話
デアリマスガ、私ノ申上ゲタノハ數量
ノ方面カラ申シタノデアリマシテ、増
殖計畫ハ順調ニ進ンデ居ルト申シマシ
タノハ、數量ヲ作ル上ニ於テハ其通り
ニ進ンデ居ルト信ジテ居リマス、併ナ
ガラ其經營ニ於テハ御話ノ通り非常ニ
狀態ガ違ッテ參ッタノデアリマシテ、產
米増殖計畫當時ニハ其米ノ相場ニ於テ
十分ニ利益ナル仕事ハ何年度計畫ト云
フコトデヤツテ參ッタノデアリマスガ、
今日ノ如キ狀態ニ入ッテ參リマシテハ、
非常ニ困難ナ立場ニ立ッテ居ルモノモ
出來テ參ッタノデアリマス、此對策ニ付
テモ苦心シテ居ル次第デアリマス

○東郷委員 唯今ノ政府委員ノ御話ハ

數量ニ於テ變リハナイ、經營ニ於テ米ノ暴落ノ爲ニ困難シテ居ルコトハ其通リト仰ッシヤイマシタケレドモ、其意味ガ少シ分リマセスガ、詰リ十五箇年計畫デ斯ウ云フ仕事ヲシタ、是ダケノ產米ノ増殖ヲヤル、斯ウ云フコトデ行ッテ居ルノデアリマスカラ、米價ノ安クナタト云フコトノ爲ニ經營ガ困難デアルト云フナラバ、其十五年計畫ト云フモノハ豫定ノ通り進行シナイヤウナコトガ起リハセヌカト思フノデアリマス、サウスレバ十五年計畫デ豫定ノ通り内地ニ移出スル米ガ一千万石ニ殖エル、斯ウ云フ事ガ豫定ノ通り出來ルカ出來ナイカ、斯ウ云フ事ヲ吾々ハ非常ニ憂フルノデアリマス、是ハ將來ノ米ノ對策ヲ講ズル上ニ於テ非常ニ重要問題デアルト思ヒマスカラ御聽キスルノデアリマス	○殖田政府委員 產米増殖計畫ノ實行ノ成績ニ付キマシテ昭和四年度迄ノ數字ヲ持合セテ居リマスノデ、此處デ御報告申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ土地改良事業ニ於キマシテ昭和四年度迄ニ新規ニ工事ニ著手スル豫定ノモノガ十萬八千二百町歩アリマシタノデアリマスガ、實際ノ成績ハ十二萬七千七百四十町歩著手致シテ居リマス、併シ是ハ著手デアリマシテ、竣工ノ方ノ狀況ヲ申上ゲマスレバ、四年度迄ニ八萬町歩竣工スル豫定デアリマシタガ、実績ハ四萬七千九百二十町歩ノミ竣工致シマシタノデ、竣工不足ガ三萬二千町歩ゴザイマス、ソレカラ補助金交付ノ狀況ヲ申上ゲマスルト、土地改良事業ニ對シテ補助金ヲ交付シマス豫定額ガ昭和四年度迄ニ於キマシテ千六百四十三萬八千圓デアリマシタガ、四年度迄ニ支出致シマシタ額ガ千八百九十萬九千圓デアリマスノデ、差引四百六十二萬八千圓ノ殘額ヲ存シテ居リマス、是ハ補助金デアリマスガ、更ニ低利資金ヲ貸出スコトニナッテ居リマスルガ、其低利資金ノ額ガ昭和四年度迄ニ累計二千三百五十八萬二千圓デアリマス、是ハ豫定額デゴザイマスガ、實際貸出シマシタモノハ二千四百十四萬圓デアリマシテ、差引二百四十四萬一千圓マダ殘額ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ其次ハ農事改	良ニ低利資金ヲ出シマスガ、是ハ大體一年度限りノ貸付ヲ致シマス、只今ノ所昭和四年度迄ニ於キマシテ元年度、二年度、三年度、四年度ト通ジマシテ段々貸出金ガ殖エテ參リマシタ、四年度ニ於キマシテハ六百九十一萬七千圓位ノ預金部ノ低利資金ヲ此農事改良ノ方ヘ廻ス都合デアリマシタガ、ソレヲ四年度末ニ於キマシテ二百五十九萬圓ヲ貸出殘ヲ存シテ居リマシテ、差引資金ガ四百三十二萬六千圓殘ッテ居リマス、併シ四年度ニ於キマシテ一番澤山貸シマシタ時ハ四百八十三萬八千圓貸出シタノデアリマス、デアリマスカラ六百九十一萬圓ノ豫定ニ對シマシテ約百九十萬圓ノ違ヒヲ生ジテ居リマス、詰リソレダケ豫定ニ達シテ居ラヌ狀況デゴザイマス	水田經營トデモ申シマスカ、サウ云ッタモノガ相當ニアリマス、是ハ一面カラ言ヘバ朝鮮經營ノ上ニ於テ結構ナコトデアリ、又一面カラ言フト斯ウ云フコトガ或ル特殊ナ現象ヲ其處ニ生ミ出スノヂヤナイカト思ヒマス、ソコデサウ云フヤウナ大キナ農場經營ヲヤッテ居ル農業經營者カラ見レバ、小サナ百姓ガ自分デ作ッテ、サウシテソレヲ自分デ食ベテ餘ッタモノヲ少シヅ、市場ニ賣出スト云ッタヤウナ農業ト違ッテ、大キナ農場經營者ハ自分ノ食フ米ヲ作ルト云フノヂヤナクシテ、是ハ全ク營利ヲ目的トシテ、詰リ米ヲ商品トシテ賣出スト云フコトヲ目的トシタ經營デアリマス、デスカラ之ヲ作付面積、或ハ經營面積ニ比較致シマスト小サナ百姓ヨリモ比較的餘計市場ニ米ヲ出スコトガ出來ル能力ヲ持ッテ居ル、ソレガ大キナ經營面積ヲ以テ米ヲ作ルコトニナレバ結局ソレ等ノ農場カラ出ル米ハ値ノ好イ市場ニ、之ヲ力一バイニ出シテ行ク、斯ウ云フコトニナリハセヌカト思ヒマス、デスカラ朝鮮ノ米ガ内地ニ入ッテ來ルト云フコトハ朝鮮内地ノ米作ノ發達ノ結果デアリマスケレドモ、同時ニ斯ウ云ッタヤウナモノ、力ガ非常ニ興ッテ居ルノヂヤナイカト常ニ私ハ考ヘテ居リマスガ、ソコデ拓務當局ニ御尋ネ致シマスガ、サウ云ッタヤウナ農場ニ對ス
○小坂政府委員 今日迄ハ其通り進ンデ參ッテ居リマス、併ナガラ今日ノ米價ノ下落デ水利組合ガ非常ニ困難ニナッテ居ルコトモ事實デアリマス、是ハ將來ノ事ニ付テハ種々——或ル者ニ付テハ資金ヲ低利ニ借替ヘテヤル、現ニ最近ニ低利ニ借替ヲシテヤッタ者モアリマスガ、斯ウ云フヤウナ點ニ付テ出來ルダケ水利組合ノ爲ニ必要トシテ攻究致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ數字ニ付テハ殖產局長カラ申上ゲマス	○東郷委員 次ニ御同致シタイト思ヒマスガ、朝鮮ニ於テハ内地ト少シ米作經營ノ違ッタ點ガアルト思ヒマス、例ヘバ今ノ產米増殖計畫ナシカト云フコトモソレト多少關聯致シテ居リマスガ、内地ノ米作法ハ主トシテ小サナ農業者ガ多イ、狹イ面積ノ水田ヲ或ハ自作乃至小作シテ、サウシテ經營致シテ居ルノデスガ、朝鮮モ無論サウ云フノガ多イノデアリマスケレドモ、其中ニ大キナ所謂農場經營ヲヤッテ居ル者ガアル、之ヲドウ云フ言葉デ言ヒマスカ資本的	○東郷委員 次ニ御同致シタイト思ヒマスガ、朝鮮ニ於テハ内地ト少シ米作經營ノ違ッタ點ガアルト思ヒマス、例ヘバ今ノ產米増殖計畫ナシカト云フコトモソレト多少關聯致シテ居リマスガ、内地ノ米作法ハ主トシテ小サナ農業者ガ多イ、狹イ面積ノ水田ヲ或ハ自作乃至小作シテ、サウシテ經營致シテ居ルノデスガ、朝鮮モ無論サウ云フノガ多イノデアリマスケレドモ、其中ニ大キナ所謂農場經營ヲヤッテ居ル者ガアル、之ヲドウ云フ言葉デ言ヒマスカ資本的	○東郷委員 次ニ御同致シタイト思ヒマスガ、朝鮮ニ於テハ内地ト少シ米作經營ノ違ッタ點ガアルト思ヒマス、例ヘバ今ノ產米増殖計畫ナシカト云フコトモソレト多少關聯致シテ居リマスガ、内地ノ米作法ハ主トシテ小サナ農業者ガ多イ、狹イ面積ノ水田ヲ或ハ自作乃至小作シテ、サウシテ經營致シテ居ルノデスガ、朝鮮モ無論サウ云フノガ多イノデアリマスケレドモ、其中ニ大キナ所謂農場經營ヲヤッテ居ル者ガアル、之ヲドウ云フ言葉デ言ヒマスカ資本的

ル何カ面積ナリ生産ナリ、ソレカラサイ、臺灣ニ對シテ同様デアラウト思ヒ
ウ云フ農場ガ内地市場ニ賣出シ得ル米
ノ數量ナンカト云フモノ、御調査ハナ
イモノデアリマセウカ、是ハ非常ナ重
大ナ問題デアリマスカラ、若シ調査ガ
アレバ頂戴致シタイと思ヒマス、私ガ
今申上ゲマシタヤウナ意味ヲ拓務當局
ハドウ御考ヘニナッテ居リマスカ、サウ
云フ點ハ今マデ毛頭御考ヘニナッテ居
リマセウカ、之ヲ承ッテ置キタイと思ヒ
マス

○小坂政府委員 只今東郷サンノ御話
ハ御尤モト考ヘテ居リマス、其調ハア
リマスケレドモ此處ニ持合セテ居リマ
セウカラ、明日差上ゲルコトニ致シマ
ス

○東郷委員 ソレチャドウゾ……

○胎中委員 ドウデス一時キツカリカ
ラ始メテ質問者モ一人デアルシ、大臣
モズットオイデニナルシ、相當疲レタト
思ヒマスガ此程度デドウデセウ、大抵
人間ノ能力ニハ限リガアリマスカラ……

○西村委員長 六時デ打切りマスカ
ラ、ドウゾ御辛抱願ヒマス

○東郷委員 先程農林大臣ハ朝鮮米ヲ
差別待遇スルコトハ、非常ニ朝鮮統治
ノ上ニ宜シクナイ影響ガアルカラ、サ
ウ云フコトハシテハナラス、斯ウ云フ
御話デアル、是ハ單リ朝鮮ダケチヤナ

イ、臺灣ニ對シテ同様デアラウト思ヒ
マス、所ガ差別待遇ト云フコトハ此米
ノ問題デ能ク聞クコトデス、米穀調査
會等デモサウ云フヤウナ言葉ヲ度々聞
イテ居ル、内地其他ノ日本ノ領土、之
ヲ特ニ内地ノ爲ニ或ル地方ヲ犠牲ニ
供スルトカ、或ハ植民地ノ爲ニ内地ヲ
犠牲ニ供スルトカ言ッタヤウナ差別待
遇ヲスベキモノデハナイノデアリマ
ス、ソコデ私ハ先程來度々申シマスヤ
ウニ、國家ノ大局カラ見テ公平ニ之ヲ
論議シテ見ナケレバナラヌト申スノデ
ス、所ガ私實ニ諒解ニ苦シムコトガア
ルノデス、差別待遇ト云フコトハ是ハ
一時ドウ云フ意味ダラウ、違ッタ事情ニ
在ル場合ニハ違ッタ取扱ヲスルト云フ
コトガ本當ノ平等ナ待遇デヤナイカト
思ヒマス、朝鮮ナリ臺灣ガ内地ト事情
ガ異ナッテ居ル、ソコニ異ナッタ事情ガ
アルナラバ其異ナッタ事情ハ特ニ見テ
ヤルト云フコトガ必要デナケリヤナラ
ヌ思フ、ト又臺灣朝鮮カラ内地ニ來ル、
内地ニ特別ナ事情ガアルナラバ其特別
ナ事情ヲ見テヤルト云フコトガ當然デ
アル、卑近ナ例ヲ考ヘテ、人間ハ總テ平
等ナリ、差別待遇ヲシチャイカスト言ッ
テモ、大人ト子供ハ自ラ其處ニ違ッテ取
扱ヲシナケレバナラヌ譯ダ、大キナ親
父ノ著物ヲ其儘小サイ子供ニ著セル譯
ニ行カヌシ、小サイ子供ノ著物ヲ大キ

ナ親父ガ著ル譯ニモ行カヌ、男ト女ハ
自ラ違フト言ッタヤウナ調子デ、其違ッ
タモノハ違ッタ取扱ヲスル所ニ本當ノ平
等ガ私ハアルト思フ、本當ノ幸福ヲ増
進スベキ目的ノ政治ハソレデナケレバ
ナラヌト思フ、特異ノ事情ニ在ル場合
ハ特異ノ取扱ヲスルノガ必要デアルト
思ヒマスガ、其意味ニ於テハ私ハ米ノ
問題ニ限ラズ、植民地或ハ新領土經營
統治ノ上ニ於テ、能ク政治家ナリ其他
ノ人々ガ差別待遇ハイカヌ、平等デナ
ケレバイカヌト言ハレルガ、私ハ不
思議ニ思フノデアアル、デスカラ町田農相
ガ先程差別待遇ヲスルコトハ宜シクナ
イト仰シヤッタコトニ付テ、ソレハドウ
云フ意味デアリマスカ、若シ朝鮮ノ米
ノ生産ナリ販賣ナリ其他色々事情ニ於
テ内地ト違ッタ事情ガアルナラバ其事
情ハ見ナクチャナラヌ筈ダ、内地ノ米
ノ生産ニ付テモ、亦内地ニ特別ノ事情
ガアルナラバ、其特別ノ事情ハ見テ、
サウシテ此兩者ヲ對立セシメテ適當ナ
調和調節ヲ圖ルト云フ所ニ眞ノ政治ガ
ナケレバナラヌ筈ダ、植民地統治方針
ハ其調子デ行カンケレバナラヌト思ヒ
マス、ソレカラ松田サンノ差別待遇ト
仰シヤルノハドウ云フ意味デアリマス
カ、又拓務當局トシテ松田國務大臣ハ
植民地統治ノ本當ノ大局カラ見テ一體
差別待遇ガイカヌトカ善イトカ云フコ

トハ、ドウ御考ニナリマスカ、併セテ
此際説明シテ戴クコトガ米ノ問題解決
ノ上ニ非常ニ必要ダト思ヒマスカラ、
御伺ヒ致シマス

○町田國務大臣 差別待遇ト云フ言葉
ハ如何様ニモ解釋サレマセウ、併シ米
穀調査會ニ於キマシテモ、又此委員會
ニ於キマシテモ、此點ハ屢々意見ノ交換
ヲ致シテ居ル點デアリマス、先刻モ申
上ゲマシタ通り朝鮮カラ多クノ米ガ内
地ニ入ッテ來タガ爲ニ、朝鮮カラ米ガハ
イラヌ場合ト比較スレバハイッテ來タ
爲ニ内地ノ米ノ値ヲ低落セシムル原因
トナル場合ガ相當多イノデアリマス、
併シ大體ニ於キマシテ、昨年ノ如キ年
ハ致方アリマセウガ、過去十數年ノ年
年ノ事實ニ依ッテ見マスト、内地ノ人口
増加ニ伴フ米ノ供給量ハ内地ダケデハ
足リマセウ、之ニ朝鮮及ビ臺灣カラハ
イリマス米ヲ加ヘテモマダ足ラヌ、多
ク入レマシタ年ハ外國米ヲ五百萬石モ
消費シテ居ル、一昨年ノ如キモ百七十
萬石ハ朝鮮臺灣及ビ内地ニ外國米ヲ輸
入シテ居ルト云フ次第デアリマス、昨
年ノ例ヲ以テ見マストバ何ダカ朝鮮ニ
於ケル產米計畫モ少シ内地カラ見レ
バ餘計過ギルヤウナ感ジモナイデハア
リマセウ、併シ昨年一年ハ例外ノ大豐
作ト申シテモ宜シウゴザイマス、此異
例ヲ以テ我國ノ米價對策、食糧人口間

題ヲモ之ニ依ッテ律スル譯ニハ相成リ
マセズ、朝鮮ノ產米計畫ヲバ此處デ或
ハ延期トカ或ハ廢止スルトカ、或ハ之
ニ向ッテ多少年限ヲ延シテ徐々ニヤラ
セルト云フ考ハ今日ハマダ起リマセ
ヌ、若シ昨年ノ如キ大豐作、之ガ五箇
年平均シタ内地ノ米作ガ六千八百數萬
石ト云フコトニ達シマスレバ多少内地
ニ於ケル耕地ノ擴張、朝鮮ニ於ケル產
米計畫ニ對シテ修正ヲ加ヘルコトガ生
ズルカモ知レマセヌ、朝鮮カラハイル
米ガ——内地デ供給ガ足ラヌ時ハ出來
ルダケ朝鮮カラ多クハイルト云フコト
ヲ希望シ、内地デ豐作ノ時ハ朝鮮カラ
ハイル米ヲ何等カ之ヲ制限シテ、サウシ
テ朝鮮ノ米ハ其際ニ於テハ特別ニ朝鮮
ニ於テ安クナルノデアリマス、ドウモ
其處ハ共通シテ、多クノ場合ハ内地デ
足ラヌカラ朝鮮カラ供給ヲ仰イデ内地
ノ食糧問題ヲ解決シツ、アルト云フ例
年ノ例ヲ見マシテ、剩ッタ時ニハ朝鮮カ
ラハイルコトガ甚ダ迷惑ダカラ之ヲ止
メルト云フコトガドウシテ公平ナルヤ
リ方デアリマセウカ、其邊ニハ大イナ
ル疑問ガアルベキ筈デアリマス、殊ニ
朝鮮ガ豐作ノ時ハ朝鮮カラハイルコト
ヲ減シテ、朝鮮ノ米價ヲ之ガ爲ニ下ゲ
ル、内地ガ不作デアアル時ハドウゾ澤山
内地ニ入レテ吳レト云フヤリ方ハ、ヤ
ハリ朝鮮統治ノ大局カラ見マシテモ面
白クナイト云フ見地カラ、經濟的施設
ニ依ッテ月々朝鮮カラハイルテ來ル半ヲ
調節シテ、此調節ニ依ッテ内地ノ米ノ暴
落モ防ギ、併セテ朝鮮ノ農民ノ利益モ
同様ニ考慮シ得ラルル調節ヲヤルト云
フコトニシテ一年通ジテハイリマス、
朝鮮米ノ數量ヲ是レ以上ハ入レラレナ
イト云フヤリ方ハ考ヘテ居ラヌノデア
リマス、又現内閣ハ左様ナコトヲ致サ
ス、之ヲ俗ニ稱シテ差別待遇ト申シテ私
竝ニ他ノ人モ使ッテ居リマスガ、此言葉
ガ穩當デナイナラバ差別待遇ト云フ言
葉ヲヨシテモ宜シウゴザイマス、只今
ノ話ノヤウナ、或ル場合ハ制限シ或ル
場合ハ歡迎スル、斯ウ云フヤリ方ハ面
白クナイト云フ建前デアリマス

○松田國務大臣 今町田農林大臣ガ
略答ヘテ居ルト思ヒマスガ、我國ノ植
民地ノ統治ハ植民地ノ利益ノミヲ圖ッ
テ、内地ヲ害スルコトハ出來ヌ、又内
地ノ利益ヲ圖ッテ植民地ノ利益ヲ害ス
ルコトモ出來ヌノデアリマシテ、其ニ
榮エ共ニ存シテ行カナケレバナラスト
思フ、即チ植民地ヲ搾取スルトカ何ト
カ云フヤウナコトハ我國ノ統治ノ方針
デハナイノデアリマス、ソレデ植民地
ニハ特殊ノ事情ガアル、故ニ日本ノ法
令等ノ全部ハ行ッテ居リマセヌ、悉ク内
地ノ延長ヲスル譯ニ參リマセヌカラ、
特殊ノ事情ハ尊重シテ、統治シナケレ
バナラスト思フ、米ニ付テ今農林大臣
ノ申シタヤウニ產米計畫ハ何ノ爲ニシ
タカ、是ハ内地ノ自給自足ガ出來ヌ爲
ニ產米増殖計畫ヲシテ居ル、サウシテ
昨年ノ如ク多ク出來レバ、其米ハ、東
郷サンハサウ云フ御意見デゴザイマセ
ヌガ、内地ト差別シテ、法令ノ力デ以
テ日本ニ入レルコトガ出來ルト云フコ
トニナッタナラバ、内地ノ農民ノ爲ニハ
利益カモ知レマセヌケレドモ、朝鮮ノ
統治カラ見レバ非常ナ不利益デアル、
ソレデ吾々ハ朝鮮モ榮エ、内地モ榮エ
ルト云フヤウナ見地ノ下ニ經濟的ノ設
備ヲ講ジマシテ、出來秋ニ一時ニ殺到
スルコトニ付テハ、ソレハ内地ノミニ
不利益デハナイ、朝鮮ノ不利益デアリ
マスカラ、之ヲ經濟的ノ施設ニ依ッテ統
制シテ行カウト云フコトデ、不十分カ
モ知レマセヌケレドモ、拓務當局及ビ
朝鮮總督府ハ有ユルコトヲ致シマシ
テ、財政窮乏デモナケレバモウ少シヤ
リタイコトモアリマスケレドモ、財政
ノ緊縮デモアルシ、窮乏デモアリマス
カラ、其範圍ニ於テ出來ルダケノコト
ヲヤル、又低利資金モ朝鮮ダケニ澤山
持ッテ行ッテイカスト云フ非難モアリマ
スケレドモ、低利資金モ借リマシタ、
吾々ノ力デ出來ルダケノコトヲ以テ、
經濟的ノ施設ニ依ッテ、之ヲ調節スルコ
トガ、是ガ朝鮮統治ノ爲ニ適當デアル、

斯ウ考ヘタ次第デアリマス

○東郷委員 只今町田農林大臣ノ御說
明ニ依レバ、差別待遇ト云フノハ、朝
鮮カラ内地ニ入ッテ來ル米ヲ法ノ力カ
何カデ、制限スルト言ッタヤウナコトヲ
スルノガ差別待遇ダ、サウ云フコトハ
シナイ、又產米増殖計畫モ、是ハ必要
デアッテヤッテ居ルノダカラソレヲ今俄
ニドウ斯ウスル、サウ云ッタコトハシナ
イ、足ラヌ場合ニハ寄越セ、餘ッタ場合ニ
ハ寄越スナト言ッタヤウナコトハ、ソレ
ハ宜クナイ、斯ウ云フヤウナ意味ノ御
意見デアッタ、松田拓務大臣ノ御話モ大
體是同意味ダッタと思ヒマス、其通り
デアリマス、私ハソレハ同感デアアル、
私モ先程言ッタヤウニ、植民地デ長イ間
斯ウ云フ方面ノ責任アル仕事ヲシテ居
テ非常ニ迷惑ヲスルコトガアッタ、例ヘ
バ明治四十二年頃内閣カラ臺灣總督ニ
宛テ、内地ガ米ガ足ラヌカラオ前ノ
方デ產米改良ヲウントヤレト云フ通達
ニ接シテ、吾々ハ非常ニ苦心シテヤッテ
來タ、所ガ臺灣栽培米ガ非常ニ良クナッ
テ、内地市場ニ於テ非常ナ名聲ヲ博シ
内地ノ不足ヲ補ヒツ、アッタ際ニ、大正
四年ノ内地ノ大豐作、平年ハ五千萬石
位ノモノガ俄ニ五千七百萬石ニナ、タ
ト云フノデ、今度ハドウ云フカト云フ
ト、中央ノ政府デハドウモ内地デハ米
ガ餘ッテ居ルカラ、臺灣ハ米ナド作ラヌ

デ、砂糖デモ作レト云フ非常ニ無理ナ
註文ヲ受ケタコトガアリマス、ソレハ
當時ノ農林當局ガ仰シヤッタカ、何處カ
ラ來タカ知リマセヌガ、要スルニ内閣
ノサウ云フ方針ガ傳ッテ來タ、其時私ハ
言ッテ、農業ハ工業製品ト違フ、帽子類
ナラバ巴里カラ今年ノ帽子ハ鐔幅ガ廣
イ、ソレガ流行ダト云ヘバソレデ電報
一ツ打テバ宜イノデアリマスガ、農業
ハサウハ行カヌ、五年十年トヤッテ、始
メテ成績ガ舉ッテ來ル、其成績ガ舉ッ
時ニモウソナ馬鹿ナコトヲシテハイ
カヌカラ何カ他ノモノヲヤレ、到底出
來ルモノデハナイト思ッテ吾々ハ此要
求ニ應ジナイデ進ンデ行ッタガ、サウス
ルト翌年デシタカ、其翌年ニナルト内
地ハ又米ガ足ラヌト云フノデ、イツノ
間ニカ此問題ガ消エテシマッタ、斯ウ云
フコトニナル

ソレカラ拓務大臣ニ臺灣ノ問題デ明
日御尋スル積リデアリマスケレドモ、
例ヘバ嘉南大圳ニ十五萬町歩ノ灌漑大
計畫ヲヤル、或ハ砂糖ノ甘蔗ヲ作ルノ
ガ目的デアッタガ、内地ガ米ガ足ラヌト
云ウテ臺灣ハモット米ヲ作ラナケレバ
ナラヌト云フ註文ガ臺灣當局ニアッタ、
サウシテ其臺灣當局ガ歸ッテ、一體嘉南
大圳ノ計畫デ米ガ幾ラ殖エルカト云フ
ト、殆ド殖エナイ、ソナ馬鹿ナコト
ハナイ大ニ米ヲ殖ヤシテ行クヤウニ又

總テノ計畫ヲ變更スルト云フコトガ
アッタ、サウ云フ風ニ私ハ行クベキモノ
デハナイト思フ、ソレハ無理ナ注文デ
スカラ、今日朝鮮ノ米ガ能ク出來テ、
サウシテソレガ内地ニ盛ニ入ッテ來テ、
内地市場ヲ壓迫スルト云フヤウナコト
ニナッタト云フコトハ、ソレハ過去ニ於
テ努力ノ結果サウナッタノデアリマシ
テ、ドウモソレヲ惡イノ善イノト云ッ
ヤウナ過去ヲ各メルト云フコトハ、内
地當局トシテ無理ダト思ヒマス、併ナ
ガラ日本全國ヲ見テ、茲ニ一ツノ米ノ
問題デ、大問題ガ起ッタ場合ニハ、全體

ヲ見テ極メテ適切ナ政策ヲヤラナケレ
バナラナイト思ヒマス、サウ云フコト
ハヤッテ宜イコト、思ヒマス、デスカラ
私ハ町田農林大臣ノ仰シヤルヤウニ無
理ニデモ内地ノ農業者ノ爲ニ朝鮮ノ農
業者ヲ犠牲ニ供シテ行クト云ッタヤウ
ナ態度ヲ執ルベキモノデナイ、サウ云
フコトハ宜シクナイ、併ナガラ朝鮮ノ
米ガ内地ニ入ッテ來テ内地ノ農業ヲ非
常ニ壓迫スルト云フ事實ガアルナラ
バ、其事實ヲ何トカ方法ヲ講ジテ取除
ケル苦心ハシナケレバナラヌ、ソコニ
米穀政策ノ非常ナ苦心ガナケレバナラ
ヌノデアリマス、ダカラ是等ノ問題ヲ
大キナ眼カラ見テ御考ヘニナッタナラ
バ、モット我國ノ米穀政策ト云フモノハ
根本的ニ御考ヘニナラナケレバナラヌ

重要性ヲ持ッテ居ルト思フノデアリマ
ス、私ハ是ダケノ事ヲ申上ゲテ朝鮮米
ニ對スル大體ノ質疑ハ終ル積リデアリ
マス、又何カ必要ガアレバ保留シテ置
イテ質問ヲ致シマス、次ニハ臺灣米ニ
對スル質問ヲシナケレバナラヌガ、之
ヲ始メルト又大分長クナリマスガ如何
デスガ、進行ニナリマスガ

○西村委員長 ソレデハ本日ハ此程度
ニ打切りマシテ是デ散會致シマス、明
日ハ午後一時ヨリ開會スルコトニ致シ
マス

午後五時五十分散會

昭和六年二月二十三日印刷

昭和六年二月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社